

基本方針	柱立て	施策の方向性	通番	施策・事業名	概要(実施内容・目的等)	令和2年度実施分				令和3年度実施分		部・区	担当課
						実施期間	取組事項(実績)	課題と今後の対応	取組結果	実施期間	取組事項(予定)		
基本方針1 市民の文化芸術活動を支援し、次世代への継承を進めます													
(1)市民が主体の文化芸術活動への支援													
子どもや高齢者、障がい者などすべての市民が、気軽に文化芸術を鑑賞・創作・体験・発表できる機会を充実します。													
	1	登録アーティスト及び演劇スタジオ APRICOTによるアウトリーチ事業		生の舞台芸術に接する喜びを社会各層の多くの人々、特に身体的或いは経済的な理由によりりゅーとぴあに来場することが困難な人に届けていくことで、舞台芸術ファンを醸成することを目的とする。	中止	新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、R2年度のりゅーとぴあアウトリーチ事業は中止。	新型コロナウイルス感染拡大状況と予算削減により、R3年度はAPRICOTアウトリーチを実施できず。	×	通年	小学校4年生をターゲットの中心とし、登録アーティストによる学校訪問を実施する。登録期間2年間の最後の年に当たるため、卒業リサイクル開催予定。	文化スポーツ部	文化政策課	
	2	音楽普及事業 おんぶんリレーコンサート		市民の音楽愛好家(プレイヤー)による短時間リレー形式の演奏会。日々の研鑽の成果を本物の舞台上でスポットライトを受けて発表する機会を設け、市民の文化活動を活性化する。 ※市ビジョンP9(1)対応【H28年度も実施】	1月11日～3月28日	新型コロナウイルス感染症の影響で、通常通りに発表の機会を提供することが困難となった。このため、演奏動画を寄せてもらい、音楽文化会館のホームページ上でそれを紹介する「リレーコンサート・オンライン」を開催、市内の演奏家に投稿を呼びかけ、コメント欄を通じた交流も図った。	コロナ禍の中でも、感染のリスクを下げながら、音楽愛好家の皆様の発表の場を確保し、音楽を通じて生きがいが持てるようにする。(通常通りが難しければオンライン開催を行う)抽選で落選してしまう人を減らし、多くの演奏家に参加できるように2度の開催を計画。	△	・8月27日～29日 ・2月4日～6日	市内音楽愛好者への演奏発表機会提供の場として開催。時期を分け、2日間ずつ開催し、のべ4日間開催とする。	文化スポーツ部	文化政策課	
	3	共催事業「新潟市芸能まつり」		昭和26年から続く「新潟市芸能まつり」は、当初は新潟市・新潟市芸能文化連盟(現:新潟市音楽芸能協会)が主催者となり、近年は、芸術文化振興財団が市に代わり(市は後援)、60年以上に渡って開催され、市民文化の祭典として、新潟市に根付いている。 ※市ビジョンP7(1)対応【H28年度も実施】	10月4日～11月23日	・新潟市洋舞踊協会 第9回記念合同公演 ・和楽器グループ新潟 20thコンサート ・新潟室内合奏団 第81回演奏会 ・新潟市バレエ協会 Ballet&Dance Festival ・新潟交響楽団 第105回定期演奏会 ・第28回 大正琴演奏会 ・第45回万代太鼓フェスティバル ※新型コロナウイルス感染症の影響により予定していた公演の一部は中止	出演団体の高齢化により、活動が収縮する事も考えられる。	△	10月3日～2月23日	20公演を開催予定	文化スポーツ部	文化政策課	
	4	新潟市美術展		美術を愛好する市民の創作作品を発表する場である新潟市美術展を実施する。	8月上旬～9月下旬(募集期間) 10月14日～25日(展覧会)	「第52回新潟市美術展・新潟市美術協会展」の開催	作品の出品数が年々減少しているため出品増に向けて出品料の改訂や若者の出品を呼びかける	○	8月上旬～9月下旬(募集期間) 10月13日～24日(展覧会)	「第53回新潟市美術展・新潟市美術協会展」の開催	文化スポーツ部	文化政策課	
	5	にいがた市民文学		文芸作品を募集し、優秀作品を収録した「にいがた市民文学」を発刊する。	5月～9月4日(青春の部)～7月22日(一般の部) 11月23日(表彰式)	・作品集「にいがた市民文学第23号」発刊 ・文芸作品の募集・選考、作品集の編集・販売 ・表彰式の実施	全体応募数が年々減少しており、特に青春の部は学校単位での応募がほとんどであり、大きく応募数に影響している。青春の部の応募数を安定して増やすため、中学校長会での周知やSNSを活用した広報等、学校や若者への働きかけを強化していく。	○	5月～7月21日(一般の部)、5月～9月3日(青春の部)、11月23日(表彰式)	・作品集「にいがた市民文学第24号」発刊(文芸作品の募集・選考、作品集の編集・販売) ・表彰式の実施	文化スポーツ部	文化政策課	
	6	アート・ミックス・ジャパン		日本の伝統芸術を身近に楽しんでもらえる機会を提供。新潟の芸妓文化、踊り文化、伝統芸能を全国へ発信し交流人口の拡大を図る。	中止	※令和2年に予定していたイベントは新型コロナウイルスの影響により中止。		×	中止	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	文化スポーツ部	文化政策課	
	7	子どものための芸術文化体験事業		日頃、生の音楽に接する機会の少ない子どもたちに、りゅーとぴあのコンサートホールを会場に良質なオーケストラ音楽を体験してもらうことによって、音楽の楽しさと文化芸術の素晴らしさを伝えるとともに、豊かな感性や創造力を育むことを目的に、東京交響楽団によるコンサートと学校訪問を行います。	8月1日(本公演) ※アウトリーチは中止	コンサートを開催 ※アウトリーチ中止	感染症対策を行い、コンサートを開催する。また、アウトリーチに関しては、関係各所と開催に向けた検討を行う。	△	7月31日(コンサート)、時期未定(アウトリーチ)	コンサートおよびアウトリーチの開催	文化スポーツ部	文化政策課	
	8	春の新潟・音楽ウィーク		気軽にクラシック音楽等を鑑賞できる機会を市民に提供し、ゴールデンウィーク期間中の賑わいを創出するとともに、市内の演奏者・団体に活動・発表の場を提供する。	中止	※令和2年に予定していたイベントは新型コロナウイルスの影響により中止。	次年度以降の開催に向けて関係者との意見交換等	△	休止	※事業費を確保できないため休止	文化スポーツ部	文化政策課	

基本方針	柱立て	施策の方向性	通番	施策・事業名	概要(実施内容・目的等)	令和2年度実施分				令和3年度実施分		部・区	担当課
						実施期間	取組事項(実績)	課題と今後の対応	取組結果	実施期間	取組事項(予定)		
			9	美術館だよりWAVEの発行	美術館の活動を広く紹介するフリーペーパーを市内のデザイン会社と協働して制作、市内外に発信する。	7月5日	これまでに引き続き主には作家のインタビューと美術館に親しみやすい内容の特集の二本立てで刊行する。	年度初めの作家のインタビューを掲載したため比較的早いタイミングで来館者に手に取っていただくことができた。情報発信の媒体としては刊行頻度が低いため読み物として持続性のある内容を組む必要がある。	○	8月1日	項目より削除(R2年度に要望済み)	文化スポーツ部	新潟市美術館
			10	教育普及事業の実施(アトリップの実施)	学校での学芸員派遣授業と、児童生徒の来館授業を組み合わせ、学校と連携した鑑賞プログラムを行う。必要に応じて来館時にバスを支援する。	9月1日～2月28日	学校での学芸員派遣授業と、児童・生徒の来館授業を組み合わせ、学校と連携した鑑賞プログラム。コロナ対策を取りつつ5校で実施。地元新聞にも取り上げられ、実施校からも好評を得た。終了後に発行している報告書もフォーマットを一新して作成した。	学校とよく意見交換し、さらに充実したプログラムを提案することができるようになってきているものの、未経験校の参加が伸び悩んでいる。また大雪のため中止となった回があったため冬場の実施は慎重な判断が必要。	○	7月1日～1月31日	学校での学芸員派遣授業と、児童・生徒の来館授業を組み合わせ、学校と連携した鑑賞プログラムをコロナ対策にも配慮して行う。終了後報告書を作成する。	文化スポーツ部	新潟市美術館
			11	教育普及の実施	・学校との連携プログラム「出前美術館」 ・テーマを設定した美術に関する「美術講座」「ギャラリートーク」など	通年	「出前美術館」4回以上 「出前美術館」4回以上 「美術講座」「ギャラリートーク」等を10回以上	予算状況や学校等の都合により開催回数の変動がある。	○	通年	「出前美術館」4回以上 「美術講座」「ギャラリートーク」等を10回以上	文化スポーツ部	新津美術館
			12	企画展の開催	多彩な展覧会を開催することにより、新たな発見と感動の場を提供する。	4月～3月	「生誕160年記念 ミュシャ展」 「不思議の国のアリス展」 「特別展 ミイラ」 「生誕100年記念 日本画家・横山操展」	幅広い年代の方々から愛され親しまれる美術館を目指すため、さらに企画展を充実させる必要がある。	○	通年	「リサ・ラーソン展」 「フィンレイソン展」 「富野由悠季の世界」 「秋葉区ゆかりの作家たち」	文化スポーツ部	新津美術館
			13	コレクション展の開催	所作品からテーマを設定しコレクション展を開催し、所蔵品の魅力を発信する。	通年	コレクション展Ⅰ「花をおもう」 コレクション展Ⅱ「絵の中のミステリー」 コレクション展Ⅲ「特集展示 岩田正巳」	限られた展示スペースのなかで効果的に所蔵品を紹介するため、テーマを設定し紹介する。	○	通年	コレクション展Ⅰ「技光る'用の美」」 コレクション展Ⅱ「北欧・東欧の絵本原画」	文化スポーツ部	新津美術館
			14	美術作品の収集・保存	・美術作品の購入、寄贈受け入れ	通年	必要に応じて対応	同左	○	通年	必要に応じて対応	文化スポーツ部	新津美術館
			15	博・学連携事業(歴史博物館)	小学校・中学校の見学に際し展示解説等の対応を行うとともに、新潟大学と連携して当館学芸員の寄附講義や大学生の実習受け入れを行う。学校のニーズに応じて出前授業にも対応する。	通年	学校団体見学対応、中学生の職場体験受入、大学生への博物館実習受入、新潟大学への寄附講義、大学への出前講義、小学校への出前授業等を継続実施。	・小学生の来館学習の時期にコロナの流行が重なり来校数が減った。 ・体験・実習者の健康管理とコロナ対策下での内容の検討、リモート講義などを行った。 ・体験型出前授業の申込が難しくなり、キット化し、マニュアル作成を行い先生が利用できる工夫が必要。	△	通年	・学校団体の対応 ・中学生の職場体験受入 ・大学生の博物館実習受入 ・新潟大学寄附講座 ・小学校への出前授業  その他学校からの要望への対応適宜	文化スポーツ部	歴史文化課
			16	観光循環バス運行	点在する観光施設や歴史、文化施設等を効率的に移動できる交通手段「観光循環バス」を運行。来訪者の利便性、回遊性を高める。	通年	観光循環バスの運行に際し、新型コロナウイルス感染症拡大防止のための安全対策を業者と検討する。	新型コロナウイルス感染症の流行により、令和元年度に実施したルート・ダイヤ改正の検証が行えなかった。今後、感染症の状況を見ながら、ルートダイヤの検証を行う。	○	通年	新型コロナウイルス感染症の拡大・収束状況に応じて観光循環バスを運行する。	観光・国際交流部	観光推進課
			17	国際理解・異文化理解の促進	異文化体験交流を行う高校生への留学支援や国際理解講座・イベント等を開催し、市民に異なる文化や習慣を理解する機会を提供することにより、新潟市民・外国籍市民の相互理解を図る。	通年	・外国を知る講座(米国、韓国、ロシア、フランス) ・子どもたちが世界に親しむ日(外国語の絵本の読み聞かせ) ・日本文化体験教室 ・交流サロン利用促進事業(「おしゃべりサロン」、展示会実施) ※新型コロナウイルス感染症拡大の恐れがあるため、一部の事業を中止	新型コロナウイルス感染症拡大防止対策に努めながら、外国籍市民との交流事業等の実施を進め、多様な文化への理解促進を図る。	△	通年	・高校生留学支援 ・外国を知る講座(米国、中国、韓国、ロシア、フランス) ・子どもたちが世界に親しむ日(外国語の絵本の読み聞かせ) ・スポーツイベント(コロナにより中止) ・新潟まつり民謡流しへの参加(コロナにより中止) ・日本文化体験教室 ・留学生交流事業 ・第30回にいがた国際映画祭を共催 ・交流サロン利用促進事業(展示会実施)	観光・国際交流部	国際課
			18	共生のまちづくり条例関連事業	条例周知に係る研修会・講習会等を積極的に開催するとともに、障がいや障がいのある人への理解を促進し、共生社会の実現を推進する「ともにプロジェクト」を行う。	通年	障がい者アート関連事業の実施(事業名)・ともにEntrance・イオンモール新潟南での広報活動	条例の認知度、特に若年層への周知・啓発が必要なことから、小・中学校での交流機会の創出や商業施設での啓発イベントを実施する。	○	通年	障がい者アート関連事業の実施(事業名)・ともにEntrance・商業施設等での広報活動	福祉部	障がい福祉課

基本方針	柱立て	施策の方向性	通番	施策・事業名	概要(実施内容・目的等)	令和2年度実施分				令和3年度実施分		部・区	担当課
						実施期間	取組事項(実績)	課題と今後の対応	取組結果	実施期間	取組事項(予定)		
			19	「にいがた子育て応援アプリ」の運用保守(子育て応援情報発信事業)	妊娠期から小学生を持つ子育て家庭を中心に、手軽に子育て応援情報を得られるとともに、利用者にあった子育て応援情報の発信を行い、安心して子育てができる環境づくりを進める。	通年	掲載情報の充実や広報活動を実施するとともに、引き続き子育て関連情報を積極的に発信する。	利用者のアンケート結果等を基に、より使いやすい機能を持つアプリへの変更等を検討していく。	○	通年	引き続き子育て関連情報を積極的に発信する。また、アプリの見直しを行い、より利用者が使いやすい内容となるよう検討を行う。	こども未来部	こども政策課
			20	にいがたっすこやかパスポート事業	中学生以下の子どもがいる世帯を対象に配布している「すこやかパスポート」を持っている方に対し、施設の入場券の割引等を行う。	通年	引き続き協賛店舗の拡充とともに、他市との連携拡大に取り組む。	引き続き協賛店舗の拡充とともに、他市との連携については、令和3年度から拡大予定だったものを新型コロナウイルス感染拡大の影響により令和4年度からの拡大に延期とした。	○	通年	引き続き協賛店舗の拡充とともに、令和4年度からの他市との連携拡大に向け、広報活動等、事前準備に取り組む。	こども未来部	こども政策課
			21	アウトリーチ事業	劇場や会館に自力で来られない人々の為に、一流の演奏家や芸能家を地域に派遣し、身近に音楽や芸能を楽しんでもらう。	11月6日	3演目のアウトリーチを、区内9カ所の教育施設や健康福祉施設等で開催し、あわせてそれぞれの演目のワンコインご縁コンサートを、音楽演奏及び鑑賞環境の整った会館ホールで開催する計画であったが、新型コロナウイルス流行拡大に伴い、事業受入先の選定が困難となり、1演目のみのアウトリーチ実施となった。	新型コロナウイルス流行の経過を見ながら、事業の受け入れ先と連絡協調体制を整え、事業の展開を図る	△	通年	3演目のアウトリーチを、区内3カ所の教育施設や健康福祉施設等、北区役所ロビー、豊栄総合体育館で開催し、1演目のワンコインご縁コンサートを、音楽演奏及び鑑賞環境の整った会館ホールで開催する。	北区	産業振興課
			22	北区フィルハーモニー管弦楽団ファミリーコンサート	市民オーケストラによる家族みんなで楽しめる演奏会。市民の手で創り上げる音楽をお客様と共有することで、地域の文化芸術を振興するとともに、交流人口の拡大を図る。	中止	市民オーケストラ「北区フィルハーモニー管弦楽団」の活動支援とあわせて、北区文化会館のできる協力・協働体制整備を図りながら事業を推進。「北区フィルハーモニー管弦楽団」による年2回の演奏会の成功へサポートすることは、北区で生まれた音楽文化の1つを大きく育むことへつながる。市民の手で創り上げる音楽をお客様と共有することで、地域の文化芸術を振興するとともに、交流人口の拡大を図り、地域の芸術活動促進につながることを目指したが、新型コロナウイルス流行拡大を受け、例年通りの練習会開催が望めず、11月15日開催予定の「第10回ファミリーコンサート」は開催中止とした。	新型コロナウイルス流行の経過を見ながら、細心の対策の基、練習会や公演実施の事業展開を図る	×	12月12日	市民オーケストラ「北区フィルハーモニー管弦楽団」の活動支援とあわせて、北区文化会館のできる協力・協働体制整備を図りながら事業を推進。「北区フィルハーモニー管弦楽団」による年2回の演奏会の成功へサポートし12月12日「第10回ファミリーコンサート」を開催する。	北区	産業振興課
			23	古町芸妓によるPR事業	古町芸妓による舞の披露など定期的にイベントを実施し、古町に行けば古町芸妓に会える環境を周知する。	10月～3月(月1回)	「新潟古町まちみなど情報館」を拠点に古町芸妓のPRを行う。	若い世代の参加を促し、古町芸妓文化に関心を持ってもらえるようPRに取り組んでいく。	○	通年	「新潟古町まちみなど情報館」を拠点に古町芸妓のPRを行う。	中央区	地域課
			24	南区美術展覧会開催委託事業	南区の美術愛好者の創作作品発表の場と区民に身近な芸術鑑賞の場を提供するため、新潟市南区美術協会に開催を委託し展覧会を開催	中止	未実施(新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開催中止)一部印刷物などを作成済	引き続き新潟市美術協会と協力しながら開催する。	△	6月2日～7日	美術愛好家の創作作品発表の場と区民に身近な芸術鑑賞の場を提供する。	南区	地域総務課
			25	<南区>地域振興費(既存事業)ふるさと納涼まつり開催事業(実行委員会補助事業)	地域で活動する団体やグループの演舞や地元中学生の演奏発表の場、子どもから高齢者までが地域の魅力を感じることができる場としてまつりを開催し、地域の絆を深め、地域の力を蓄え、味方地区の活性化に繋げていく。	中止	未実施(新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開催中止)	実行委員会の自立	○	中止	未実施(新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開催中止)	南区	味方出張所
			26	白根学習館まつり開催委託事業	南区内における芸能文化活動の振興をはかるため、広く区民の参加を求め、芸能発表の機会と鑑賞の場を提供する。また、別会場で囲碁大会を開催する。 ・出品展示2部門を別会期で開催 ・芸能発表会の開催	10月・11月	・出品展示2部門を別会期で開催 ※芸能発表会、囲碁大会はコロナ対策のため中止	R3年度はラスベックホールを会場として使えないこと、実施主体の一つである白根文化協会がR2年度で解散したことで、R3年度はより円滑な運営が必要となる。	△	10月、11月	・白根カルチャーセンターを会場に芸能発表会を実施予定。 ・出品展示2部門を白根学習館2階で開催。(囲碁大会の開催は検討中。)	南区	白根地区公民館
			27	味方地区スポーツ・文化祭開催事業	スポーツ大会・文化祭等の開催により、地域のスポーツ・文化活動の発表の場を提供し文化スポーツの振興を図る。 ・スポーツ大会開催事業 ・文化祭・芸能祭開催事業 ・さつき展・菊花展開催事業	通年	・体幹トレーニング講座 ・ペルビックヨガ講座 ・さつき展、菊花展(文化祭、芸能祭は中止)	文化スポーツ団体の高齢化により活動団体や参加者が減少している。	△	通年	スポーツ大会・文化祭等の開催により、地域のスポーツ・文化活動の発表の場を提供し文化スポーツの振興を図る。 ・スポーツ大会開催事業 ・文化祭・芸能祭開催事業 ・さつき展・菊花展開催事業	南区	味方地区公民館

基本方針	柱立て	施策の方向性	通番	施策・事業名	概要(実施内容・目的等)	令和2年度実施分				令和3年度実施分		部・区	担当課
						実施期間	取組事項(実績)	課題と今後の対応	取組結果	実施期間	取組事項(予定)		
			28	文化祭・芸能祭開催事業	芸術・創作・文化活動をされている方々の作品発表の場とする。また、地域住民の方々から鑑賞してもらい、芸術・文化に対する創造性といった芸術的感性を高める。	10月～11月	・令和2年10月 月潟地区文化祭開催 ・令和2年11月 月潟地区芸能祭中止 ※コロナウィルス感染拡大防止のため、芸能祭は中止	(課題) 高齢化による出演者及び出品者の減。  (対応) 幅広く参加及び出品を呼びかける。	△	10月～11月		南区	月潟地区公民館
			29	西区アートプロジェクト(音楽・造形)	音楽イベントと造形イベントの融合を図りながら地域の魅力発信や地域支援を図るほか、次世代を担う子どもたちの創造力や地域への愛着を育むことを目指す。	11月7・8日	・造形ワークショップ ・こども音楽体験 ・地元団体とのアートイベント共催 ・アート展示イベント など	コロナ禍において、造形ワークショップなどの参加者との接触機会を有する企画や多くの参加者が集う場合の感染対策及び開催方法について、検討が必要であるが、新潟大学との連携を更に深め、地域活性化や子どもたちの創造力を伸ばすきっかけづくりとなるよう取り組む。	○	10月23・24日	・音楽イベント1回開催 ・造形イベント1回開催	西区	地域課
			30	巻文化会館事業	区内の園児等を対象に情操教育と鑑賞マナー教育の習得を目的としてぬいぐるみ劇等の鑑賞会を実施。	中止	劇団によるぬいぐるみ劇等の鑑賞会(年1回)を開催予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、開催中止。	今後も新型コロナウイルスの影響が懸念される中、開催していくことが課題。令和3年度は事業を一旦休止。感染対策を行いながら、今後開催できるかどうか、検討していく。	×	休止	従来は、劇団によるぬいぐるみ劇等の観賞会を開催(年1回)していたが、令和3年度は事業を一旦休止。	西蒲区	地域総務課
			31	市民交流事業	KAPLA®(カプラ)という造形ブロックを使って作品を作り、大会に応募することができる場を提供することで、青少年が文化芸術に触れる足掛かりとして作品を作る、だれかに見てもらう楽しさを感じてもらおう。	通年	・KAPLA®で遊べる機会の創出 ・「全国KAPLA®大会」の会場施設として参加	参加人数向上のため、KAPLA®の認知度向上に向けた取り組みを実施する。	○	通年	・KAPLA®で遊べる機会の創出 ・「全国KAPLA®大会」の会場施設として参加	教育委員会	地域教育推進課
			32	利用団体向け選択プログラム	青少年を主体とする団体にクラフトやブラックライトを使った絵を描く体験、KAPLA®を使った作品作り、新潟西海岸でのサンドアート体験など個人または仲間と協力してひとつの作品作りに取り組むプログラムを提供することで文化芸術の魅力や価値に触れる機会を創出し、芸術活動の普及に寄与する。	通年	・原始的な火おこし ・クラフト(工作) ・ブラックライトで光る絵を描こう ・けん玉体験 ・KAPLA®体験 ・海でサンドアート など	参加人数向上のため、雨天時でも行えるプログラムなどの新たな提案を構築する。	○	通年	・原始的な火おこし ・クラフト(工作) ・ブラックライトで光る絵を描こう ・けん玉体験 ・KAPLA®体験 ・海でサンドアート など	教育委員会	地域教育推進課
			33	「にいがたマンガ大賞」入賞作品展	「にいがたマンガ大賞」の入賞作品を中央図書館エントランスで展示をし、来館者に見てもらおう。	5月11日～6月2日(中止)	令和2年5月11日(月)～令和2年6月2日(火)に前年度の「にいがたマンガ大賞」入賞作品と、新潟ゆかりのマンガ家の応援イラストを展示する予定だったが、緊急事態宣言に伴う休館及び一部サービスでの開館により、令和2年度は、展示が中止となった。	令和2年度は緊急事態宣言に伴う休館等により展示が中止となったが、令和3年度は実施する予定。	×	5月15日～6月1日	中央図書館エントランスで、前年度の「にいがたマンガ大賞」入賞作品と、新潟ゆかりのマンガ家の応援イラストを展示する。	教育委員会	中央図書館
地域の自然や歴史、文化の魅力を再発見し、地域への誇りや愛着づくりにつながる取り組みを市民と協働で進めます。													
			34	地域活動補助金	地域による自主的・主体的なまちづくり活動の取り組みの促進を図り、豊かな地域社会を実現するために、地域課題の解決を図る活動などに補助金を交付する。	通年	地域コミュニティ協議会、自治会・町内会、その他NPO等が行う地域課題の解決を図る活動に対し補助金を交付する。	・新型コロナウイルスの影響で事業の中止等により地域活動が停滞したことから、活動再開への支援が必要である。 ・持続可能かつ効果的な制度となるよう必要に応じて、適宜見直しを図っていく必要がある。	○	通年	地域コミュニティ協議会、自治会・町内会、その他NPO等が行う地域課題の解決を図る活動に対し補助金を交付する。	市民生活部	市民協働課
			35	會津八一記念館事業	會津八一の作品、遺品等を収集し、保管し、及び展示することにより、會津八一の業績を顕彰するとともに、市民文化の向上に資するため。	通年	館の管理運営にかかる指定管理委託料(企画展・特別展の開催) ・心の旅 ・新収蔵品展 ・日々新面目あるべし ・私の好きな八一の書	観覧者数が伸び悩んでおり、観覧車を増やすための対策を講じ、一定の入館者数を確保する必要がある。業務内容の見直しと職員体制の見直しを求められている。	○	通年	館の管理運営にかかる指定管理	文化スポーツ部	文化政策課
			36	文化財センター活用事業	文化財センターで企画展を開催する(年3回)。あわせて、土器づくり講座等、新潟の先人の技術や芸術性を学ぶ講座を開催する。	通年	・企画展および関連講演会の開催 ・文化財センター外で行う各種講座等 ・遺跡発掘調査現地説明会 ・遺跡発掘調査速報会 ・各種出前講座	・新型コロナウイルス蔓延防止対応による自粛により体験イベント等の一部中止があり、入館者数が減少した。 ・従来の広報活動に加え、ホームページ等での情報発信を充実し対応していきたい。	○	通年	・企画展および関連講演会の開催 ・文化財センター外で行う各種講座等 ・遺跡発掘調査現地説明会 ・遺跡発掘調査速報会 ・各種出前講座	文化スポーツ部	歴史文化課 文化財センター

基本方針	柱立て	施策の方向性	通番	施策・事業名	概要(実施内容・目的等)	令和2年度実施分				令和3年度実施分		部・区	担当課
						実施期間	取組事項(実績)	課題と今後の対応	取組結果	実施期間	取組事項(予定)		
			37	にいがた総おどり祭	毎年9月に開催され、様々なジャンルの踊りの団体が参加する「踊りの祭典」。「次の世代へ受け継ぐ心」をコンセプトに、約300年前4日4晩踊り明かしたという祭を、2002(平成14)年に市民が復活させたもの。	9月19日～21日	Youtubeで全国各地から総踊りを踊る様子や活動紹介などを24時間配信した。	参加者・観客にとって安全に総踊り祭を開催するため、どのような感染症対策を行えばよいか、検討が必要である。	△	9月中旬	オンラインと万代シティ会場のハイブリッド型で、全国から集まったチームが踊りを披露する。	観光・国際交流部	観光政策課
			38	多文化共生のまちづくり	留学生が地域への理解を深める場を設けるなどの支援を通じて、多文化共生のまちづくりを推進する。	通年	・留学生交流ワークショップ(オンライン)	新型コロナウイルス感染症の影響により、非対面型でワークショップを実施。事業への参加人数の拡大と内容の充実化が必要である。	△	通年	・留学生交流ワークショップ ※新型コロナウイルス感染拡大のため、留学生にいがた発見コンテストは中止。	観光・国際交流部	国際課
			39	食育・花育センターの管理	本市で生産される米や食材を活かした日本型食生活を柱とする「にいがた流 食生活」を推進するため、季節の料理教室を実施。(食育・花育センターで実施する事業のうち該当事業についてのみ記載)	通年	指定管理者によるいくとぴあ食花としての一体的な運営体制を活かした料理教室の企画を行い、多様な世代を対象にした料理教室を実施する。	新型コロナウイルス感染症の影響により、来場者数が大きく減少している。感染予防の取り組みを徹底するとともに、SNS等を活用した発信を充実させるなど、新しい生活様式を踏まえた取り組みを進めていく。	○	通年	指定管理者によるいくとぴあ食花としての一体的な運営体制を活かした料理教室の企画を行い、多様な世代を対象にした料理教室を実施する。	農林水産部	食と花の推進課
			40	アグリパークの管理	アグリパークの周年祭(5月)、収穫祭(10月)、ふるさと祭り(1月)を3大イベントとして位置づけ、農村地域に伝わる伝統行事(盆踊り、どんど焼き)や食の体験(漬物講座、おにぎり作り講座など)を地域コミュニティ協議会や文化団体と協働して行う。(アグリパークで実施する事業のうち該当事業についてのみ記載)	通年	施設の特徴を活かして、地域に根付く伝統文化や地域農業振興に関連したイベントを実施する。	新型コロナウイルス感染症の影響により、来場者数が大きく減少している。感染予防の取り組みを徹底するとともに、SNS等を活用した発信を充実させるなど、新しい生活様式を踏まえた取り組みを進めていく。	○	通年	施設の特徴を活かして、地域に根付く伝統文化や地域農業振興に関連したイベントを実施する。	農林水産部	食と花の推進課
			41	学校教育田	田植え・稲刈り及び収穫祭等、年間の米づくり体験を通じて、米の消費拡大と次世代を担う子どもたちに農業および米に対する理解を深めてもらうとともに、米を中心とした日本型食生活の普及及び定着を図る。	5月～12月	67校での学校教育田の実施	学校関係者や農業関係者と連携して米づくり体験の場の提供し、継続的に事業を実施する。	○	5月～12月	74校での学校教育田の実施	農林水産部	食と花の推進課
			42	農業体験学習の推進	学習と農業体験を結び付け、「アグリパーク」や「いくとぴあ食花」を中心に、子どもたちや市民が本市が誇る農業や食に対する理解を深め、ふるさとへの愛情や誇り、生きる力を培うとともに、農業を活性化させる。	通年	全小学校での農業体験学習の実施	・一斉休校を受けて、4・5月の農業体験学習ができず、その後も控える学校が多かった。 ・実施学校の割合だけでなく、農業体験学習を実施したことによる新たな指標を設定する。	○	通年	全小学校での農業体験学習の実施	農林水産部	食と花の推進課
			43	菌ちゃんりサイクル元気野菜づくり	幼稚園・保育園において、野菜くずと微生物を活用した野菜づくりを通して、心を育て、命に対する思いやりを育むとともに、実体験から食や生活習慣を見直す取組みにもつなげる。	通年	14園での野菜づくり及び6園での「もっと元気になる食生活」の実施	園が自立して土づくりや野菜づくりをできるよう支援し、継続的に事業を実施する。	○	通年	34園での野菜づくりの実施	農林水産部	食と花の推進課
			44	生産者・料理人・消費者の関係づくり(「マッチングツアー」の開催)	生産者・料理人・消費者・物流事業者が交流し、地域の食材や食文化への理解を深めることを目的に、産地を訪れ商談を行うマッチングツアーを開催する。	通年	事業のターゲットとしていた料理人の経営状況が新型コロナウイルスの感染拡大により悪化していることから、今年度は産地見学は行わないこととし、消費者を対象に生産者・料理人の取組の周知を行うこととする。	取組周知により得られる効果の明確化が必要。R2年度で事業終了	×	-	R2年度で事業終了	農林水産部	食と花の推進課
			45	福島潟自然文化祭	約1万本のロウソクでオオヒシクイを描く巨大アート「雁迎灯」や、自然体験イベント「潟の楽校」など、水の公園福島潟全域を舞台に繰り広げられる大イベント。	中止	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。代わりに、ビュー福島潟内で、過去の同祭を振り返る写真展を開催。		△	未定	開催について検討中	北区	産業振興課
			46	東区歴史浪漫プロジェクト	区民と行政が協働し、日本史上最古の城柵であり、古代史の謎とされる「淳足柵」や、大和朝廷との深い繋がりが推測される「牡丹山諏訪神社古墳」等の東区の様々な歴史的資源を活用した事業を実施し、東区の誇りづくりと活性化につなげる。	通年	1. 普及啓発事業 ①東区の歴史浪漫を区民に知ってもらう 2. 探索調査事業 ②継続した調査により、淳足柵発見への手がかりを探す ③関連活性化事業 ④企業や店舗と連携した取組を実施し、地域の活性化につなげる ④マスコットキャラクターを活用し、プロジェクトを盛り上げる ※探索調査事業はコロナウイルスの影響で中止	R2年度までの実行委員会形式を見直すとともに、探索調査事業及び関連活性化事業は終了とする。東区の歴史・文化・魅力を知ってもらう取り組みは今後も必要なことから、歴史普及啓発活動は継続としていく。	△	-	歴史普及啓発活動について、R3年度は事業番号10、183を統合し「東区プラザ会館10周年記念 東区歴史文化プロジェクト」の一事業として実施する	東区	地域課

基本方針	柱立て	施策の方向性	通番	施策・事業名	概要(実施内容・目的等)	令和2年度実施分				令和3年度実施分		部・区	担当課
						実施期間	取組事項(実績)	課題と今後の対応	取組結果	実施期間	取組事項(予定)		
			47	えんでこ(まち歩き)事業	中央区の見どころを市内外の方々から「まち歩き」で楽しんでもらうことで、区の魅力への関心を深めてもらうとともに、「まち歩き」ファンを増やすことで市街地の活性化を図る。	10月17日～11月14日の各土曜	新潟シティガイドによる解説付きまち歩き ①前期えんでこ:新型コロナウイルス感染症拡大防止のため全日程中止(全16コース予定) ②後期えんでこ:10/17～11/14全10コース、定員150人、参加143人 ③ウォーターシャトル付きスペシャルえんでこ:新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止(3月に2回予定) ④市民提案型えんでこ:新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止(3月に1コース予定)	新型コロナウイルス感染症の拡大状況等に応じて実施の可否や事業の規模を検討する必要がある。	△	①5月22日～6月26日の各土曜日、5月27日及び6月10日の木曜日 ②10月～11月の土曜日(詳細未定)	新型コロナウイルス感染症対策を徹底しながら、まち歩き事業を継続	中央区	地域課
			48	料亭の味と芸妓の舞	市民や観光客などから参加者を募集し、中央区の料亭を会場として古町芸妓の舞や唄の鑑賞と料亭での食事を気軽に堪能してもらう。	中止	市民や観光客などから参加者を募集し、中央区の料亭を会場として古町芸妓の舞や唄の鑑賞と料亭での食事を気軽に堪能してもらう。 ※新型コロナウイルスの影響により中止	若い世代の参加を促し、古町芸妓文化に関心を持ってもらうようPRに取り組んでいく。	×	未定	古町芸妓の舞や唄の鑑賞と老舗料亭での食事をセットにした事業への支援	中央区	地域課
			49	新潟漆器利用促進事業	飲食店等を営む店舗に新潟漆器を利用してもらい、利用者側のニーズを把握するとともに、店舗で実際に利用した顧客にPRし、新潟漆器の認知度を上げることで魅力を再発見してもらう。	通年(募集期間6月22日～7月31日)	区内の飲食店等へ新潟漆器のリースを行い利用してもらう。	リース終了後の買取につながるよう実施店舗からのニーズを把握する。	○	通年	市内の飲食店等へ新潟漆器のリースを行い利用してもらう。	中央区	地域課
			50	みそ作りカリキュラム	中央区の伝統産業である発酵食への関心を高め消費につながるよう、区内の小学校を対象に地域の歴史や発酵食との関わりを学ぶ総合学習の一助として実施。	中止	区内の小学校でカリキュラム実施。 1校あたり、仕込み・天地替え・持ち帰りの計3回。年2校 ※上記の内容を予定していたが、新型コロナウイルスの影響により中止	新型コロナウイルスの影響により開催が見込めないことから、別の手段で発酵食のPRを実施する	×	-	R2年度で事業終了	中央区	地域課
			51	わく灯籠まつりへの参画	かつて田植えの際に使用した「田植え杵」をデザインし、灯籠として活用し亀田排水路公園などに設置することで、灯りの道をつくるとともに交流イベントを実施する。	8月8日～9月5日	亀田駅東口・西口、亀田排水路公園、亀田本町商店街にわく灯籠を設置	今年度はコロナウイルス感染症の影響により事業が縮小されたものも、例年同様な内容のため新規性あるの事業を取入れの検討	△	8月上旬～9月上旬	亀田駅東口・西口、亀田排水路公園、亀田本町商店街にわく灯籠を設置	江南区	地域総務課
			52	梨の実まつり	旬の梨や農産物の販売PRイベントを通じ、地域住民との交流を深める。	10月(中止)	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止		×	10月	・梨や農産物、加工品の販売 ・梨収穫体験 ・梨汁の試食 ・梨数あてクイズや皮むき大会等	江南区	産業振興課
			53	江南区旬果旬菜いきいきフェスタ	江南区の食を中心とした魅力を発信することを目的に開催	10月(中止)	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止		×	10月	・農畜産物、伝統工芸品(亀田織、絵ろうそく)などの展示・販売 ・江南区の農産物を使った加工品の展示・販売 ・イベント等	江南区	産業振興課
			54	かめだ梅まつり	梅畑スタンプラリーや梅加工品等の販売等により、亀田地区特産の梅をPRする。	3月	梅畑散策コースの設定	感染症対策のため、人が密集するイベントの実施を見合わせ、散策コース紹介のみ実施した。	△	3月	・梅畑散策コースの設定(散策期間3月中旬～下旬予定) ・梅まつりイベントの実施(3月中旬開催予定)(梅畑スタンプラリー、梅加工品の販売、梅ごはん、汁物の販売、梅の剪定枝の配布など)	江南区	産業振興課
			55	小須戸町屋文化交流事業	小須戸の町屋を活用し、町屋の魅力発信や区固有の文化である「石油・鉄道・地域芸術」をテーマとする企画展の開催を通じて、地域文化の交流と啓発を推進する。	通年	小須戸コミュニティ協議会に小須戸町屋「薩摩屋」の開館業務を委託し、地域文化の交流とイベント開催による啓発活動を行う。	地域文化の普及啓発と交流の推進を図るため、定期的な情報発信や効果的なイベントの開催が必要となる。各種補助等を活用しながら、効率的な運営を図っていく。	○	通年	小須戸コミュニティ協議会に小須戸町屋「薩摩屋」の開館業務を委託し、地域文化の交流とイベント開催による啓発活動を行う。	秋葉区	地域総務課
			56	文化遺産情報発信事業	「秋葉区文化財マップ」の改訂・増刷や史跡「新津油田金津鉦場跡」案内パンフレットの改訂・増刷や史跡「新津油田金津鉦場跡」案内パンフレットの改訂・増刷等を通じて、秋葉区の文化遺産に関する情報を区内外に発信していく。	通年	①「秋葉区文化財マップ」の改訂・増刷と観光案内所等での配布 ②史跡「新津油田金津鉦場跡」案内パンフレットの作成と配布 ③石油の里公園の案内板に史跡表記を追加 ④秋葉区ホームページにおける関連情報の更新 ⑤①・②を活用した見学イベントやワークショップ(まち歩き)の開催 ※R3年度以降実施	リーフレットの作成・配付以外にも様々な広報媒体を利用して区内外に広く秋葉区の文化遺産を周知する必要がある。区民参加のワークショップを開催し情報発信手段について検討を行う。	○	通年	①市民参加のワークショップを開催し、秋葉区の文化遺産の情報発信手段、方法等について意見交換を行う。 ②既存「秋葉区文化財マップ」の改訂・増刷・配付 ③秋葉区ホームページにおける関連情報の更新 ④アキハスム Facebookにおける関連情報の更新	秋葉区	地域総務課

基本方針	柱立て	施策の方向性	通番	施策・事業名	概要(実施内容・目的等)	令和2年度実施分				令和3年度実施分		部・区	担当課
						実施期間	取組事項(実績)	課題と今後の対応	取組結果	実施期間	取組事項(予定)		
			57	秋葉区産業祭	特産品をはじめ地元農産物のPR・販売イベントを行い、消費拡大と市民交流の活性化をはかる。	10月31日	JA等への委託事業へ変更。 新津会場(花夢里にいつ)・・・県外・市外からの来場者も多いこと等から新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。 小須戸会場(うららこすど)・・・感染症防止対策を行い実施した。(来場者1,000人)	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止となる会場もある	△	10月下旬	秋に産業祭を開催する。(委託事業)	秋葉区	産業振興課
			58	にいつ食の陣	秋葉区内の飲食店(約60店)が、地域食材(プチヴェールなど)を利用したメニューや秋葉区にちなんだ創作メニューを、期間限定で提供する。	4月1日～30日	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため令和2年度は中止が決定された。 ※恒例の「にいつ食の陣」は実施できなかったが、「テイクアウトフェア」として実施した。	コロナ禍で通常の飲食が困難な状況になったことから、テイクアウトに絞った事業展開に変更した。コロナの収束までは同様の対応をせざるを得ないと思われる。	△	4月1日～30日	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため令和3年度も例年の「にいつ食の陣」は中止が決定された。 ※「にいつ食の陣」は実施できなかったが、「テイクアウトどっとこむ」として実施した。	秋葉区	産業振興課
			59	角兵衛獅子の魅力発信事業	角兵衛獅子の魅力を主に観光客等に発信するため、月湯農村環境改善センター内の郷土資料室において資料等を観覧できるよう環境整備を行うとともに、首都圏に向けて発信する。また、踊り子の後継者不足の解消を図るため、その解決策等を検討・実施する。	通年	【産業振興課】 ・郷土資料室の展示替え 【地域総務課】 ・角兵衛獅子のPR動画撮影	角兵衛獅子の担い手不足と新型コロナウイルスによる疲労の場の減少があり、今後の活動の場を保存会と共に検討していく。 ※令和2年度のみ事業	○			南区	地域総務課 産業振興課
			60	西区アートプロジェクト(音楽・造形)	音楽イベントと造形イベントの融合を図りながら地域の魅力発信や地域支援を図るほか、次世代を担う子どもたちの創造力や地域への愛着を育むことを目指す。	11月7・8日	・造形ワークショップ ・こども音楽体験 ・地元団体とのアートイベント共催 ・アート展示イベント など	コロナ禍において、造形ワークショップなどの参加者との接触機会を有する企画や多くの参加者が集う場合の感染対策及び開催方法について、検討が必要であるが、新潟大学との連携を更に深め、地域活性化や子どもたちの創造力を伸ばすきっかけづくりとなるよう取り組む。	○	10月23・24日	・音楽イベント1回開催 ・造形イベント1回開催	西区	地域課
			61	西区を堪能まち歩き・観光ツアー(まち歩き)(R1より事業名変更)	まち歩きを実施し、区内の魅力を発信し、区内の交流人口の拡大を図る。	4月～11月	赤塚エリア(3回)、黒崎エリア(2回)、内野エリア(1回)合計6回のまち歩き・観光ツアーを実施。のべ184名が参加した。 ※新型コロナウイルス感染症の影響により縮小実施	各団体のガイドスキルの向上とリピーターでも楽しめるような各エリアの新たな魅力の掘り起こしが課題。各団体と連携し、コロナウイルス感染症の状況を見ながら実施していく。	△	4月～11月	赤塚地域・佐湯周辺の「北国街道」沿いや黒崎及び内野地域にある観光資源を活用したまち歩きや観光ツアーを実施する。	西区	農政商工課
			62	わらアートまつり	武蔵野美術大学の学生達と市民とが協働で作品を制作し、上堰湯公園にさまざまなわらアート作品を展示します。地域の特産品販売や体験教室など、新潟市西蒲区の魅力を発信するイベントです。	中止	・わらアート作品5体の制作、展示 ・特産品の販売 ・芸術祭出展作品の出展展示 ・障がい者スポーツの体験教室 ・わら工芸の制作体験教室 ・YouTube広告の海外展開  ※上記を予定していたが、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、デザイン等の制作準備期間が十分に設定できないことや制作者、関係者及び来場者の安全を考慮し、令和2年度は中止		×	8月29日～10月31日	・わらアート作品1～5体の制作、展示 ・特産品の販売 ・芸術祭出展作品の出展展示	西蒲区	産業観光課
			63	かもん！カモねぎまつり	カモ猟の盛んな湯東地区への誘客と湯東地区特産品の販売を行うことで湯東地区の活性化を図る。また、湯東地区ならではの伝統を継承する。	中止	カモ猟の盛んな湯東地区への誘客と湯東地区特産品の販売を行うことで湯東地区の活性化を図る。また、湯東地区ならではの伝統を継承する。 ※上記を予定していたが、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため中止		×	12月5日	カモ猟の盛んな湯東地区への誘客と湯東地区特産品の販売を行うことで湯東地区の活性化を図る。また、湯東地区ならではの伝統を継承する。 ※新型コロナウイルスの感染拡大状況によっては、中止を検討	西蒲区	産業観光課
			64	我が家の味噌作り教室	岩室地区伝統の味噌作りの普及と継承を目的として加工体験を実施。	中止	岩室地区伝統の味噌作りの普及と継承を目的として加工体験を実施。 ※上記を予定していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止		×	5月28日～30日	岩室地区伝統の味噌作りの普及と継承を目的として加工体験を実施。 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、規模を縮小して実施。	西蒲区	産業観光課
			65	自然体験学習推進事業	自然体験や集団活動などの体験活動を通して、子どもたちの豊かな人間性や社会性を育む。	通年	各校へ情報提供をしたり、取組状況を周知する。	予算付けをしていない事業なので、情報提供などに限られ、実質的な学校・園への補助にはなりにくい。	○	通年	各校への情報提供や、取組状況を周知。	教育委員会	学校支援課

基本方針	柱立て	施策の方向性	通番	施策・事業名	概要(実施内容・目的等)	令和2年度実施分				令和3年度実施分		部・区	担当課
						実施期間	取組事項(実績)	課題と今後の対応	取組結果	実施期間	取組事項(予定)		
			66	大好きにいがた体験事業	「身近な地域に貢献する」または「新潟市や身近な地域の素晴らしいひと・もの・ことを知る」活動を支援、推進する。	通年	・大好きにいがた体験推進校支援 ・大好きにいがた体験高等学校支援 ・大好きにいがた地域と学校ウェルカム参観日		○	通年	・大好きにいがた体験推進校支援 ・大好きにいがた体験高等学校支援 ・大好きにいがた地域と学校ウェルカム参観日	教育委員会	学校支援課
			67	新潟発わくわく教育ファーム推進事業「『アグリ・スタディ・プログラム』の推進」	学習と農業体験を結び付け、「アグリパーク」や「いくとびあ食花」を中心に、子どもたちや市民が本市が誇る農業や食に対する理解を深め、ふるさとへの愛情や誇り、生きる力を培うとともに、農業を活性化させる。	通年	・アグリ・スタディ・プログラムの研修会 ・農林水産部食と花の推進課との緊密な連携	・GIGAスクール対応のプログラムの検討・実施。 ・蜜をさける環境下での体験活動の実施の在り方の検討。	○	通年	・アグリ・スタディ・プログラムの研修会 ・農林水産部食と花の推進課との緊密な連携	教育委員会	学校支援課
			68	にいがた市民大学開設事業	市民の高度で専門的な学習ニーズに応えるとともに、その成果を地域に還元していく場を提供することで、生涯を通じて学び育ち、創造力と人間力あふれる市民が増える。	6月～3月	開講講座1コース(全5コース) ・新潟学コース ミュージアムから見た新潟 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止 特別講座「日本酒学に酔う」開講 プレ講座「渋沢敬三が見た新潟」開講 ※事業予算額について、当事業は受講者から受講料を徴収しており、市負担額と同額の歳入を見込んでいる。	開設講座の一部に遠隔講義を導入試行し、受講者へのアンケートを行いながら検証するとともに市民の生活スタイルに応じた、受講者層の拡大へつなげる多様な学習方法について検討・構築する。	△	令和3年6月～令和4年3月	開講講座1コース(全5コース) ・新潟学コース ミュージアムから見た新潟	教育委員会	生涯学習センター
文化芸術活動を通じて、障がい者などの社会参画を促進します。													
			69	文化芸術による共生社会推進事業	多様な立場の方が、それぞれの立場で参加できるワークショップや作品展示の開催など、障がいの有無に関わらず文化芸術活動に参加できる機会を創出する。	通年	・障がい者アート作品とその作品の制作過程の映像を展示 ・多様な方達が関わろうた作りワークショップの実施	文化芸術活動への取り組みが、共生社会実現に向けてもたらす効果などを広く知ってもらう必要があるほか、持続的な取り組みにつなげるために福祉施設等のニーズを探る必要がある。	○	通年	・表現活動調査及びアート展 ・手話狂言公演 ・事業の普及啓発 ・福祉施設等のニーズ調査	文化スポーツ部	文化政策課
			70	共生のまちづくり条例関連事業	条例周知に係る研修会・講習会等を積極的に開催するとともに、障がいや障がいのある人への理解を促進し、共生社会の実現を推進する「ともにプロジェクト」を行う。	通年	障がい者アート関連事業の実施(事業名)・ともにEntrance・イオンモール新潟南での広報活動	条例の認知度、特に若年層への周知・啓発が必要なことから、小・中学校での交流機会の創出や商業施設での啓発イベントを実施する。	○	通年	障がい者アート関連事業の実施(事業名)・ともにEntrance・商業施設等での広報活動	福祉部	障がい福祉課
			71	福祉バスの運行	老人クラブ等高齢者関係団体及び障がい児(者)関係の団体が研修会又はグループ活動等の参加及び市内の福祉施設の慰問、見学等を行う場合に福祉バスを運行し、その便を図ることにより福祉の向上に寄与することを目的とする。	通年	高齢者関係団体・障がい児(者)関係団体が研修会又はグループ活動等の参加及び市内の福祉施設の慰問、見学等を行う場合に福祉バスを運行。 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、6月中旬ごろまで貸出中止	感染症拡大により、利用団体が減少しているため、感染対策を徹底するとともに、引き続き周知に努める。	△	通年	高齢者関係団体・障がい児(者)関係団体が研修会又はグループ活動等の参加及び市内の福祉施設の慰問、見学等を行う場合に福祉バスを運行。	福祉部	高齢者支援課 障がい福祉課
市民、NPO、企業、大学など多様な主体が行う文化芸術活動への支援を強化していきます。													
			72	水と土の宝物活用事業(市民プロジェクト)	市民自らが企画・運営する、アート制作や文化イベントなどの取り組みに対し補助金を交付する。	7月1日～12月27日	引き続き、市民プロジェクトを実施すると共に、アーツカウンシル新潟への移行に向けた作業を行う。	引き続き、市民プロジェクトを実施すると共に、アーツカウンシル新潟への移行に向けた作業を行う。	○	7月1日～11月30日	市民プロジェクトの実施	文化スポーツ部	文化政策課
			73	(財)新潟市芸術文化振興財団運営費補助金(アーツカウンシル新潟)	・アーツカウンシル新潟による市民の文化芸術活動の活性化や文化と他分野との連携を推進し、本市の持続的な文化創造都市の推進体制を構築するほか、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた文化プログラムの推進に取り組む。	通年	・市民・行政等の相談対応 ・市民の文化芸術団体等への助成事業 ・市以外の助成制度等外部資金のマッチング ・beyond2020プログラム認証事務 ・市の文化政策及び文化芸術活動に関する現状調査 ・市の文化施策の向上に資する調査・研究等 ・ホームページ、SNS等による情報発信 ・「アーツカウンシル新潟」の活動PR ・市文化芸術関連事業への支援 ・組織の自律化に向けた取り組み	新型コロナウイルス関連の支援を通して、アーツカウンシル新潟への認知は広まったが、引き続き認知拡大に向けた取り組みは必要。 今年度はコロナ禍の影響もあり、助成事業の実施件数は伸びなかったが、助成事業の申請数増加に向けた取り組みや自主財源の安定的な確保も課題。 新たなアプローチも取り入れながら継続的に取り組み、市民主体の文化芸術活動の活性化につなげる。	○	通年	・市民・行政等の相談対応 ・市民の文化芸術団体等への助成事業 ・市以外の助成制度等外部資金のマッチング ・beyond2020プログラム認証事務 ・市の文化政策及び文化芸術活動に関する現状調査 ・市の文化施策の向上に資する調査・研究等 ・ホームページ、SNS等による情報発信 ・「アーツカウンシル新潟」の活動PR ・市文化芸術関連事業への支援 ・組織の自律化に向けた取り組み	文化スポーツ部	文化政策課



(再)

基本方針	柱立て	施策の方向性	通番	施策・事業名	概要(実施内容・目的等)	令和2年度実施分				令和3年度実施分		部・区	担当課
						実施期間	取組事項(実績)	課題と今後の対応	取組結果	実施期間	取組事項(予定)		
			74	音楽普及事業 おんぶんリレーコンサート	市民の音楽愛好家(プレイヤー)による短時間リレー形式の演奏会。日々の研鑽の成果を本物の舞台上でスポットライトを受けて発表する機会を設け、市民の文化活動を活性化させる。 ※市ビジョンP9(1)対応【H28年度も実施】	1月11日～3月28日	新型コロナウイルス感染症の影響で、通常通りに発表の機会を提供することが困難となった。このため、演奏動画を寄せてもらい、音楽文化会館のホームページ上でそれを紹介する「リレーコンサート・オンライン」を開催、市内の演奏家に投稿を呼びかけ、コメント欄を通じた交流も図った。	コロナ禍の中でも、感染のリスクを下げながら、音楽愛好家の皆様の発表の場を確保し、音楽を通じて生きがいを持てるようにする。(通常通りが難しければオンライン開催を行う)抽選で落選してしまう人を減らし、多くの演奏家に参加できるように2度の開催を計画。	△	・8月27日～29日 ・2月4日～6日	市内音楽愛好者への演奏発表機会提供の場として開催。時期を分け、2日間ずつ開催し、のべ4日間開催とする。	文化スポーツ部	文化政策課
			75	助成金等内定者資金融資事業	助成団体から助成金等の内定を受けている者に対し、その資金が交付されるまでの間、つなぎ融資を行う。	通年	1事業につき300万円を限度とし、かつ助成金等の内定額に相当する額を、その資金が交付されるまでの間、つなぎ融資を行う。	令和2年度の利用件数0。近年の融資実績から需要がないと判断し、令和2年度をもって事業廃止。	○	-	令和2年度で事業終了	文化スポーツ部	文化政策課
			76	文化プログラム推進事業	本市独自の文化芸術の取り組みや都市間ネットワークをいかにしながら、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた「文化プログラム」を推進する。	通年	・文化プログラムの推進 東京2020大会に向けたオリンピック文化プログラムの認証制度のPRを含む認証申請等に向けた取り組み ・beyond2020プログラム認証事務	コロナ禍において、イベントの開催自粛が多く見られた影響もあり、認証事業数が大幅に減少した。文化プログラム認証制度に関する認知度はまだ低いため、引き続き、アーツカウンシル新潟と連携しながら過去の認証団体への声かけや、新規申請者の獲得につながるよう機会をとらえたPRを実施する。	○	通年	・文化プログラムの推進 東京2020大会に向けたオリンピック文化プログラムの認証制度のPRを含む認証申請等に向けた取り組み ・beyond2020プログラム認証事務	文化スポーツ部	文化政策課
			77	日本海夕日キャンペーン	日本海夕日コンサートや、アートプロジェクト、夕日写真コンクールなど、日本海の夕日にフィーチャーした事業を行うことで、新潟の夕日の魅力を発信し、市民意識の醸成や交流人口の拡大を図る。	通年	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、例年通りのコンサートの開催はせず、Youtubeおよびケーブルテレビで過去のキャンペーン内容を編集した番組を配信した。	新型コロナウイルス感染症が拡大している中、コンサートの開催は難しく、令和3年度は休止。	△	-	R3は休止	観光・国際交流部	観光政策課
			78	地域振興費(既存事業)【地域課】	地域の伝統文化の保存、継承のための補助 【主な事業】 ・和納無形文化財保存事業	通年	地域文化の継承のための事業実施や開催支援。	文化継承のため、後継者の育成を行う。	○	通年	地域文化の継承のための事業実施や開催支援。	西蒲区	地域総務課
			79	地域振興費(既存事業)【巻文化会館】	地域の伝統文化の保存、地域の文化祭等地域の活性化に向けた事業実施や、開催支援 【主な事業】 ・巻地区文化祭、巻芸能祭、越王太鼓	通年	越王太鼓保存継承のための支援(太鼓バチ購入・太鼓修繕)。 ※巻地区文化祭及び巻芸能祭は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、実施中止。	関係者の高齢化や新型コロナウイルス蔓延の影響を受ける中、文化活動を活性化させ、地域住民の交流の場としていくことが課題。感染対策を行いながら、幅広い年代の方が参加でき、活発な文化活動や地域住民の交流の場とできるよう工夫していく。	△	通年	文化活動、創作芸術活動の活性化、地域文化の継承のための事業実施や開催支援。	西蒲区	地域総務課
			80	地域振興費(既存事業)【ゆう学館】	地域の文化祭等地域の活性化に向けた事業実施や、開催支援 【主な事業】 ・潟東総合文化祭開催	11月7日～8日	地域の文化祭等地域の活性化に向けた事業実施や、開催支援	出展数・入場者数の増加に向け、地域の文化団体・一般・保育園・小中学校・老人施設に出展依頼をする。	○	11月6日～7日	地域の文化祭等地域の活性化に向けた事業実施や、開催支援	西蒲区	地域総務課
			81	生涯学習団体補助金	各区における文化関係団体との連携を図り、その活動を通じ文化の普及・振興を図る。	通年	各文化協会及び西川高砂学級への補助金により、各種文化団体の活動と発展を支援する。また、協働による事業を実施。 (新型コロナウイルス感染症の感染により活動を一部中止した団体あり)	【課題】一部団体では事業費に対する補助金の割合が50%を超えるものがある。 【対応】事業内容や自主財源の見直しにより補助金に依存しない自立した団体の運営を促す。	○	通年	各文化協会及び西川高砂学級への補助金により、各種文化団体の活動と発展を支援する。また、協働による事業を実施。	教育委員会	中央公民館
<b>(2)文化創造拠点の活性化</b>													
新潟市民芸術文化会館(りゅーとぴあ)や新潟市美術館といった専門性の高い施設では、市民の芸術文化活動を支援するとともに、質の高い舞台芸術や展覧会の開催などに													
			82	舞踊事業 新潟発創造事業(りゅーとぴあ)	Noism1は日本初の劇場専属のプロフェッショナル・ダンスカンパニーであり、日本のコンテンポラリーダンス界のリーディングカンパニーとして概ね年2作品を国内外で公演している。また、地域の舞踊普及や若手ダンサー育成を目的とした研修生カンパニーNoism2も活動している。	通年	・「春の祭典」プレビュー公演 ・Duplex Noism0/Noism1 ・オープンクラスの開催 ほか 劇場専属舞踊団として、広く市民に舞踊の素晴らしさを伝える活動を行う	地域貢献、国内他館との連携、Noism以外の舞踊作品の提供等。活動シーズンごとの評価で課題対応状況を確認。	○	通年	・Noism夏公演「春の祭典」 ・Noism冬公演「ダブルビル」 ・Noism2定期公演 ・オープンクラスの開催 ほか  劇場専属舞踊団として、広く市民に舞踊の素晴らしさを伝える活動を行う。	文化スポーツ部	文化政策課

基本方針	柱立て	施策の方向性	通番	施策・事業名	概要(実施内容・目的等)	令和2年度実施分				令和3年度実施分		部・区	担当課
						実施期間	取組事項(実績)	課題と今後の対応	取組結果	実施期間	取組事項(予定)		
			83	演劇・新潟発創造事業	質の高い新潟オリジナルの演劇作品を創造し、新潟に留まらず、全国各地へ発信し、シビックプライド醸成・交流人口の拡大に貢献する。発信にあたっては、大都市だけでなく地方都市への展開を積極的に行い、地方における鑑賞機会の確保にも貢献する。	1月10日～31日 →中止 8月6日	・源氏物語の女たち →新潟、東京、姫路、兵庫 →コロナ禍により中止 ・奈良岡朋子「黒い雨」再演	制作業務量の負担軽減、公演開催地の開拓。	○	6月19日～7月17日	りゅーとぴあ発「ハリネズミ」(渡辺徹・内博貴)	文化スポーツ部	文化政策課
			84	企画展の開催	より市民に開かれた美術館をめざし、多くの来館者に足を運んでもらえるような多彩な企画展を開催する。	4月25日～3月31日	中央でも活躍する郷土出身の作家の個展や、同じく郷土出身・式場隆三郎の業績の掘り起こしから、アメリカの画家ベン・シャーン展、人気の高い美人画展、きかんしゃトーマス展など幅広い世代・客層に訴える多様な展示を行う。	コロナの影響により休館を余儀なくされたが、市の内外を問わず高い評価を得ることができた(式場展では美連協の奨励賞を受賞)。トーマス展では大雪の影響があったものの幅広い年代から2万人以上の来館があった。	○	4月10日～3月27日	メディアとの実行委員会形式により集客にも努めるとともに、質的にも高い展覧会を目指す。市美術館・新津美術館の所蔵品による企画展を構成し、両館の資源の積極的な活用、交流に取り組む。	文化スポーツ部	新潟市美術館
地域の文化施設では、住民主体の取り組みが容易になるよう支援します。													
			85	美術館協働会との協働	美術館を支援する有志のグループとの協働。美術館ファンの育成、アートを通じた会員の自己実現を狙いとする。	通年	美術館のブログやフェイスブックで、協働会の活動を積極的に発信する。「きままプログラム」を継続的に行う。	新型コロナウイルスの感染拡大に配慮し、会員の安全を最優先して対面形式の活動を制限して行った。解説部などはふれあい美術館ガイドの代替として、解説文の掲出など新たな手法に取り組んだ。	○	通年	会員が安心して活動に取り組めるよう引き続きコロナ対策を徹底しながら、「きままプログラム」等の活動形態を工夫・提案し、会員相互・美術館との交流が途絶えないよう支援する。	文化スポーツ部	新潟市美術館
			86	施設普及事業 地域連携(みなとぴあファンクラブ)	市の歴史文化を愛好し、博物館を支援する会員を集う。また会員向けの展示解説や講演会、見学会などのイベントを実施する。	通年	会員特典事業として、企画展鑑賞会、まちあるき、館長バスツアー、館長講演会、学芸員による特別講座を継続実施。	コロナ対策をしながら、予定していた活動は行うことができた。	○	通年	・企画展鑑賞会(3回) ・まちあるきツアー(1回) ・館長バスツアー(1回) ・館長講演会(1回) ・学芸員による特別講座(1回)	文化スポーツ部	歴史文化課
			87	創造劇「二日月」	会館では、これまで市民参加事業として「市民ミュージカル」「市民オペラ」を多くの市民の参加の基、事業展開してきた。H29年度はこれまでの公演実績をもとに、オリジナル演劇「二日月」を実施、多くの市民の参加を得て、地域文化芸術の振興や活性化を図る。	通年	市民劇団「劇団北極星」活動を継続実施する事とし、市民主体の劇団活動を展開しながら、さらなる地域文化芸術の振興や活性化を図る事を計画したが、新型コロナウイルス流行拡大を受け、事業参加者の募集や事業指導者の首都圏との往來に困難が発生したが、12月より稽古を開始、3月21日市民劇「椿姫」を公演することができた。	新型コロナウイルス流行の経過を見ながら、細心の対策の基、稽古や公演の事業展開を図る	○	7月25日	会館では、これまで市民参加事業として「市民ミュージカル」「市民オペラ」「市民演劇」を多くの市民の参加の基、事業展開してきた。R3年度はこれまでの公演実績をもとに、地元で活動する市民劇団の演劇公演を支援、多くの市民の参加を得て、地域文化芸術の振興や活性化を図る。	北区	産業振興課
			88	北区うたの祭典	グループ・サークルの枠を超えて、北区うたの祭典合唱団を毎年結成、県内各地で活動するアーティストや団体と歌声や演奏を発表、地域の住民の交流促進と音楽文化の多様性の伸長を図る。	中止	グループ・サークルの枠を超えて、北区うたの祭典合唱団を毎年結成、県内各地で活動するアーティストや団体と歌声や演奏を発表、地域の住民の交流促進と音楽文化の多様性の伸長を図る。8回目を迎える本年度は、5月より本年度参加者募集を開始、7月より練習会を開始、12月6日の本公演に臨む計画であったが、新型コロナウイルス流行拡大を受け、例年通りの練習会開催が望めず、開催予定の「第8回北区うたの祭典」は開催中止とした。	新型コロナウイルス流行の経過を見ながら、細心の対策の基、練習会や公演実施の事業展開を図る	×	10月3日	グループ・サークルの枠を超えて、北区うたの祭典合唱団を毎年結成、県内各地で活動するアーティストや団体と歌声や演奏を発表、地域の住民の交流促進と音楽文化の多様性の伸長を図る。8回目を迎える本年度は、5月より本年度参加者募集を開始、7月より練習会を開始、10月3日の本公演に臨む。現状、新型コロナウイルス流行拡大については、様々な対策をし練習会の開催やホール公演対応を行っており、早期の流行終息が望まれる。	北区	産業振興課
			89	東区まんなか文化プロジェクト	東区市民劇団の演劇や、区内の文化活動団体と連携した事業により、東区のみならず、区役所庁舎から文化を発信し、にぎわいを創出する。	通年	東区市民劇団による演劇公演やコンサート、作品展示を通じ、東区のみならず、区役所庁舎から文化を発信していく。また、区内中学校文化部の活動体験を通じ、世代間の交流を図ることで地域の活性化を促進していく。	区民の文化鑑賞と活動団体の発表の機会を作ることができた。今後もにぎわいの創出と地域の活性化を引き続き図っていく。※区内中学校文化部の活動体験は新型コロナウイルスの影響で中止	△	-	R3年度は事業番号10、183を統合し「東区プラザ会館10周年記念 東区歴史文化プロジェクト」として実施する	東区	地域課
			90	江南区郷土資料館管理の運営	江南区の歴史・文化を分かりやすく伝える講座等の実施を通じ、江南区が持つ歴史と伝統の理解と継承に努める。	通年	・郷土史講座 ・歴史講座 ・子ども体験教室 ・企画展	【課題】 コロナ感染防止対策を踏まえた講座の実施と新規参加者の獲得。 【対策】 講師選定や内容の刷新等、魅力ある講座づくりの実施。	○	通年	・郷土史講座 ・歴史講座 ・子ども体験教室 ・企画展	江南区	産業振興課

基本方針	柱立て	施策の方向性	通番	施策・事業名	概要(実施内容・目的等)	令和2年度実施分				令和3年度実施分		部・区	担当課
						実施期間	取組事項(実績)	課題と今後の対応	取組結果	実施期間	取組事項(予定)		
			91	文化芸術の創造・発信	親しみやすい事業実施のため、プロポーザルにより民間の高い専門性を活用した委託事業を実施する。	①2月14日 ②2月28日	①神谷明口演会 観客:171人 ②金田一秀穂講演会 観客:170人	R3予算は減額となったが、引き続き、民間の専門性を活用した委託事業を実施し、文化会館の利活用を促進する。	○	通年	年間1公演以上を予定※内容については、プロポーザルで選定された委託業者の企画を実施する。	江南区	産業振興課
			92	石油文化普及啓発事業	国指定史跡「新津油田金津鉦場跡」を中心とした石油関連遺産を活用し、市民団体による講演会や野外見学会、小学校への出前講座等を通じて、石油文化に触れる機会を提供する。	中止	石油に関連した講演やイベントを開催するとともに、市内の小中学校への出前講座を実施。 ※新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため全ての事業を中止とした。今後、講演会やイベントを開催する際には、新型コロナウイルス感染症の感染状況によって開催可否の判断をする必要がある。また、実施する際は十分な感染症対策を講じる必要がある。	×	通年	上半期に予定されていた講演会等の事業と出前講座は中止を検討。下半期の講演会等のイベントについては今後の新型コロナウイルス感染症感染状況により判断する。	秋葉区	地域総務課
			93	秋葉区文化会館の管理運営	秋葉区文化会館を指定管理者に管理運営させ、地域における文化活動及び芸術活動の拠点として、市民に音楽、演劇等の鑑賞の機会を提供し、並びに市民の文化活動及び芸術活動を支援することにより、これらを通じた市民相互の交流を推進し、及び地域文化の振興を図る。	通年	鑑賞・普及育成・創造型・交流といった類型の文化事業を主催するとともに、施設利用の受付・許可、その他の管理運営を行う。	文化事業について、市民相互の交流を推進し、地域文化の振興を図るため、よりいっそうの取り組みが必要。	○	通年	鑑賞・普及育成・創造型・交流といった類型の文化事業を主催するとともに、施設利用の受付・許可、その他の管理運営を行う。	秋葉区	地域総務課
			94	しろね大風と歴史の館管理運営費	しろね大風と歴史の館の管理運営に係る指定管理	通年	指定管理者と協働により、白根大風合戦並びに白根地区の歴史及び文化を広く内外に紹介するとともに、市民文化の向上に資する。	入館者数が減少傾向にあることが課題。旧笹川家住宅とのイベントタイアップ企画などの開催や新たな企画展など指定管理者と協力しながら進めていく。	○	通年	文化資源の知名度向上及び保存活用	南区	地域総務課
			95	西蒲区文化施設を運営する市民の会事業	巻郷土資料館、渦東樋口記念美術館・渦東歴史民俗資料館、岩室民俗史料館、中之口先人館、澤将監の館等を活用し、展覧会や体験教室、校外学習等を実施	通年	コロナ禍において感染防止対策を行い展覧会、体験教室、イベント等の文化事業を実施。	各施設の活性化に向けて、地域の団体や人脈、施設間の連携強化を図り、かつ有効な広報手段等を検討する。	○	通年	各施設の所蔵品を活用した展覧会やイベント、体験教室の開催や文化活動を行う団体や人材と連携し事業を展開する	西蒲区	地域総務課
			96	公民館事業	生涯学習社会にふさわしい人づくり、地域づくりを目指し、市民の学習活動を奨励し支援する。また、地域の自然を知る事や地域団体等と連携して伝統文化の継承と振興を図る。  【主な実施内容】 ・文化祭や芸能祭、茶道・陶芸教室、書道、絵手紙講座など ・内野三川リバーサイドウォーク、北区市民茶会など ・文芸誌の発行	通年	生涯学習社会にふさわしい人づくり、地域づくりを目指し、市民の学習活動を奨励し支援する。また、地域団体等と連携して伝統文化の継承と振興を図り、郷土愛を育む。  【主な実施内容】 ・文化祭や公民館まつり、地域の伝統産業、陶芸・書道・地域学等を学ぶ文化講座	【課題】 新型コロナウイルス感染症拡大防止の一環で、様々な地域団体の活動が停滞する中、地域との連携が必要な、伝統文化関連事業実施も困難な状況が続いている。 【対応】 事業の実施にあたり、連携先や事業への参加希望者が安心できる、事業形式を検討していく。場合によってはオンライン形式での事業実施についても模索していく。	△	通年	生涯学習社会にふさわしい人づくり、地域づくりを目指し、市民の学習活動を奨励し支援する。また、地域団体等と連携して伝統文化の継承と振興を図り、郷土愛を育む。  【主な実施内容】 ・文化祭や公民館まつり、地域の伝統産業、茶道・陶芸・書道・地域学等を学ぶ文化講座	教育委員会	中央公民館
文化施設の専門性を活かした次世代の育成や文化芸術をより広く市民に届ける活動を推進します。													
			97	登録アーティスト及び演劇スタジオ APRICOTによるアウトリーチ事業	生の舞台芸術に接する喜びを社会各層の多くの人々、特に身体的或いは経済的な理由によりりゅーとびあに来院することが困難な人に届けていくことで、舞台芸術ファンを醸成することを目的とする。	中止	新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、R2年度のりゅーとびあアウトリーチ事業は中止。	新型コロナウイルス感染症拡大状況と予算削減により、R3年度はAPRICOTアウトリーチを実施できず。	×	通年	小学校4年生をターゲットの中心とし、登録アーティストによる学校訪問を実施する。登録期間2年間の最後の年にあたるため、卒業リサイタル開催予定。	文化スポーツ部	文化政策課
			98	ジュニア音楽3教室及び演劇スタジオ APRICOT育成事業(りゅーとびあ)	青少年を対象としたオーケストラ、合唱、邦楽合奏、演劇の活動を年間通して行ない、地域の舞台芸術を担う人材の健やかな発達を図るとともに、舞台芸術に関わる市民層を拡大することで、将来に向けて、地域の舞台芸術活動及び鑑賞者の水準を高めるための環境づくりを図る。	通年	各教室とも新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、練習形態を変更して活動を行う。	青少年世代の大幅な減少という人口変化を迎える中、どのように参加者を集め続けていくかが、存続にかかわる大きな問題。より積極的に魅力をPRしていく。	○	通年	通年にわたるジュニア音楽教室及びAPRICOTの運営と、各教室の演奏会開催。3教室合同のスプリングコンサート開催。APRICOTは夏季および春季の公演を開催。	文化スポーツ部	文化政策課
			99	音楽育成事業にいがた東響コーラス	りゅーとびあ開館の平成10年から続く、市民参加型合唱団。りゅーとびあ準フランチャイズオーケストラ東京交響楽団と年1回必ず共演するため、質の高い市民合唱を育成する。	通年	・出演: 東京交響楽団第122回新潟定期演奏会→コロナ禍により出演中止 東京交響楽団第124回新潟定期演奏会→演奏会名を東京交響楽団新潟特別演奏会2021弥生に変更して開催、出演	毎年、新たな参加者を得て新陳代謝を行ないながら、演奏レベルの維持・向上に努める必要がある。	○	5月～9月	東京交響楽団第122回新潟定期演奏会(9/19)出演	文化スポーツ部	文化政策課

基本方針	柱立て	施策の方向性	通番	施策・事業名	概要(実施内容・目的等)	令和2年度実施分				令和3年度実施分		部・区	担当課
						実施期間	取組事項(実績)	課題と今後の対応	取組結果	実施期間	取組事項(予定)		
(再)			100	會津八一記念館事業	會津八一の作品、遺品等を収集し、保管し、及び展示することにより、會津八一の業績を顕彰するとともに、市民文化の向上に資するため。	通年	館の管理運営にかかる指定管理委託料(企画展・特別展の開催) ・心の旅 ・新収蔵品展 ・日々新面目あるべし ・私の好きな八一の書	観覧者数が伸び悩んでおり、観覧車を増やすための対策を講じ、一定の入館者数を確保する必要がある。業務内容の見直しと職員体制の見直しを求められている。	○	通年	館の管理運営にかかる指定管理	文化スポーツ部	文化政策課
			101	水族館管理経費	魚類、海獣その他の水生生物に関する知識を広め、魚類等への親しみを深めることにより、市民の教養と健全な余暇の活用に資するため。	通年	館の管理運営にかかる指定管理	競合施設が増加する中で、リピーターをお増やすなどの対策を講じ、一定の入館者数を確保する必要がある。業務内容の見直しと職員体制の見直しを求められている。	○	通年	館の管理運営にかかる指定管理	文化スポーツ部	文化政策課
			102	(公財)海洋河川文化財団運営補助金	新潟の特色ある豊かな湯や里山などの自然、地形・景観を再評価し、その魅力の活用・強化・保全を図るとともに、市内外へ積極的に発信し、自然の豊かさを創出することで「癒しの文化」「心安らぐ文化」づくりを目指す。	通年	本市を中心とする海洋・河川文化の現況把握・歴史的背景・保護継承を通して社会における火曜・河川文化の重要性・関係性を啓発する。 (1)海洋・河川文化の普及啓発、調査研究及び保護継承 (2)水生生物とその生息環境の展示及び飼育	業務内容の見直しと職員体制の見直しを求められている。	○	通年	(公財)海洋河川文化財団の事業運営にかかる費用	文化スポーツ部	文化政策課
(再)			103	教育普及事業の実施(アトリップの実施)	学校での学芸員派遣授業と、児童生徒の来館授業を組み合わせ、学校と連携した鑑賞プログラムを行う。必要に応じて来館時にバスを支援する。	9月1日～2月28日	学校での学芸員派遣授業と、児童・生徒の来館授業を組み合わせ、学校と連携した鑑賞プログラム。コロナ対策を取りつつ5校で実施。地元新聞にも取り上げられ、実施校からも好評を得た。終了後に発行している報告書もフォーマットを一新して作成した。	学校とよく意見交換し、さらに充実したプログラムを提案することができるようになってきているものの、未経験校の参加が伸び悩んでいる。また大雪のため中止となった回があったため冬場の実施は慎重な判断が必要。	○	7月1日～1月31日	学校での学芸員派遣授業と、児童・生徒の来館授業を組み合わせ、学校と連携した鑑賞プログラムをコロナ対策にも配慮して行う。終了後報告書を作成する。	文化スポーツ部	新潟市美術館
(再)			104	美術館協会との協働	美術館を支援する有志のグループとの協働。美術館ファンの育成、アートを通じた会員の自己実現を狙いとする。	通年	美術館のブログやフェイスブックで、協会の活動を積極的に発信する。「きままプログラム」を継続的に進行。	新型コロナウイルスの感染拡大に配慮し、会員の安全を最優先して対面形式の活動を制限して行った。解説部などはふれあい美術館ガイドの代替として、解説文の掲出など新たな手法に取り組んだ。	○	通年	会員が安心して活動に取り組めるよう引き続きコロナ対策を徹底しながら、「きままプログラム」等の活動形態を工夫・提案し、会員相互・美術館との交流が途絶えないよう支援する。	文化スポーツ部	新潟市美術館
(再)			105	教育普及の実施	・学校との連携プログラム「出前美術館」 ・テーマを設定した美術に関する「美術講座」「ギャラリートーク」など	通年	「出前美術館」4回以上 「美術講座」「ギャラリートーク」等を10回以上	予算状況や学校等の都合により開催回数の変動がある。	○	通年	「出前美術館」4回以上 「美術講座」「ギャラリートーク」等を10回以上	文化スポーツ部	新津美術館
(再)			106	博・学連携事業(歴史博物館)	小学校・中学校の見学に際し展示解説等の対応を行うとともに、新潟大学と連携して当館学芸員の寄付講義や大学生の実習受け入れを行う。学校のニーズに応じて出前授業にも対応する。	通年	学校団体見学対応、中学生の職場体験受入、大学生への博物館実習受け入れ、新潟大学への寄附講義、大学への出前講義、小学校への出前授業等を継続実施。	・小学生の来館学習の時期にコロナの流行が重なり来校数が減った。 ・体験・実習者の健康管理とコロナ対策下での内容の検討、リモート講義などを行った。 ・体験型出前授業の申込が難しくなり、キット化し、マニュアル作成を行い先生が利用できる工夫が必要。	△	通年	・学校団体の対応 ・中学生の職場体験受入 ・大学生の博物館実習受入 ・新潟大学寄付講義 ・小学校への出前授業  その他学校からの要望への対応適宜	文化スポーツ部	歴史文化課
			107	歴史博物館企画展等実施事業	市域の歴史的特性を明らかにし、市民の歴史に対する理解を深めるとともに、歴史を媒介とした市民交流を行うことにより、市民の社会的活動及び文化的活動に寄与することを目的として、館所蔵資料などの研究・活用を通して企画展を開催する(年4回程度)	通年	歴史博物館企画展(指定管理) ・「いっぴん」展 ・「湯のくらし」展 ・むかしのくらし展「新潟の昭和」 ・収蔵品・新収蔵品展	・引き続き市民ニーズに合った企画展を立案・実施する。 ・新型コロナウイルス感染症対策を講じながら館を運営する。 ・SNSなどを活用しながら館の価値を広く拡散し、上記感染症の影響で激減した入館者数の回復を図る。	○	通年	歴史博物館企画展(指定管理) ・「みなとまち新潟の記憶」展 ・むかしのくらし展「マチとムラの年中行事」 ・収蔵品・新収蔵品展 ・「幕末新潟の絵師」展	文化スポーツ部	歴史文化課
			108	(仮称)新潟市文書館整備事業	歴史資料の収蔵・公開の拠点施設として、北区太田地区において学校統合により閉校となった太田小学校校舎を再利用し、「(仮称)新潟市文書館」を新設整備する。	通年	・(仮称)新潟市文書館の整備・改修工事 ・(仮称)新潟市文書館条例等の制定	・新潟市文書館の整備改修工事、新潟市文書館条例の制定を完了した。 ・R3年度は、施設の開館準備作業と館運営にかかる諸規則等の整備を行う。	○	通年	新潟市文書館の開館・運営	文化スポーツ部	歴史文化課

基本方針	柱立て	施策の方向性	通番	施策・事業名	概要(実施内容・目的等)	令和2年度実施分				令和3年度実施分		部・区	担当課
						実施期間	取組事項(実績)	課題と今後の対応	取組結果	実施期間	取組事項(予定)		
(再)			109	アウトリーチ事業	劇場や会館に自力で来られない人々の為に、一流の演奏家や芸能家を地域に派遣し、身近に音楽や芸能を楽しんでもらう。	11月6日	3演目のアウトリーチを、区内9カ所の教育施設や健康福祉施設等で開催し、あわせてそれぞれの演目のワンコインご縁コンサートを、音楽演奏及び鑑賞環境の整った会館ホールで開催する計画であったが、新型コロナウイルス流行拡大に伴い、事業受入先の選定が困難となり、1演目のみのアウトリーチ実施となった。	新型コロナウイルス流行の経過を見ながら、事業の受け入れ先と連絡調整体制を整え、事業の展開を図る	△	通年	3演目のアウトリーチを、区内3カ所の教育施設や健康福祉施設等、北区役所ロビー、豊栄総合体育館で開催し、1演目のワンコインご縁コンサートを、音楽演奏及び鑑賞環境の整った会館ホールで開催する。	北区	産業振興課
			110	北区少年少女合唱団活動支援	北区内のみに限らず周辺地域の小・中学生を募集、合唱の指導を行う。会館の良い環境下で活動を行う事により、実りある練習を積むことが出来る。子供たちの健全育成・文化芸術の伸長を図るとともに、各種の発表会への出演や保護者をはじめとする地域住民との交流で音楽文化の拡大も図る。	通年	平均月2回～3回の練習会を開催し団員及び地域住民や学校の友人・保護者等が、文化会館の他の事業や公演に興味を持ち、音楽に対する理解度を深めるよう、事業展開を計画したが、新型コロナウイルス流行拡大を受け、練習会の開催は8月からとなった。また出演予定であった12月6日「北区うたの祭典」、2月「にいがたジュニアコーラス・フェスティバル2020」、3月「定期演奏会」はすべて開催中止となった。	新型コロナウイルス流行の経過を見ながら、細心の対策の基、練習会等の事業展開を図る	△	通年	平均月2回～3回の練習会を開催、団員及び地域住民や学校の友人・保護者等が、文化会館の他の事業や公演に興味を持ち、音楽や演劇に対する理解度を深めるよう事業展開する。4月18日「定期演奏会」10月3日「北区うたの祭典」、2月12日「にいがたジュニアコーラス・フェスティバル2021」に出演予定。	北区	産業振興課
			111	北区ジュニア吹奏楽団活動支援	北区内のみに限らず周辺地域の青少年を募集、バンド演奏指導と活動への支援を行う。青少年の健全育成・文化芸術の伸長を図るとともに、保護者をはじめとする地域住民との交流で音楽文化の拡大・情報発信も図る。	通年	平均月2回～3回の練習会を開催し団員及び地域住民や学校の友人・保護者等が、文化会館の他の事業や公演に興味を持ち、音楽に対する理解度を深めるよう、事業展開を計画したが、新型コロナウイルス流行拡大を受け、練習会の開催は7月からとなった。4月29日に「ジュニアスプリングコンサート」は開催中止となった。10月11日に「第5回定期演奏会」(非公開、関係者のみ)を開催した。	新型コロナウイルス流行の経過を見ながら、細心の対策の基、練習会等の事業展開を図る	△	通年	平均月2回～3回の練習会を開催、団員及び地域住民や学校の友人・保護者等が、文化会館の他の事業や公演に興味を持ち、音楽に対する理解度を深めるよう事業展開する。4月25日「スプリングコンサート」10月10日「第6回定期演奏会」に出演予定。	北区	産業振興課
			112	利用団体向け選択プログラム	青少年を主体とする団体にクラフトやブラックライトを使った絵を描く体験、KAPLA®を使った作品作り、新潟西海岸でのサンドアート体験など個人または仲間と協力してひとつの作品作りに取り組むプログラムを提供することで文化芸術の魅力や価値に触れる機会を創出し、芸術活動の普及に寄与する。	通年	・原始的な火おこし ・クラフト(工作) ・ブラックライトで光る絵を描こう ・けん玉体験 ・KAPLA®体験 ・海でサンドアート など	参加人数向上のため、雨天時でも行えるプログラムなどの新たな提案を構築する。	○	通年	・原始的な火おこし ・クラフト(工作) ・ブラックライトで光る絵を描こう ・けん玉体験 ・KAPLA®体験 ・海でサンドアート など	教育委員会	地域教育推進課
			各施設の発信力を高めるとともに、多様な文化的特徴をもつエリア内のゆるやかなネットワーク化により、エリアの魅力を際立たせます。										
(再)			113	文化施設等を活用した伝統文化PR事業	・旧齋藤家別邸、砂丘館等、中央区内文化施設の連携を図りつつ、伝統文化PR事業を推進する。	11月28日	・新潟市旧齋藤家別邸庭園築造100周年記念シンポジウムの開催 ・旧齋藤家別邸屋外型施設案内板の設置	施設間の連携強化及び中央区伝統文化のPRにおいて一定の効果が得られたため、令和2年度で事業を終了。	○			中央区	地域課
			114	文化会館による自主事業	様々な世代に対し文化芸術に気軽に触れる機会の提供や文化芸術活動への支援を行う。	通年	①県立大学コンサート2開催3公演(10月3日、1月9日・11日)観客:308人 ②演劇公演2開催5公演(江南区演劇祭含む)(10月17日・18日、2月27日)観客:588人 ③社会人落語祭り ※感染症拡大のため中止 ④Konan Brass Festival ※感染症拡大のため中止 ⑤新潟明訓高等学校ダンス部公演2公演 ※共催でなく、明訓高校単独で開催	演劇祭実行委員会への財政支援は令和2年度で終了したが、令和3年度からは共催事業として、使用料の減免による支援を行っていく。	△	通年	①県立大学コンサート1開催2公演 ②演劇公演(開催数及び公演数未定) ③社会人落語祭り	江南区	産業振興課
(3)子どもや若者、アーティスト・クリエイターの育成・支援													
子どもの豊かな感性や創造力を育むため優れた文化芸術に触れる機会、伝統芸能や文化遺産に親しむ機会を充実します。													
(再)			115	水と土の宝物活用事業(子どもプロジェクト)	アーティストを招へいたワークショップ等を通じて子どもたちの創造性を育む企画を実施。	8月～2月	公民館及び子ども創造センターと連携し、子どもたちの創造性を育むとともに、新潟市の独自の魅力を伝える事業を市内広域で実施	他部署の子ども向け事業との棲み分けや差別化が課題のため、他事業との連携、統合など、今後の事業の方向性に関する検討が必要。	○	8月～2月	公民館やアーティスト・イン・レジデンス事業などと連携し、子どもたちの創造性を育むための取り組みを実施。	文化スポーツ部	文化政策課

基本方針	柱立て	施策の方向性	通番	施策・事業名	概要(実施内容・目的等)	令和2年度実施分				令和3年度実施分		部・区	担当課
						実施期間	取組事項(実績)	課題と今後の対応	取組結果	実施期間	取組事項(予定)		
			116	能楽・普及事業	公立の施設として全国的にも設置数の少ない伝統様式の能楽堂を持つりゅーとびあの特徴を生かし、本物の「能楽」に触れる機会を増やし、市民の日本の伝統芸能に対する理解を醸成する。	通年	能、狂言、囃子のワークショップを開催。 なお、新型コロナ感染拡大防止の観点から、R2年度については、小・中学校でのワークショップは中止。	新型コロナウイルスの感染拡大状況を見定めつつ、事業内容を工夫していく必要がある。	○	通年	能、狂言のワークショップを開催。コロナ状況を見極めつつ、アウトリーチも実施する。能楽堂での普及体験講座も実施する。	文化スポーツ部	文化政策課
(再)			117	子どものための芸術文化体験事業	日頃、生の音楽に接する機会の少ない子どもたちに、りゅーとびあコンサートホールを会場に良質なオーケストラ音楽を体験してもらうことによって、音楽の楽しさと文化芸術の素晴らしさを伝えるとともに、豊かな感性や創造力を育むことを目的に、東京交響楽団によるコンサートと学校訪問を行います。	8月1日(本公演) ※アウトリーチは中止	コンサートを開催 ※アウトリーチ中止	感染症対策を行い、コンサートを開催する。また、アウトリーチに関しては、関係各所と開催に向けた検討を行う。	△	7月31日(コンサート)、時期未定(アウトリーチ)	コンサートおよびアウトリーチの開催	文化スポーツ部	文化政策課
(再)			118	教育普及事業の実施(アートリップの実施)	学校での学芸員派遣授業と、児童生徒の来館授業を組み合わせ、学校と連携した鑑賞プログラムを行う。必要に応じて来館時にバスを支援する。	9月1日～2月28日	学校での学芸員派遣授業と、児童・生徒の来館授業を組み合わせ、学校と連携した鑑賞プログラム。コロナ対策を取りつつ5校で実施。地元新聞にも取り上げられ、実施校からも好評を得た。終了後に発行している報告書もフォーマットを一新して作成した。	学校とよく意見交換し、さらに充実したプログラムを提案することができるようになってきているものの、未経験校の参加が伸び悩んでいる。また大雪のため中止となった回があったため冬場の実施は慎重な判断が必要。	○	7月1日～1月31日	学校での学芸員派遣授業と、児童・生徒の来館授業を組み合わせ、学校と連携した鑑賞プログラムをコロナ対策にも配慮して行う。終了後報告書を作成する。	文化スポーツ部	新潟市美術館
(再)			119	教育普及の実施	・学校との連携プログラム「出前美術館」 ・テーマを設定した美術に関する「美術講座」「ギャラリートーク」など	通年	「出前美術館」4回以上 「美術講座」「ギャラリートーク」等を10回以上	予算状況や学校等の都合により開催回数の変動がある。	○	通年	「出前美術館」4回以上 「美術講座」「ギャラリートーク」等を10回以上	文化スポーツ部	新津美術館
(再)			120	博・学連携事業(歴史博物館)	小学校・中学校の見学に際し展示解説等の対応を行うとともに、新潟大学と連携して当館学芸員の寄付講義や大学生の実習受入れを行う。学校のニーズに応じて出前授業にも対応する。	通年	学校団体見学対応、中学生の職場体験受入、大学生への博物館実習受入れ、新潟大学への寄附講義、大学への出前講義、小学校への出前授業等を継続実施。	・小学生の来館学習の時期にコロナの流行が重なり来校数が減った。 ・体験・実習者の健康管理とコロナ対策下での内容の検討、リモート講義などを行った。 ・体験型出前授業の申込が難しくなり、キット化し、マニュアル作成を行い先生が利用できる工夫が必要。	△	通年	・学校団体の対応 ・中学生の職場体験受入 ・大学生の博物館実習受入 ・新潟大学寄付講座 ・小学校への出前授業  その他学校からの要望への対応適宜	文化スポーツ部	歴史文化課
			121	こども創造センター管理運営事業(指定管理者制度)	こども創造センターの管理運営(指定管理者制度)	通年	子どもを対象とした創作・体験活動の場、親子が安心して過ごせる場の提供をメインに、地域の活動情報の発信や人材育成も行う。	新型コロナウイルス感染症対策を講じた上、親子が安心して過ごせる場の提供が必要がある。今後も感染状況等を考慮しつつ、可能な範囲で創作・体験活動を提供していく。	○	通年	子どもを対象とした創作・体験活動の場、親子が安心して過ごせる場の提供をメインに、地域の活動情報の発信や人材育成も行う。	こども未来部	こども政策課
			122	月形町児童交流事業	友好姉妹町村であった旧月潟村と北海道月形町の児童を対象に、交流会や体験活動を通じて子供たちの成長を図る。	8月	・コロナウイルス感染拡大防止のため、交流会を中止。特産品交換のみ実施。	令和3年度に月形町の児童を受け入れ交流会・記念式典を開催する。	△	8月	・児童交流会の実施 ・記念式典の実施	南区	月潟地区公民館
(再)			123	西区アートプロジェクト(音楽・造形)	音楽イベントと造形イベントの融合を図りながら地域の魅力発信や地域支援を図るほか、次世代を担う子どもたちの創造力や地域への愛着を育むことを目指す。	11月7・8日	・造形ワークショップ ・こども音楽体験 ・地元団体とのアートイベント共催 ・アート展示イベント など	コロナ禍において、造形ワークショップなどの参加者との接触機会を有する企画や多くの参加者が集う場合の感染対策及び開催方法について、検討が必要であるが、新潟大学との連携を更に深め、地域活性化や子どもたちの創造力を伸ばすきっかけづくりとなるよう取り組む。	○	10月23・24日	・音楽イベント1回開催 ・造形イベント1回開催	西区	地域課
(再)			124	市民交流事業	KAPLA®(カプラ)という造形ブロックを使って作品を作り、大会に応募することができる場を提供することで、青少年が文化芸術に触れる足掛かりとして作品を作る、だれかに見てもらい楽しさを感じてもらおう。	通年	・KAPLA®で遊べる機会の創出 ・「全国KAPLA®大会」の会場施設として参加	参加人数向上のため、KAPLA®の認知度向上に向けた取り組みを実施する。	○	通年	・KAPLA®で遊べる機会の創出 ・「全国KAPLA®大会」の会場施設として参加	教育委員会	地域教育推進課
			125	本物の舞台芸術鑑賞事業	優れた音楽や文化芸術に触れる機会を提供し、体験を通して、豊かな心を育む。	10月20日～21日(中止)	R2年度の「こころの劇場」は、10月20日(火)21日(水)に公演予定であったが、コロナウイルス感染症に関連して中止とした。		×	11月15日～11月19日	劇団四季より「こころの劇場」を実施希望校に動画配信予定	教育委員会	学校支援課

基本方針	柱立て	施策の方向性	通番	施策・事業名	概要(実施内容・目的等)	令和2年度実施分				令和3年度実施分		部・区	担当課
						実施期間	取組事項(実績)	課題と今後の対応	取組結果	実施期間	取組事項(予定)		
			126	子ども体験活動・ボランティア活動推進事業	土日や長期休業期間に子どもたちに様々なものづくり体験や伝統文化体験等の体験型事業を実施する。事業を通じて自立心や協調性他人に対する思いやりの心を育み、子どもたちの健全育成を図る。 【主な実施内容】 ・新潟漆器体験、大風合戦、白根絞り、鯛車づくり、地域の伝統芸能体験など	通年	土日や長期休業期間に子どもたちに様々なものづくりや伝統文化等の体験型事業を実施。体験を通じて自立心や協調性、社会性などを育み、青少年の健全育成を図る。 【主な実施内容】 ・文字と書道に親しもう、門松づくり、大鷲宮のぼりばやし、臼井伝統芸能の伝承など	【課題】 新型コロナウイルス感染拡大防止の一環で、様々な地域団体の活動が停滞する中、地域との連携が必要な、伝統文化関連事業実施も困難な状況が続いている。 【対応】 事業の実施にあたり、連携先や事業への参加希望者が安心できる、事業形式を検討していく。場合によってはオンライン形式での事業実施についても模索していく。	△	通年	土日や長期休業期間に子どもたちに様々なものづくりや伝統文化等の体験型事業を実施。体験を通じて自立心や協調性、社会性などを育み、青少年の健全育成を図る。 【主な実施内容】 ・日本の伝統文化や、地域の伝統文化を次世代を担う子どもたちへ伝承する事業。	教育委員会	中央公民館
文化施設の専門性を活かした次世代の育成を推進します。【再掲1(2)】													
(再)			127	ジュニア音楽3教室及び演劇スタジオ APRICOT育成事業(りゅーとびあ)	青少年を対象としたオーケストラ、合唱、邦楽合奏、演劇の活動を年間通して行ない、地域の舞台芸術を担う人材の健やかな発達を図るとともに、舞台芸術に関わる市民層を拡大することで、将来に向けて、地域の舞台芸術活動及び鑑賞者の水準を高めるための環境づくりを図る。	通年	各教室とも新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、練習形態を変更して活動を行う。	青少年世代の大幅な減少という人口変化を迎える中、どのように参加者を集め続けていくかが、存続にかかわる大きな問題。より積極的に魅力をPRしていく。	○	通年	通年にわたるジュニア音楽教室及びAPRICOTの運営と、各教室の演奏会開催。3教室合同のスプリングコンサート開催。APRICOTは夏季および春季の公演を開催。	文化スポーツ部	文化政策課
(再)			128	北区少年少女合唱団活動支援	北区内のみに限らず周辺地域の小・中学生を募集、合唱の指導を行う。会館の良い環境下で活動を行う事により、実りある練習を積むことが出来る。子供たちの健全育成・文化芸術の伸長を図るとともに、各種の発表会への出演や保護者をはじめとする地域住民との交流で音楽文化の拡大も図る。	通年	平均月2回～3回の練習会を開催し団員及び地域住民や学校の友人・保護者等が、文化会館の他の事業や公演に興味を持ち、音楽に対する理解度を深めるよう、事業展開を計画したが、新型コロナウイルス流行拡大を受け、練習会の開催は8月からとなった。また出演予定であった12月6日「北区うたの祭典」、2月「にいがたジュニアコーラス・フェスティバル2020」、3月「定期演奏会」はすべて開催中止となった。	新型コロナウイルス流行の経過を見ながら、細心の対策の基、練習会等の事業展開を図る	△	通年	平均月2回～3回の練習会を開催、団員及び地域住民や学校の友人・保護者等が、文化会館の他の事業や公演に興味を持ち、音楽や演劇に対する理解度を深めるよう事業展開する。4月18日「定期演奏会」10月3日「北区うたの祭典」、2月12日「にいがたジュニアコーラス・フェスティバル2021」に出演予定。	北区	産業振興課
(再)			129	北区ジュニア吹奏楽団活動支援	北区内のみに限らず周辺地域の青少年を募集、プラスバンド演奏指導と活動への支援を行う。青少年の健全育成・文化芸術の伸長を図るとともに、保護者をはじめとする地域住民との交流で音楽文化の拡大・情報発信も図る。	通年	平均月2回～3回の練習会を開催し団員及び地域住民や学校の友人・保護者等が、文化会館の他の事業や公演に興味を持ち、音楽に対する理解度を深めるよう、事業展開を計画したが、新型コロナウイルス流行拡大を受け、練習会の開催は7月からとなった。4月29日に「ジュニアスプリングコンサート」は開催中止となった。10月11日に「第5回定期演奏会」(非公開、関係者のみ)を開催した。	新型コロナウイルス流行の経過を見ながら、細心の対策の基、練習会等の事業展開を図る	△	通年	平均月2回～3回の練習会を開催、団員及び地域住民や学校の友人・保護者等が、文化会館の他の事業や公演に興味を持ち、音楽に対する理解度を深めるよう事業展開する。4月25日「スプリングコンサート」10月10日「第6回定期演奏会」に出演予定。	北区	産業振興課
創造的な活動を行う若者の活動を積極的に支援し、文化芸術を創造し支える人材の育成・支援を進めます。													
			130	にいがたマンガ大賞の開催	プロ・アマを問わず、国内外から作品を募集するマンガコンテストを実施。募集前には初心者に向けた動画をHPに公開する。	8月1日から9月22日募集⇒審査・12月発表	部門別に作品を募集し、大賞ほか各賞を決定した。また、作品募集時には、マンガ制作のための活動を支援し、応募作品数を増やすことを目的に初心者向けのマンガ講座の動画を制作・HPで公開した。結果発表後については、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により表彰式を中止したが、代わりに最終審査員や上位受賞者のコメントをHPに掲載。また、作品集を発行するとともに、作品展を開催した。	・デジタル作画のデータ応募について、より応募しやすい形にする。 ・作品集のWEBコミック化の検討。(にいがたマンガ大賞、こどもにいがたマンガ大賞作品は、すでにWEB掲載済)	△	8月1日から9月21日募集⇒審査・12月発表	次世代育成のため、小学生・中学生・高校生の各部門を設定する他、幼児も参加可能なイラスト部門も設定。応募開始前後に、初心者向けのマンガ講座の動画をHPで公開する。応募後については、審査員による講評を応募者へ送り、応募者の次回創作への意欲向上につなげるほか、表彰式、作品集の発行、作品展の開催を行う。	文化スポーツ部	文化政策課

基本方針	柱立て	施策の方向性	通番	施策・事業名	概要(実施内容・目的等)	令和2年度実施分				令和3年度実施分		部・区	担当課
						実施期間	取組事項(実績)	課題と今後の対応	取組結果	実施期間	取組事項(予定)		
			131	マンガ家志望者支援事業	東京の出版社と直接やりとりする機会が少ない地方在住のプロマンガ家志望者のプロデビューを支援するため、地方にいながらマンガ原稿を持ち込みできるよう、マンガ雑誌編集部による添削会の場を設定する。	通年	新型コロナウイルスの感染状況をふまえ、出版社マンガ雑誌編集部によるオンラインによる添削会を実施した。事業の共催の専門学校の会場には、端末を用意し、Zoomで編集部と接続した(新潟会場の端末は本市が設置して対応)。 ※10月についてはオンラインにて添削会を実施したが、2月に予定していた2・3回目について、感染症拡大の影響で新潟会場側の都合がつかなくなり中止したが、代わりに原稿を編集部に送りコメントを送付してもらった。	・コロナ禍でも対応可能な実施手法(会場等)の検討。 ・コロナ禍でも編集部が受け取りやすい原稿提出方法の検討。 ・一般層の参加割合を高めるための周知方法を検討。	△	通年	新型コロナウイルスの感染状況をふまえ、出版社マンガ雑誌編集部によるオンラインによる添削会を実施する。新潟サイドの会場には端末を本市で設置して対応。	文化スポーツ部	文化政策課
			132	若手料理人育成支援事業	若手料理人が地場産品への理解の深化と活用の促進を図り、本市の食・食文化の魅力を発信する料理人を発掘・育成するため、地場産品の活用をテーマとした「料理コンテスト」と、国内外で行われる研修に対する「研修支援補助」を行う。	通年	・新型コロナウイルスの関係でコンテスト及び研修支援補助については中止。	新型コロナウイルス感染症の蔓延状況により料理人への支援が滞る恐れがある。ポストコロナの感染予防を織り込みながら、事業を遂行することが必要。	×	通年	若手料理人を対象にしたコンテストの開催	農林水産部	食と花の推進課
(再)			133	西区アートプロジェクト(音楽・造形)	音楽イベントと造形イベントの融合を図りながら地域の魅力発信や地域支援を図るほか、次世代を担う子どもたちの創造力や地域への愛着を育むことを目指す。	11月7・8日	・造形ワークショップ ・こども音楽体験 ・地元団体とのアートイベント共催 ・アート展示イベント など	コロナ禍において、造形ワークショップなどの参加者との接触機会を有する企画や多くの参加者が集う場合の感染対策及び開催方法について、検討が必要であるが、新潟大学との連携を更に深め、地域活性化や子どもたちの創造力を伸ばすきっかけづくりとなるよう取り組む。	○	10月23・24日	・音楽イベント1回開催 ・造形イベント1回開催	西区	地域課
(再)			134	利用団体向け選択プログラム	青少年を主体とする団体にクラフトやブラックライトを使った絵を描く体験、KAPLA®を使った作品作り、新潟西海岸でのサンドアート体験など個人または仲間と協力してひとつの作品作りに取り組むプログラムを提供することで文化芸術の魅力や価値に触れる機会を創出し、芸術活動の普及に寄与する。	通年	・原始的な火おこし ・クラフト(工作) ・ブラックライトで光る絵を描こう ・けん玉体験 ・KAPLA®体験 ・海でサンドアート など	参加人数向上のため、雨天時でも行えるプログラムなどの新たな提案を構築する。	○	通年	・原始的な火おこし ・クラフト(工作) ・ブラックライトで光る絵を描こう ・けん玉体験 ・KAPLA®体験 ・海でサンドアート など	教育委員会	地域教育推進課
アーティストやクリエイターの滞在を伴う活動拠点や発表機会を創出し、その活動を支援することで、創造性に富んだ人材が集まりやすい環境づくりを進めます。													
			135	芸術創造村・国際青少年センター事業	滞在型の創造活動を行う芸術家等を国内外から募集、支援することで、創造性に富んだ人材が集まりやすい環境づくりを進め、本市の魅力を国内外に発信する。あわせて、滞在する芸術家等が市民や青少年と交流することで、地域の自然や歴史、文化の魅力を再発見し、地域の誇りづくりや愛着づくりにつなげる。	通年	・アーティスト・イン・レジデンス事業 ・地域交流プログラム事業	アーティスト・イン・レジデンスの認知度向上が課題のため、地域との交流や周辺文化施設等との関わりを作っていくなどの取り組みが必要。	○	通年	・アーティスト・イン・レジデンス事業 ・地域交流プログラム事業	文化スポーツ部	文化政策課
			136	青少年健全育成事業(青少年個人向け)	芸術創造村・国際青少年センター(ゆいぽーと)において、青少年を対象とした集団での体験活動や創作活動など多様な集団活動プログラムを提供・実施する。	通年	青少年に対し、各種工作体験などのプログラムを実施する。	参加人数向上のため、参加者の満足度、リピート率の向上を図る取り組みを実施する。	○	通年	青少年に対し、各種工作体験などのプログラムを実施する。	教育委員会	地域教育推進課
(4) 地域文化の継承と発展													
有形無形文化遺産の収集・保存・調査・研究を継続的にを行います。													
			137	旧市長公舎「風の館」の管理運営	建築物の保存に配慮しながら、坂口安吾を顕彰するための調査研究と資料公開の場として活用する。	通年	施設の維持管理	施設の方向性を検討するための有識者会議開催に向け、老朽度調査を要求する。	○	通年	施設の維持管理	文化スポーツ部	文化政策課
			138	文化財保護調査事業	新潟市内に所在の文化財を、国・県・他市町村・関係機関及び関係団体等との連携を図りながら保存・活用する。	通年	・文化財の保護 ・文化財指定へ向けた調査	市内所在の文化財(未指定物件含む)の計画的調査の実施や、文化財保護施策にあたる人材育成を進めながら、現在未策定の「文化財保存活用地域計画」についても検討する。	○	通年	・文化財の保護 ・文化財指定へ向けた調査	文化スポーツ部	歴史文化課



基本方針	柱立て	施策の方向性	通番	施策・事業名	概要(実施内容・目的等)	令和2年度実施分				令和3年度実施分		部・区	担当課
						実施期間	取組事項(実績)	課題と今後の対応	取組結果	実施期間	取組事項(予定)		
			139	旧小澤家住宅管理運営	北前船の寄港地として栄えた「みなとまち新潟」の文化財である旧小澤家住宅を公開し、企画展や講座等の開催を通して、みなとまちの歴史や生活文化、観光資源等を市内外に発信するとともに、市歴史博物館との一体的管理のもと、「下町」の回遊性を高め、都市観光や中心市街地の活性化を図る。	通年	市指定文化財旧小澤家住宅の管理運営(指定管理)	・改修後10年が経過し、建具など各所の傷みが進んでいるため、指定文化財として適切な材質や手法による修繕が必要である。 ・新型コロナウイルス感染症対策を講じながら館を運営する。 ・SNSなどを活用しながら館の価値を広く拡散し、上記感染症の影響で激減した入館者数の回復を図る。	○	通年	市指定文化財旧小澤家住宅の管理運営(指定管理)	文化スポーツ部	歴史文化課
			140	旧齋藤氏別邸庭園保存整備事業	開館から9年を経過し、劣化がすすむ名勝旧齋藤氏別邸庭園(施設名:旧齋藤家別邸)を平成29年3月策定の保存活用計画及び平成30年3月策定の整備基本計画に基づき、保存・活用のための整備を行い、みなとまち文化の魅力向上させ、市内外へ発信することにより交流人口の拡大につなげる。	通年	・実施設計(庭園) ・整備工事(庭園) ・保存整備検討委員会の開催	事業長期化の可能性が高く、財源確保(国庫補助金の確保・観覧料の見直し)が不可欠である。	○	通年	・実施設計(庭園・建造物) ・整備工事(庭園) ・保存整備検討委員会の開催	文化スポーツ部	歴史文化課
			141	旧笹川家住宅保存整備事業	重要文化財旧笹川家住宅は建築から約190年を経過し老朽化がすすんでいる。平成29年3月策定の保存活用計画に基づき、大規模改修を行い、文化財としての魅力を向上させ、市内外へ発信することにより、交流人口の拡大と地域の活性化を図る。	通年	耐震診断(3/3年目)	具体的な公開・活用方法の検討、公開・活用方法をふまえた耐震補強方針の決定、耐震補強工事と併せて実施する保存修理の方針決定が必要である。	○	通年	大規模改修実施に向けた庁内協議	文化スポーツ部	歴史文化課
			142	史跡古津八幡山遺跡の保存整備と活用	古津八幡山遺跡の確認調査を実施し、その成果を発信する。史跡古津八幡山弥生の丘展示館で企画展を開催する。古津八幡山遺跡において遺跡の立地する里山を生かした体験学習を行うとともに、校外学習の場としての利用を図る。	通年	史跡古津八幡山遺跡について、適切な保存・管理を行うため、史跡指定地外の確認調査を行うとともに、関連する企画展や講演会、各種イベント等を実施し、史跡の活用を図った。	・新型コロナウイルス蔓延防止対応による自粛により体験イベントの一部中止があり、開催数が減少した。 ・暴風雪により、一部復元堅穴住居が毀損した。今後、復旧を行う必要がある。	○	通年	史跡古津八幡山遺跡について、適切な保存・管理を行うため、史跡指定地外の確認調査を行うとともに、関連する企画展や講演会、各種イベントを実施するなど、史跡の活用を図る。	文化スポーツ部	歴史文化課 文化財センター
			143	埋蔵文化財発掘調査事業	開発等により失われる恐れのある埋蔵文化財について、記録保存を目的とした発掘調査などを行い必要な保護措置を取るとともに、発掘調査成果を活用し、地域の歴史や文化に関する情報発信を行う。	通年	埋蔵文化財保護 ・本発掘調査の実施 埋蔵文化財活用 ・発掘調査現地説明会の開催 ・発掘調査速報会の開催	・新型コロナウイルス蔓延防止対応により従来の活用事業の実施が困難になっている。 ・従来の広報活動に加え、ホームページによる広報活動やオンライン配信による情報発信を充実し対応していきたい。	○	通年	埋蔵文化財保護 ・本発掘調査の実施 埋蔵文化財活用 ・発掘調査現地説明会の開催 ・発掘調査速報会の開催 ※予算額は歴史文化課配当分のみ計上	文化スポーツ部	歴史文化課 文化財センター
			144	国指定文化財の保護	国天然記念物「類産なし」・国重要文化財「旧笹川家住宅」を適切な保存管理を行うことにより、国民共通の資産を後世に継承する。	通年	国指定天然記念物「月潟の類産なし」の原木管理委託 国指定重要文化財「旧笹川家住宅」の管理運営	「月潟の類産なし」の原木管理を継続していくが老木になっており腐食も進んでいる。今後の管理については専門家の指導の下行っていく。	○	通年	国指定天然記念物「月潟の類産なし」の原木管理と国指定重要文化財「旧笹川家住宅」の管理運営	南区	地域総務課
			145	文化財保護調査事業	地域の文化財の保存事業実施 【主な事業】 ・ハザ並木保護 ・篠原幸三郎家住宅や古墳の維持管理	通年	<ハザ並木> 樹木の整枝作業と害虫防除、除草を行う。 <ハザ並木以外> 篠原幸三郎家住宅や古墳の維持管理を実施。	<ハザ並木> ハザ木の老木化により枯死や暴風等による倒木被害を受けているが植替え予算はなく景観に問題が生じているため、歴史文化課と協議し文化財保護審議会委員による現地確認の結果、延長800mのハザ並木として文化財の価値ありとの判断で当面は植栽なしで管理を行う。	○	通年	<ハザ並木> 樹木の整枝作業と害虫防除、除草を行う。 <ハザ並木以外> 篠原幸三郎家住宅や古墳の維持管理を実施。	西蒲区	地域総務課
地域文化の担い手育成を支援するとともに、郷土芸能の発表機会の充実など積極的な活用を図ります。													
			146	水と土の宝物活用事業(市民プロジェクト)	市民自らが企画・運営する、アート制作や文化イベントなどの取り組みに対し補助金を交付する。	7月1日～12月27日	引き続き、市民プロジェクトを実施すると共に、アーツカウンシル新潟への移行に向けた作業を行う。	引き続き、市民プロジェクトを実施すると共に、アーツカウンシル新潟への移行に向けた作業を行う。	○	7月1日～11月30日	市民プロジェクトの実施	文化スポーツ部	文化政策課

(再)

基本方針	柱立て	施策の方向性	通番	施策・事業名	概要(実施内容・目的等)	令和2年度実施分				令和3年度実施分		部・区	担当課
						実施期間	取組事項(実績)	課題と今後の対応	取組結果	実施期間	取組事項(予定)		
			147	(財)新潟市芸術文化振興財団運営費補助金(アーツカウンシル新潟)	・アーツカウンシル新潟による市民の文化芸術活動の活性化や文化と他分野との連携を推進し、本市の持続的な文化創造都市の推進体制を構築するほか、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた文化プログラムの推進に取り組む。	通年	・市民・行政等の相談対応 ・市民の文化芸術団体等への助成事業 ・市以外の助成制度等外部資金のマッチング ・beyond2020プログラム認証事務 ・市の文化政策及び文化芸術活動に関する現状調査 ・市の文化施策の向上に資する調査・研究等 ・ホームページ、SNS等による情報発信 ・「アーツカウンシル新潟」の活動PR ・市文化芸術関連事業への支援 ・組織の自律化に向けた取組み	新型コロナウイルス関連の支援を通して、アーツカウンシル新潟への認知は広まったが、引き続き認知拡大に向けた取り組みは必要。 今年度はコロナ禍の影響もあり、助成事業の実施件数は伸びなかったが、助成事業の申請数増加に向けた取り組みや自主財源の安定的な確保も課題。 新たなアプローチも取り入れながら継続的に取り組み、市民主体の文化芸術活動の活性化につなげる。	○	通年	・市民・行政等の相談対応 ・市民の文化芸術団体等への助成事業 ・市以外の助成制度等外部資金のマッチング ・beyond2020プログラム認証事務 ・市の文化政策及び文化芸術活動に関する現状調査 ・市の文化施策の向上に資する調査・研究等 ・ホームページ、SNS等による情報発信 ・「アーツカウンシル新潟」の活動PR ・市文化芸術関連事業への支援 ・組織の自律化に向けた取組み	文化スポーツ部	文化政策課
			148	演劇・伝統芸能事業「ふるまち新潟をどり」	新潟市無形文化財第1号である「日本舞踊市山流」は、地方である新潟に宗家があり、120年以上に渡って古町花柳界の発展に尽力してきた。この「市山流」を支援し、また新潟芸妓の舞を広く市民に披露するために、新潟三業協同組合、新潟芸妓置屋組合、柳都振興(株)と協力し、公演を開催する。	9月20日	客席数を50%に制限して実施	事業予算が高額になっており、事業全体の見直しが必要。	○	9月19日	公演回数は例年通り。事業支出およびチケット価格設定を調整して、事業予算を若干縮小しての実施を予定。	文化スポーツ部	文化政策課
			149	郷土芸能支援	古町芸妓育成支援協議会、新潟市民謡連盟、新潟万代太鼓振興会の活動である郷土芸能の普及及び宣伝活動を支援する。	通年	古町芸妓育成支援協議会、新潟市民謡連盟、新潟万代太鼓振興会の活動である郷土芸能の育成、普及及び宣伝活動を支援した。	新型コロナウイルス感染症の影響で、各団体とも発表や活躍の舞台が減っている。	△	通年	引き続き、古町芸妓育成支援協議会、新潟市民謡連盟、新潟万代太鼓振興会の活動である郷土芸能の育成、普及及び宣伝活動を支援する。	観光・国際交流部	観光政策課
			150	新潟まつり	新潟まつりは、住吉祭、商工祭、川開き、開港記念祭という歴史ある4つの祭りが1つとなって、昭和30年に第1回がスタート。日本最大級の「大民謡流し」、「きらきらパレード」、「市民みこし」、「水上みこし渡御」、「大花火大会」など。	8月	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	協賛金収入の確保と、「感染拡大防止の観点」から密集を回避しながら、安心・安全に開催するための検討が必要である。	△	8月	中止	観光・国際交流部	観光政策課
			151	とやの湖桜まつり	市内最大の桜の名所である鳥屋野湯周辺で様々なイベントを開催し、鳥屋野湯界隈のにぎわいの創出により、交流人口の拡大を図る。	4月1日～30日	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、例年行っている「カナル彩」は中止となったが、市内有数の桜の名所である鳥屋野湯の桜の木に雪洞を設置、点灯した。	近隣地域や市内の方には春を彩るイベントとして定着。協賛金の増加など、自主財源確保が今後の課題。	△	4月1日～4月30日	市内有数の桜の名所である鳥屋野湯の桜の木に雪洞を設置、点灯。メイン日には、新潟県スポーツ公園を中心に、物販や「サッカー大会」「カヌー試乗会」「花火大会」などのイベントを実施。	観光・国際交流部	観光政策課
			152	阿賀野川ござれや花火	阿賀野川にて2尺玉やスターマイン、水中花火などを打ち上げる。	中止	新型コロナウイルスにより開催中止	令和3年度も中止が決まったが、来年度開催に向けて関係者と連絡を密に行う。	×	中止	新型コロナウイルスにより開催中止	北区	産業振興課
			153	沼垂まつり	燈籠の押し合いによる、通称「喧嘩灯籠」と沼垂木遣り(きやり)で知られる、200年以上の歴史をもつまつり。民謡流しや灯籠・山車が並ぶ祭り行列も行われる。	8月15日・16日(中止)	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。	事業見直しに伴い、2018年度から毎年5万円ずつ(10年間)段階的に減額している。実行委員会には、補助金以外の財源確保を依頼するとともに、支出内容の見直しを行いつつ、今後の運営について引き続き検討してもらう。	×	8月15日・16日(中止)	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。	中央区	地域課
			154	江南区郷土史学習支援	江南区の歴史や伝統を学ぼうとする小中学生に対し、ボランティアスタッフから分かりやすく解説することで、江南区の歴史や伝統に対する理解を深められるように支援する。	通年	・区内小学校に事業利用を促進するPRを行う。 ・利用を希望する学校に対し、送迎バスを手配する。 ・郷土資料館内の文化財等の説明内容をより深める。	【課題】 コロナ感染防止対策を踏まえた講座の実施と学校へのPR。 【対策】 事後アンケートを行い、利用の促進を図る。	○	通年	・利用を希望する学校に対し、送迎バスを手配する。 ・学校と学習目標を共有し、ボランティアの協力を得ながら、館内の文化財等の解説や学習支援スキルの向上を図る。	江南区	産業振興課
			155	小須戸燈籠押しまつり	約370年前、豪商米沢屋吉田屋が京都の祇園祭に魅せられ、燈籠を小須戸に持ち帰ったのが始まり。毎年8月25日に各町内から4基の燈籠が若衆に担がれ、夕方激しくぶつかり合う。	中止	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため令和2年度は中止となった。	コロナ禍での集客イベント(祭り)の開催が困難であり、伝統の継承が途切れないように配慮する必要性を認識した。	×	8月25日(中止)	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため令和3年度は中止の判断がなされた。	秋葉区	産業振興課

基本方針	柱立て	施策の方向性	通番	施策・事業名	概要(実施内容・目的等)	令和2年度実施分				令和3年度実施分		部・区	担当課
						実施期間	取組事項(実績)	課題と今後の対応	取組結果	実施期間	取組事項(予定)		
			156	にいつ夏まつり	新津本町にて、約1,000人が浴衣と編み笠で踊る戦国時代から伝わる「新津松坂流し」、各町内が誇る絢爛豪華な7台の屋台が練り歩く「屋台まつり」が行なわれる。併せて約150店の臨時露店が出店。	中止	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため令和2年度は中止となった。	コロナ禍での集客イベント(祭り)の開催が困難であり、伝統の継承が途切れないように配慮する必要性を認識した。	×	8月19・20日(一部中止)	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため令和3年度は中止の判断がなされた。 ※堀出神社の神事のみ実施	秋葉区	産業振興課
			157	伝統文化等保護継承団体活動支援	地域の伝統文化を継承する団体に補助金などを交付することにより、伝統文化の継承と後継者育成を図る。	通年	市指定文化財などの伝統文化・芸能の後継者育成や保護に関わる団体へ指導謝礼の支払い。(計8団体)(新型コロナウイルスにより3団体は活動なし)	伝統芸能の後継者不足が課題であるが引き続き地域固有の文化や伝統芸能などの魅力を区内外に発信、認知していくために伝統文化を守り育てていく地域活動を支援していく。	○	通年	伝統芸能保存育成のための地域活動の支援	南区	地域総務課
			158	かぐらin笹川邸	重要文化財旧笹川家住宅(笹川邸)を会場に、地域に伝わる神楽舞や太鼓などを披露する。	10月3日 ～ 3月31日	かぐらin笹川邸PR動画作成	・新型コロナウイルス対策 ・区外へのPR	○	10月中旬	・神楽舞 ・和太鼓 ・よさこいソーラン ・茶会 ・鍋料理ふるまい	南区	産業振興課
			159	月潟観光キャンペーン「大道芸フェスティバル」	大道芸人によるストリートパフォーマンスのほか、角兵衛獅子の舞、月潟太鼓を披露する。	9月21日 ～12月31日	Youtube動画配信 10分×8本 ・パフォーマー8組 ・角兵衛獅子 ・各所紹介	・新型コロナウイルス対策 ・区外へのPR	○	9月下旬	・大道芸パフォーマンス ・よさこいソーラン ・角兵衛獅子 ・出店	南区	産業振興課
			160	白根大凧合戦	中ノ口川の両岸から量24枚分ほどもある大凧を揚げ、空中で絡ませて川に落とし、相手の凧綱が切れるまで引き合う世界最大スケールの大凧合戦。	6月4日 ～ 6月8日 (中止)	R2年度は中止。次年度開催に向けた整備 ・凧絵柄支柱マンホール整備 ・会場設営資材整備 ・凧合戦協会補助金 ほか	・新型コロナウイルス対策 ・次世代の担い手確保	△	6月2日 ～6月4日	・白根大凧合戦(関連イベント中止)	南区	産業振興課
			161	角兵衛獅子の魅力発信事業	角兵衛獅子の魅力を中心に観光客等に発信するため、月潟農村環境改善センター内の郷土資料室において資料等を観覧できるよう環境整備を行うとともに、首都圏に向けて発信する。また、踊り子の後継者不足の解消を図るため、その解決策等を検討・実施する。	通年	【産業振興課】 ・郷土資料室の展示替え 【地域総務課】 ・角兵衛獅子のPR動画撮影	角兵衛獅子の担い手不足と新型コロナウイルスによる疲労の場の減少があり、今後の活動の場を保存会と共に検討していく。  ※令和2年度のみ事業	○			南区	地域総務課 産業振興課
			162	月潟まつり開催補助金	伝統あるまつり(伝統芸能)を継続実施することにより、地域の活性化と、伝統芸能「角兵衛獅子の舞」の継承啓発を図る。	6月27日 ～6月28日 (中止)	未実施 (新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開催中止)	慢性化する角兵衛獅子の後継者・指導者不足により、将来に向けての保存活動が難しくなっている。地域をあげて角兵衛獅子の保存活動についての認識を高め、後継者・指導者の増加につなげる。加えて観光客の誘致を図り、地域の活性化につなげる。	×	6月27日	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、関係者及び来場者の安全を考慮し、「角兵衛獅子の舞」以外の行事を中止とする。	南区	月潟出張所
			163	地区伝統文化保存事業	味方地区内の伝統文化である、西白根神楽舞と味方穀倉太鼓の伝承団体と連携し、指導会を開催することにより、伝統文化の継承と後継者育成を図る。 ・西白根神楽舞指導会 ・味方穀倉太鼓指導会	通年	・西白根神楽舞は練習を中止 ・味方穀倉太鼓は回数を減らして実施	各団体が道具、衣装を管理しているため、更新や修繕に経費が掛かる。特に穀倉太鼓は児童の割合が高く、財政的な基盤が弱いため楽器等の維持費に苦慮している。	△	通年	味方地区内の伝統文化である、西白根神楽舞と味方穀倉太鼓の伝承団体と連携し、指導会を開催することにより、伝統文化の継承と後継者育成を図る。 ・西白根神楽舞指導会 ・味方穀倉太鼓指導会	南区	味方地区公民館
			164	郷土芸能保存事業	地域の伝統文化を継承する団体の指導者に報償費を交付することにより、伝統文化の継承と後継者育成を図る。 ①角兵衛獅子保存会 ②月潟小唄の会 ③月潟太鼓の会	通年	各種イベントへの出演回数及び稽古回数 ①角兵衛獅子保存会 50回 ②月潟小唄の会 18回 ③月潟太鼓の会 12回	(課題) 各団体後継者不足である。  (対応) この事業の継続により後継者育成を図る。	○	通年	各種イベントへの出演回数及び稽古回数 ①角兵衛獅子保存会 50回 ②月潟小唄の会 18回 ③月潟太鼓の会 12回	南区	月潟地区公民館
			165	冬妻ほたるまつり	6月中旬から7月上旬、岩室温泉から徒歩で行ける林道に、ほたるが飛び交い、期間中に灯籠流しなどの催しが行われます。	中止	・ほたる鑑賞 ・いわむろ灯りプロジェクト ・ほたる縁日 ・シャトルバス運行 ※上記を予定していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和2年度は中止。		×	中止	・ほたる鑑賞 ・いわむろ灯りプロジェクト ・ほたる縁日 ・シャトルバス運行 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和3年度も中止。	西蒲区	産業観光課
			166	西川まつり	曾根神社秋季大祭にあわせて、傘ぼこ行列やサマーコンサートなどが西川地域で行われます。	中止	市民が参加できる「西川まつり」として、民謡流し、みこし渡御等を実施し、市民の親睦を深めるとともに、西川地区の観光の発展を図る。 ※上記を予定していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。		×	8月21日 ～22日	市民が参加できる「西川まつり」として、民謡流し、みこし渡御等を実施し、市民の親睦を深めるとともに、西川地区の観光の発展を図る。 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和3年度は縮小開催予定。	西蒲区	産業観光課

(再)

基本方針	柱立て	施策の方向性	通番	施策・事業名	概要(実施内容・目的等)	令和2年度実施分				令和3年度実施分		部・区	担当課
						実施期間	取組事項(実績)	課題と今後の対応	取組結果	実施期間	取組事項(予定)		
			167	越後にしかわ時代激まつり	西川地区の歴史的背景を生かし、江戸時代の衣装を着た代官献上米行列を中心としたイベントを行います。	中止	代官献上米行列と称し、一般公募で集まった参加者が江戸時代の衣装を身に付け、商店街を練り歩きます。※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、令和2年度のイベントは中止だが、代替事業として地域のイメージソングを作成。		×	10月10日	代官献上米行列と称し、一般公募で集まった参加者が江戸時代の衣装を身に付け、商店街を練り歩く。	西蒲区	産業観光課
			168	まき夏まつり	巻神社大祭に合わせて行なわれる夏まつりです。最終日のやかた竿灯に若者の熱気が溢れます。	中止	民謡流し、神輿渡御、花火大会、小中学校パレード、やかた竿灯などを開催。※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、令和2年度は中止。ただし、経常経費のみ支出。		×	中止	民謡流し、神輿渡御、花火大会、小中学校パレード、やかた竿灯などを開催。※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、令和3年度も中止。	西蒲区	産業観光課
有形文化遺産の魅力を積極的に発信し、その価値の再認識を図るとともに、特色ある文化資源として活用を進めます。													
			169	みなと新潟「光の響演」事業	まちなかで光や映像の演出を実施することで、みなとまち新潟の魅力を国内外に発信し、交流人口の拡大を図る。	10月23日～11月28日の金・土曜(延べ12日間)	・古町モール7の光と映像による演出 ・古町商店街の参加店舗におけるサービスの提供 ・総合案内(新潟古町まちなみなど情報館)の設置 ・新型コロナウイルス感染症対策	本市の厳しい財政状況を踏まえ、令和3年度は休止。新たな財源の確保や民間主導での実施など、持続可能な実施方法を検討する。	○	休止	令和3年度は休止	文化スポーツ部	文化政策課
(再)			170	演劇・伝統芸能事業「ふるまち新潟をどり」	新潟市無形文化財第1号である「日本舞踊市山流」は、地方である新潟に宗家があり、120年以上に渡って古町花柳界の発展に尽力してきた。この「市山流」を支援し、また新潟芸妓の舞を広く市民に披露するために、新潟三業協同組合、新潟芸妓置屋組合、柳都振興(株)と協力し、公演を開催する。	9月20日	客席数を50%に制限して実施	事業予算が高額になっており、事業全体の見直しが必要。	○	9月19日	公演回数は例年通り。事業支出およびチケット価格設定を調整して、事業予算を若干縮小しての実施を予定。	文化スポーツ部	文化政策課
(再)			171	歴史博物館企画展等実施事業	市域の歴史的特性を明らかにし、市民の歴史に対する理解を深めるとともに、歴史を媒介とした市民交流を行うことにより、市民の社会的活動及び文化的活動に寄与することを目的として、館所蔵資料などの研究・活用を通して企画展を開催する(年4回程度)	通年	歴史博物館企画展(指定管理) ・「いっぴん」展 ・「湯のくらし」展 ・むかしのくらし展「新潟の昭和」 ・收藏品・新収蔵品展	・引き続き市民ニーズに合った企画展を立案・実施する。 ・新型コロナウイルス感染症対策を講じながら館を運営する。 ・SNSなどを活用しながら館の価値を広く拡散し、上記感染症の影響で激減した入館者数の回復を図る。	○	通年	歴史博物館企画展(指定管理) ・「みなとまち新潟の記憶」展 ・むかしのくらし展「マチとムラの年中行事」 ・收藏品・新収蔵品展 ・「幕末新潟の絵師」展	文化スポーツ部	歴史文化課
			172	歴史的公文書保存事業 歴史文書保存整理活用事業 歴史情報発信事業	長期保存行政文書や歴史資料について調査・収集・整理し、その保存・公開を図りながら、歴史講座の開催などを通じて情報発信を行う。	通年	・令和2年度廃棄文書及び庁舎移転に伴う廃棄漏れ公文書からの歴史公文書の評価・選別作業、及び長期保存文書の管理作業 ・古文書等歴史資料の寄贈受け入れ・整理作業	・庁舎再編等に伴い、選別対象文書や長期保存文書の数量が増加している→文書館開設を期して公文書管理条例が制定されるので、総務課と協力して公文書の適切な管理に努める。 ・個人宅で古文書等歴史資料を持ち続けることが難しくなり、寄贈が増加している→できる限り寄贈は受け入れるが、本年は文書館開館準備もあって、資料整理が進みにくい。	○	通年	・令和3年度廃棄文書からの歴史公文書の評価・選別作業、 ・古文書等歴史資料の寄贈受け入れ・整理作業	文化スポーツ部	歴史文化課
			173	天然記念物鳥屋野逆ダケの藪管理活用事業	国指定天然記念物である「鳥屋野逆ダケの藪」を市民にとってより身近な文化財とし、都市部の貴重な自然緑地として保存しながら、継続的に維持管理する。また、近隣の文化財と連携して交流人口の拡大を図るとともに、地域史を探访できる貴重な場として位置づけ、広く周知に努める。	通年	天然記念物鳥屋野逆ダケの藪の管理	・HPなどデジタル手段を活用し、情報発信の拡大を図る。 ・管理面のみでなく、活用においても地域との協働を行う。	○	通年	天然記念物鳥屋野逆ダケの藪の管理	文化スポーツ部	歴史文化課
(再)			174	埋蔵文化財発掘調査事業	開発等により失われる恐れのある埋蔵文化財について、記録保存を目的とした発掘調査などを行い必要な保護措置を取るとともに、発掘調査成果を活用し、地域の歴史や文化に関する情報発信を行う。	通年	埋蔵文化財保護 ・本発掘調査の実施 埋蔵文化財活用 ・発掘調査現地説明会の開催 ・発掘調査速報会の開催	・新型コロナウイルス蔓延防止対応により従来の活用事業の実施が困難になっている。 ・従来の広報活動に加え、ホームページによる広報活動やオンライン配信による情報発信を充実し対応していきたい。	○	通年	埋蔵文化財保護 ・本発掘調査の実施 埋蔵文化財活用 ・発掘調査現地説明会の開催 ・発掘調査速報会の開催 ※予算額は歴史文化課配当分のみ計上	文化スポーツ部	歴史文化課 文化財センター

基本方針	柱立て	施策の方向性	通番	施策・事業名	概要(実施内容・目的等)	令和2年度実施分				令和3年度実施分		部・区	担当課
						実施期間	取組事項(実績)	課題と今後の対応	取組結果	実施期間	取組事項(予定)		
			175	NIIGATA光のページェント	けやき通り150本、新潟駅南口58本の計208本のケヤキに、合計26万個の豆電球が飾り付けられ、幻想的な「光のトンネル」が東西1kmに渡って形成。	12月上旬～1月下旬	けやき通りの約1,280mを幻想的な「光のトンネル」へと飾り付ける。初日の点灯式では、イベントの実施や飲食ブースを設置、一部オンラインでも中継した。	コロナ禍で協賛金収入が減少したため、自主財源の確保が課題である。	○	12月4日～1月31日	けやき通りの約1,280mを幻想的な「光のトンネル」へと飾り付ける。	観光・国際交流部	観光政策課
			176	観光ボランティアガイド養成	来訪者が観光資源を巡る「まち歩き」を楽しめるよう、案内役を務める観光ボランティアガイドの養成に努める。	通年	ガイドの質の向上に繋がる講座の開催、「予約のいらないまち歩き」の実施。 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和2年度は中止	令和2年2月末より中止となっている「予約のいらないまち歩き」再開に向け、新型コロナウイルス感染症の状況を注視しながら、再開時期や実施方法等を検討していく。	△	通年	まち歩き観光ガイド養成講座の開催、「予約のいらないまち歩き」の実施。	観光・国際交流部	観光推進課
			177	米と酒を中心としたプロモーション事業	本市の食文化のPRを通じ、本市への誘客を図るとともに、市産農産物の国内外での新規需要を創出するため、米と酒を中心とした市産農産物・食文化のプロモーション映像作成やイベント開催によるプロモーションを展開する。	通年	・新型コロナウイルスの影響で、計画していた事業を変更または中止としたため計画通りに実施できなかった。(海外バイヤー招へい食品輸出商談会はオンラインに切り替えて実施、フランスバイヤー招へい商談会は商社を通じてサンプルを送付し現地バイヤーとの個別マッチングを実施、East Japan Sake Fes、米と酒を中心としたプロモーション事業は中止。)	今後も新型コロナウイルスの影響が続くことが予想されるため、オンラインなどを活用し、プロモーション機会の創出に努め、輸出実績の増加につなげていく。	△	通年	コロナ禍の下で、オンラインを活用して商談機会を創出するほか、海外に向けて、本市の食文化を代表する米と米加工品の魅力を発信することで、海外での新潟ブランドを確立し、需要を高め、さらなる輸出拡大を図る ※中国向け米輸出の促進は食と花の推進課が担当(予算:1,500千円)、その他は産業政策課が所管(予算:5,000千円)	経済部	産業政策課
			178	伝統的工芸品展示会開催事業	組合と展示会を開催することにより、新潟市の伝統的工芸品の発展と振興を図る。	10月17日～11月8日	伝統的工芸品の展示・販売、製作体験、製作実演など	令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中、感染防止策を徹底した上で展示会を開催した。製作体験では、県外や外国からの観覧者が通常より少なくなるなど、新規需要への周知に課題が見られた。 今後は関係機関と連携を図りながら、伝統的工芸品である新潟仏壇の良さを幅広く周知していきたい。	○	10月16日～11月7日	伝統的工芸品の展示・販売、製作体験、製作実演など	経済部	企業誘致課
(再)			179	生産者・料理人・消費者の関係づくり(「マッチングツアー」の開催)	生産者・料理人・消費者・物流事業者が交流し、地域の食材や食文化への理解を深めることを目的に、産地を訪れ商談を行うマッチングツアーを開催する。	通年	事業のターゲットとしていた料理人の経営状況が新型コロナウイルスの感染拡大により悪化していることから、今年度は産地見学は行わないこととし、消費者を対象に生産者・料理人の取組の周知を行うこととする。	取組周知により得られる効果の明確化が必要。R2年度で事業終了	×	-	R2年度で事業終了	農林水産部	食と花の推進課
(再)			180	新潟漆器利用促進事業	飲食店等を営む店舗に新潟漆器を利用してもらい、利用者側のニーズを把握するとともに、店舗で実際に利用した顧客にPRし、新潟漆器の認知度を上げることで魅力を再発見してもらう。	通年(募集期間6月22日～7月31日)	区内の飲食店等に新潟漆器のリースを行い利用してもらう。	リース終了後の買取につながるよう実施店舗からのニーズを把握する。	○	通年	市内の飲食店等に新潟漆器のリースを行い利用してもらう。	中央区	地域課
(再)			181	みそ作りカリキュラム	中央区の伝統産業である発酵食への関心を高め消費につながるよう、区内の小学校を対象に地域の歴史や発酵食との関わりを学ぶ総合学習の一助として実施。	中止	区内の小学校でカリキュラム実施。 1校あたり、仕込み・天地替え・持ち帰りの計3回。年2校 ※上記の内容を予定していたが、新型コロナウイルスの影響により中止	新型コロナウイルスの影響により開催が見込めないことから、別の手段で発酵食のPRを実施する	×	-	R2年度で事業終了	中央区	地域課
(再)			182	文化遺産情報発信事業	「秋葉区文化財マップ」の改訂・増刷や史跡「新津油田金津鉦場跡」案内パンフレットの作成等を通じて、秋葉区の文化遺産に関する情報を区内外に発信していく。	通年	①「秋葉区文化財マップ」の改訂・増刷と観光案内所等での配布 ② 史跡「新津油田金津鉦場跡」案内パンフレットの作成と配布 ③ 石油の里公園の案内板に史跡表記を追加 ④ 秋葉区ホームページにおける関連情報の更新 ⑤ ①・②を活用した見学イベントやワークショップ(まち歩き)の開催 ※R3年度以降実施	リーフレットの作成・配付以外にも様々な広報媒体を利用して区内外に広く秋葉区の文化遺産を周知する必要がある。 区民参加のワークショップを開催し情報発信手段について検討を行う。	○	通年	① 市民参加のワークショップを開催し、秋葉区の文化遺産の情報発信手段、方法等について意見交換を行う。 ② 既存「秋葉区文化財マップ」の改訂・増刷・配付 ③ 秋葉区ホームページにおける関連情報の更新 ④ アキハスム Facebookにおける関連情報の更新	秋葉区	地域総務課

基本方針	柱立て	施策の方向性	通番	施策・事業名	概要(実施内容・目的等)	令和2年度実施分				令和3年度実施分		部・区	担当課
						実施期間	取組事項(実績)	課題と今後の対応	取組結果	実施期間	取組事項(予定)		
			183	稲架木で地域農業活性化促進事業(「Akiha稲架木LOVER'Sプロジェクト推進事業」から名称変更)	満願寺稲架木並木の景観を活用し、春に手植えによる田植え体験イベント、秋に手刈りによる稲刈り及びはさ掛け体験イベントを開催	5月10日(中止) 9月20日(中止)	24世帯74人の参加申込があったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止	令和3年度も新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止となる場合がある	△	5月9日(中止) 9月19日	春に手植えによる田植え体験、秋に手刈りによる稲刈り及びはさ掛け体験を実施する。	秋葉区	産業振興課
			184	笹川邸ボランティアガイド	総合学習の一環として笹川邸の歴史や地域の文化を学び、ガイドとして活躍することで地域の歴史を理解する。	通年	総合学習の一環として笹川邸の歴史や地域の文化を学び、ガイドとして活躍することで地域の歴史を理解する。	引き続き対応していく。	○	通年	総合学習の一環として笹川邸の歴史や地域の文化を学び、ガイドとして活躍することで地域の歴史を理解する。	南区	地域総務課
			185	文化資源魅力UP事業	南区内の文化施設や文化活動の魅力を引き出し、価値を高める。	通年	・重要文化財旧笹川家住宅で地元コミ協や地元中学校と連携したPR活動 ・南区検定の実施による南区ファンの獲得 ・旧笹川家住宅としろね大風と歴史の館タイアップイベントは新型コロナウイルスにより中止	・重要文化財旧笹川家住宅PRイベントを地元コミ協と実施 ・大風擬人化キャラクター「凧っこ13人衆」の活用 ・角兵衛獅子の担い手育成にむけた取り組み ※令和2年度で事業終了	△			南区	地域総務課
			186	西区を堪能まち歩き・観光ツアー(ボランティアガイド育成)(R1より事業名変更)	観光ボランティアガイドの養成講座を実施し、観光案内できる環境を整える。	10月	大野町まち歩きガイド養成講座を実施。6名が受講した。		○	-	実施予定なし	西区	農政商工課
(再)			187	子ども体験活動・ボランティア活動推進事業	土日や長期休業期間に子どもたちに様々なものづくり体験や伝統文化体験等の体験型事業を実施する。事業を通じて自立心や協調性他人に対する思いやりの心を育み、子どもたちの健全育成を図る。 【主な実施内容】 ・新潟漆器体験、大風合戦、白根絞、鯛車づくり、地域の伝統芸能体験など	通年	土日や長期休業期間に子どもたちに様々なものづくりや伝統文化等の体験型事業を実施。体験を通じて自立心や協調性、社会性などを育み、青少年の健全育成を図る。 【主な実施内容】 ・文字と書道に親しもう、門松づくり、大鷲宮のぼりばやし、臼井伝統芸能の伝承など	【課題】 新型コロナウイルス感染症拡大防止の一環で、様々な地域団体の活動が停滞する中、地域との連携が必要な、伝統文化関連事業実施も困難な状況が続いている。 【対応】 事業の実施にあたり、連携先や事業への参加希望者が安心できる、事業形式を検討していく。場合によってはオンライン形式での事業実施についても模索していく。	△	通年	土日や長期休業期間に子どもたちに様々なものづくりや伝統文化等の体験型事業を実施。体験を通じて自立心や協調性、社会性などを育み、青少年の健全育成を図る。 【主な実施内容】 ・日本の伝統文化や、地域の伝統文化を次世代を担う子どもたちへ伝承する事業。	教育委員会	中央公民館
(再)			188	公民館事業	生涯学習社会にふさわしい人づくり、地域づくりを目指し、市民の学習活動を奨励し支援する。また、地域の自然を知る事や地域団体等と連携して伝統文化の継承と振興を図る。 【主な実施内容】 ・文化祭や芸能祭、茶道・陶芸教室、書道、絵手紙講座など ・内野三川リバーサイドウォーク、北区市民茶会など ・文芸誌の発行	通年	生涯学習社会にふさわしい人づくり、地域づくりを目指し、市民の学習活動を奨励し支援する。また、地域団体等と連携して伝統文化の継承と振興を図り、郷土愛を育む。 【主な実施内容】 ・文化祭や公民館まつり、地域の伝統産業、陶芸・書道・地域学等を学ぶ文化講座	【課題】 新型コロナウイルス感染症拡大防止の一環で、様々な地域団体の活動が停滞する中、地域との連携が必要な、伝統文化関連事業実施も困難な状況が続いている。 【対応】 事業の実施にあたり、連携先や事業への参加希望者が安心できる、事業形式を検討していく。場合によってはオンライン形式での事業実施についても模索していく。	△	通年	生涯学習社会にふさわしい人づくり、地域づくりを目指し、市民の学習活動を奨励し支援する。また、地域団体等と連携して伝統文化の継承と振興を図り、郷土愛を育む。 【主な実施内容】 ・文化祭や公民館まつり、地域の伝統産業、茶道・陶芸・書道・地域学等を学ぶ文化講座	教育委員会	中央公民館
			189	郷土資料のデジタルアーカイブ化	郷土に関する貴重資料をデジタルアーカイブ化し、市民の調査・研究に役立ててもらおうとともに、地域を知るきっかけとする。	通年	新潟市の図書館ホームページのデジタルアーカイブページで、新津図書館所蔵の郷土資料7点のデジタルデータを追加公開する。	今後もホームページで郷土資料のデジタルデータを追加公開し、公開点数を増やしていく。	○	通年	新潟市の図書館ホームページでのデジタルアーカイブページで、新津図書館所蔵の郷土資料7点のデジタルデータを公開する。	教育委員会	中央図書館

基本方針2 新潟市らしい文化の発信と交流により世界の中での存在感を高めます

(1)新潟市らしい文化を国内外へ発信

交流人口拡大につながる潜在性が高く、新潟市らしさを際立たせる「みなとまち文化」、「食文化」、「マンガ・アニメ」を中心に戦略的なプロモーションを国内外に展開します。

			190	にいがたアニメ・マンガフェスティバル(がたふえす)の開催	身近にマンガ・アニメに触れる機会を創出し、その魅力と情報を新潟から発信するため、関連イベントを中心市街地で開催する。	10月24日・25日	新型コロナウイルス感染症の影響を受け、イベント開催の方針がこれまでと大きく変わり、会場規模、企画内容ともに大幅縮小となってしまう。しかしながら、新たに公式YouTubeチャンネルを開設し、会場に来れなくてもイベントを楽しめるようオンライン配信企画も取り入れながら、リアルイベントとの併用型による新たなスタイルを確立できた。	実施企画の独立採算化も含めた、民間や協力団体へのアウトソーシング化の模索。事業資金にかかる新たな財源の確保。	○	10月16日・17日	令和2年度のスタイルをベースに、引き続き会場規模の最適化、感染症対策の徹底を図りつつ、新型コロナウイルス感染症終息後を見据えて、公式YouTubeチャンネルや特設サイトおよびSNSを活用したオンラインとリアルイベントの併用型で開催する。	文化スポーツ部	文化政策課
--	--	--	-----	------------------------------	--	------------	---	--	---	------------	--	---------	-------

基本方針	柱立て	施策の方向性	通番	施策・事業名	概要(実施内容・目的等)	令和2年度実施分				令和3年度実施分		部・区	担当課
						実施期間	取組事項(実績)	課題と今後の対応	取組結果	実施期間	取組事項(予定)		
			191	マンガ・アニメ情報館及びマンガの家の管理運営	「新潟市マンガ・アニメ情報館」及び「新潟市マンガの家」両施設にかかる管理運営費。	通年	集客力のあるコンテンツや、新潟にゆかりのある作家を扱った企画展を開催するとともに、施設の取組みについてSNSやHP等で周知し新規来館者割合の増につなげる。	・コロナ禍における感染症対策の徹底と誘客促進の両立。	○	通年	感染症対策を徹底しながら開館し、多くの集客が見込まれる企画展については、日時指定制も導入する。また、HPやSNSを活用した情報発信をすることで、来館者の増加につなげる。	文化スポーツ部	文化政策課
(再)			192	演劇・伝統芸能事業「ふるまち新潟をどり」	新潟市無形文化財第1号である「日本舞踊市山流」は、地方である新潟に宗家があり、120年以上に渡って古町花柳界の発展に尽力してきた。この「市山流」を支援し、また新潟芸妓の舞を広く市民に披露するために、新潟三業協同組合、新潟芸妓置屋組合、柳都振興(株)と協力し、公演を開催する。	9月20日	客席数を50%に制限して実施	事業予算が高額になっており、事業全体の見直しが必要。	○	9月19日	公演回数は例年通り。事業支出およびチケット価格設定を調整して、事業予算を若干縮小しての実施を予定。	文化スポーツ部	文化政策課
(再)			193	にいがたマンガ大賞の開催	プロ・アマを問わず、国内外から作品を募集するマンガコンテストを実施。募集前には初心者に向けた動画をHPに公開する。	8月1日から9月22日募集→審査・12月発表	部門別に作品を募集し、大賞ほか各賞を決定した。また、作品募集時には、マンガ制作のための活動を支援し、応募作品数を増やすことを目的に初心者向けのマンガ講座の動画を制作・HPで公開した。結果発表後については、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により表彰式を中止したが、代わりに最終審査員や上位受賞者のコメントをHPに掲載。また、作品集を発行するとともに、作品展を開催した。	・デジタル作画のデータ応募について、より応募しやすい形にする。 ・作品集のWEBコミック化の検討。(にいがたマンガ大賞、こどもにいがたマンガ大賞作品は、すでにWEB掲載済)	△	8月1日から9月21日募集→審査・12月発表	次世代育成のため、小学生・中学生・高校生の各部門を設定する他、幼児も参加可能なイラスト部門も設定。応募開始前後に、初心者向けのマンガ講座の動画をHPで公開する。応募後については、審査員による講評を応募者へ送り、応募者の次回創作への意欲向上につなげるほか、表彰式、作品集の発行、作品展の開催を行う。	文化スポーツ部	文化政策課
			194	新津鉄道資料館の魅力創造事業	新津鉄道資料館の充実とまちなかの活性化や交流人口の拡大を目的に、新潟・新津の地域資源である「鉄道文化」を積極的に活用し、新潟市の新たな魅力を全国に向けて発信する。	通年	・サンクスフェア2020の開催(中止) ・特別展の開催 ・秋葉区と連携した観光案内所の運営 ・鉄道模型走行会の実施 ・ミニSLの運行事業の実施 ・実車公開の実施	・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、いちどきに多くの人が集まるイベント等の実施は避ける。 ・来館者が集中し過ぎないように平準化をはかるなかで鉄道文化を発信していく。	○	通年	・特別展の開催 ・秋葉区と連携した観光案内所の運営 ・鉄道模型走行会の実施 ・ミニSLの運行事業の実施 ・実車公開の実施	文化スポーツ部	歴史文化課
			195	観光誘客宣伝	国内外で、多様な媒体を利用した観光資源の情報提供・発信並びにキャンペーン、セールス活動を行い、誘客の促進を図る。	通年	観光パンフレットの作成、印刷を行ったほか、新潟市公式観光HPの更新を行い、情報発信を行った。WEBや雑誌などへの広告掲載は中止した。	コロナ禍の中、情報発信の方法や内容など、検討が必要である。	△	通年	新型コロナウイルス感染症の状況を見極めながら、引き続き情報提供・発信を行う。	観光・国際交流部	観光政策課
			196	にいがた食の陣	「食」をテーマに、まちなかの賑わい創出、観光の活性化、誘客促進を図る。	通年	期間限定特別メニュー・サービスの提供、食事付き宿泊商品の造成、飲食店・観光施設・二次交通などで利用できる地域通貨券「うまさぎっしり湊町券」の発行、飲食店ガイド「街んなかご案内帖」の作成及び配布。新型コロナウイルス感染症対策を講じた秋の当座「食の陣GOLD」を開催。(春、夏、冬は中止)	当日座イベントにおいて、新しい生活様式に合致する開催スタイルの確立が必要となるほか、電子地域マネー「食の陣ペイ」の普及推進が課題である。	○	通年	期間限定特別メニュー・サービスの提供、食事付き宿泊商品の造成、飲食店・観光施設・二次交通などで利用できる地域電子マネー「食の陣ペイ」の発行、飲食店ガイド「街んなかご案内帖」の作成及び配布。新潟の食を堪能できるイベント「にいがた 冬食の陣 当日座」のほか、夏、秋にも当日座を開催(新型コロナウイルスの影響により春は中止)。	観光・国際交流部	観光政策課
			197	特産品・土産品の振興	全国の百貨店等で「観光と物産展」を開催することにより、新潟市産品を全国に紹介・宣伝し販路の拡大を図るとともに、誘客につなげる契機として本市の観光の魅力を発信する。	通年	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、年度中は物産展が開催できなかった。	新型コロナウイルスの影響を受け、物産展の中止が相次いでいる。新型コロナウイルス感染症の状況をみながら、関係機関と調整し開催を検討する。	×	通年	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、物産展の開催が難しく、再開のめども立っていない。収束後、どのような活動を行うことができるか検討していく必要がある。	観光・国際交流部	観光政策課
(再)			198	観光ボランティアガイド養成	来訪者が観光資源を巡る「まち歩き」を楽しめるよう、案内役を務める観光ボランティアガイドの養成に努める。	通年	ガイドの質の向上に繋がる講座の開催、「予約のいらないまち歩き」の実施。 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和2年度は中止	令和2年2月末より中止となっている「予約のいらないまち歩き」再開に向け、新型コロナウイルス感染症の状況を注視しながら、再開時期や実施方法等を検討していく。	△	通年	まち歩き観光ガイド養成講座の開催、「予約のいらないまち歩き」の実施。	観光・国際交流部	観光推進課

(再)

基本方針	柱立て	施策の方向性	通番	施策・事業名	概要(実施内容・目的等)	令和2年度実施分				令和3年度実施分		部・区	担当課
						実施期間	取組事項(実績)	課題と今後の対応	取組結果	実施期間	取組事項(予定)		
			199	米と酒を中心としたプロモーション事業	本市の食文化のPRを通じ、本市への誘客を図るとともに、市産農産物の国内外での新規需要を創出するため、米と酒を中心とした市産農産物・食文化のプロモーション映像作成やイベント開催によるプロモーションを展開する。	通年	・新型コロナウイルスの影響で、計画していた事業を変更または中止としたため計画通りに実施できなかった。(海外バイヤー招へい食品輸出商談会はオンラインに切り替えて実施、フランスバイヤー招へい商談会は商社を通じてサンプルを送付し現地バイヤーとの個別マッチングを実施、East Japan Sake Fes. 米と酒を中心としたプロモーション事業は中止。)	今後も新型コロナウイルスの影響が続くことが予想されるため、オンラインなどを活用し、プロモーション機会の創出に努め、輸出実績の増加につなげていく。	△	通年	コロナ禍の下で、オンラインを活用して商談機会を創出するほか、海外に向けて、本市の食文化を代表する米と米加工品の魅力を発信することで、海外での新潟ブランドを確立し、需要を高め、さらなる輸出拡大を図る ※中国向け米輸出の促進は食と花の推進課が担当(予算:1,500千円)、その他は産業政策課が所管(予算:5,000千円)	経済部	産業政策課
			200	新潟暮らし創造の推進	新潟暮らしの魅力を市内外へPRすることを通じ、若者の流出抑制など定住促進を図るとともに、本市への移住を促進する。	通年	・移住支援制度に関する情報発信 ・首都圏を中心としたプロモーションの実施 ・ホームページの充実、ターゲットに応じた広報	新型コロナウイルスの影響により、首都圏開催イベントが中止となった。オンライン開催でのイベントについては、集客が少ないため、今後はオンラインイベントでの集客に注力する。	○	通年	・移住支援制度に関する情報発信 ・首都圏を中心としたプロモーションの実施 ・ホームページの充実、ターゲットに応じた広報 ・オンラインでの移住イベントの開催	経済部	雇用政策課
			201	レストランバスなどを活用したコンテンツ開発	レストランバスを活用し、美しい自然、歴史的景観、伝統芸能などの地域資源と農業体験、酒蔵見学などのさまざまな体験メニューを組合せ、本市の食文化を一体的に体験できる新しい観光コンテンツを開発する。	4月～7月	新型コロナウイルスの影響により、令和2年度は運行を中止した。 ※レストランバスを活用したガストロミーツーリズムの効果検証や、にいがた食文化ナビゲーター養成基礎講座による人材育成やコースプランニングを行った。	ウィズコロナ・アフターコロナに対応するガストロミーツーリズムの推進を、食文化創造都市推進プロジェクトや民間の力を活用しながらすすめる。	△	-	ウィズコロナ・アフターコロナに対応するガストロミーツーリズムの推進を、食文化創造都市推進プロジェクトや民間の力を活用しながらすすめる。	農林水産部	食と花の推進課
			202	食文化創造都市推進事業	新潟市の魅力である「食文化」をさらに磨きあげ、市内外に広く発信し、交流人口の増加や地域産業の活性化を図ることを目的に、産学官民が連携して立ち上げた「新潟市食文化創造都市推進会議」を運営する。会議の趣旨に賛同する企業・団体・個人を会員とし、食文化に関するセミナーの開催や会員が異業種連携して実施する取り組み(食文化創造都市推進プロジェクト)への支援などを実施。	通年	・食関連事業者が異業種で連携して行うプロジェクトに対し、助成金を支払う。 ・食による地域活性化を目的にしたセミナーを開催する。	新型コロナウイルス感染症の影響により、食関連事業者の経営状況が悪化していることから、新規事業創設を支援する本事業を継続する必要がある。	○	通年	・食関連事業者が異業種で連携して行うプロジェクトに対し、助成金を支払う。 ・食による地域活性化を目的にしたセミナーを開催する。	農林水産部	食と花の推進課
			203	食の国際見本市「フードメッセinにいがた」	食の国際見本市「フードメッセinにいがた」は、フォーラムの目的である「世界に貢献できる都市ブランドの構築を図る」ための国際見本市として、新潟の拠点性を高めていくための場として開催しています。	11月11日～13日	・新潟県内の市町村・商工会議所、商工会等へ出展や来場に向けた営業をおこない、「フードメッセinにいがた2020」を販路拡大の場として活用してもらう。 ・本見本市を通じて新潟市を食産業としての拠点性向上を図る。	新型コロナウイルス感染症の影響により、出展者・来場者ともに減少となったが、ウェブ商談会を併設・強化することで、市引き続き商談の場を提供していく。	○	11月10日～12日	・「フードメッセinにいがた2021」をリアルとウェブを併設開催し、新潟県内自治体・商工会議所、商工会など食関連事業者の商談の場を提供する。 ・本見本市を通じて新潟市を食産業としての拠点性向上を図る。	農林水産部	食と花の推進課
			204	食と健康フォーラム(H28まで食の国際シンポジウム「フードフォーカsinにいがた」)	「食と健康」をテーマに県内の大学や企業の研究成果や機能性食材などを通じて市民に食と健康に対する意識の向上と健康増進に寄与するセミナーを開催する事業。	11月14日	フードフォーカsinにあった市民向け部分を「食と健康フォーラム」に一本化して、食を通じた市民向け健康フォーラムを開催。	新型コロナウイルス感染症の影響により、リアル開催ではなく、ウェブで11/28-12/31まで公開、349回の視聴となった。R3もコロナ禍が続くので、ウェブに対応可能な世代に向けた内容を検討していく。	△	11月20日	食を通じた市民向けの健康啓発として「食と健康フォーラム」を開催。(新型コロナウイルス感染症状況によってはウェブ配信)	農林水産部	食と花の推進課
			205	食の新潟国際賞	食の新潟を生み出した先人である佐野藤三郎氏をはじめとする先人の志を継承し、世界が抱える食の問題に向き合い、命の尊厳を守る活動として、世界の食における課題に先進的に挑戦し、めざましい成果を顕彰する事業。	11月24日	・第6回食の新潟国際賞授賞式が11月24日に開催される。 ・新たに新潟地域の食関係者を対象に「地域未来賞」を創設。	新型コロナウイルス感染症防止対策によりリアルとウェブの同時配信をおこなった。より多くの方に顕彰事業を通じた食の優れた知見を発信できるかが課題。	○	通年	・第7回食の新潟国際賞に向け受賞候補者を募集などを補助。	農林水産部	食と花の推進課
			206	地産地消推進事業(R1調査の際「地産地消キャンペーン」から変更)	市民に地場産の良さを知ってもらうとともに、地産地消推進の店の利用促進と認知度向上を図る。	通年	・地産地消推進の店認定事業 ・SNS等を利用した情報発信	・地産地消キャンペーン自体はR2より廃止。 ・コロナ禍で飲食店の経営状況が厳しく、地産地消推進の店の認定に向けた積極的なアプローチが難しい状況。	△	通年	・地産地消推進の店認定事業 ・SNS等を利用した情報発信	農林水産部	食と花の推進課



基本方針	柱立て	施策の方向性	通番	施策・事業名	概要(実施内容・目的等)	令和2年度実施分				令和3年度実施分		部・区	担当課
						実施期間	取組事項(実績)	課題と今後の対応	取組結果	実施期間	取組事項(予定)		
			207	都心軸・萬代橋周辺エリア賑わい空間創造事業(ミズベリング)	信濃川やすらぎ堤において、魅力的な都市空間の形成と官民が連携したエリアマネジメントの推進を図り、公共空間の活用や自然・水辺を活かした景観づくり、環境整備を展開し、萬代橋周辺ならではのまちづくりを進めます。	中止	※令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により「」開催中止	新型コロナウイルス感染症対策を図り、安心安全な環境での実施に向けた調整を進め、今後の感染状況に応じた臨機応変な対応が必要である。	×	未定	○市:河川法関係手続、仮設トイレの設置、マネジメント事業者の監督 ○民間:飲食店の誘致・営業、イベントの開催、広報・飲食事業	都市政策部	まちづくり推進課
			208	キテ・ミテ・キタクバスツアー	新規観光客の開拓とリピーターの増加、民間バスツアーの誘発を目的とした北区の観光資源を巡るバスツアーの実施。(トマト収穫体験と農家レストラン、塩引き鮭体験、日本酒飲み比べ、等)	6月13日～2月27日	年4回(6月・10月・11月・2月)新潟駅南口から発着をするバスツアーをコロナの感染状況に合わせて人数や行程を変更して実施。コースは季節に合わせた内容とし、トマトや日本酒、せんべいなどの特産物に係る体験にまちあるきを合わせて食・歴史・自然等を楽しんでもらった。古町芸妓派遣事業を利用した11月のバスツアーは満足度が高いものとなった。北区観光レポーターの方にツアーの様子を取材してもらい、更なるバスツアーのPRを図った。	依然としてコロナ禍であるため、市民にマイクロツーリズムの推進を図るためにも、引き続き民間旅行会社と連携して北区の魅力をもPRしていく。	○	4月17日～9月23日	年5回(4月・6月・7月・9月2回)新潟駅南口から発着をするバスツアーを実施予定。コースは季節に合わせた内容とし、トマトや日本酒、せんべいなどの特産物に係るスポットを巡るものを中心としながら、近隣市町村の観光地も組み込みマイクロツーリズム推進を図る。新たな試みとしてバスガイドによる案内や、新コースも実施予定。	北区	産業振興課
(再)			209	料亭の味と芸妓の舞	市民や観光客などから参加者を募集し、中央区の料亭を会場として古町芸妓の舞や唄の鑑賞と料亭での食事を気軽に堪能してもらう。	中止	市民や観光客などから参加者を募集し、中央区の料亭を会場として古町芸妓の舞や唄の鑑賞と料亭での食事を気軽に堪能してもらう。 ※新型コロナウイルスの影響により中止	若い世代の参加を促し、古町芸妓文化に関心を持ってもらえるようPRに取り組んでいく。	×	未定	古町芸妓の舞や唄の鑑賞と老舗料亭での食事をセットにした事業への支援	中央区	地域課
(再)			210	古町芸妓によるPR事業	古町芸妓による舞の披露など定期的にイベントを実施し、古町に行けば古町芸妓に会える環境を周知する。	10月～3月(月1回)	「新潟古町まちみなど情報館」を拠点に古町芸妓のPRを行う。	若い世代の参加を促し、古町芸妓文化に関心を持ってもらえるようPRに取り組んでいく。	○	通年	「新潟古町まちみなど情報館」を拠点に古町芸妓のPRを行う。	中央区	地域課
			211	にいつ鉄道まつり	「鉄道の街にいつ」の歴史と文化を広くアピールするために新津駅前広場を会場としてステージイベント、鉄道模型展示などを開催。同日には総合車両製作所の公開もあり、鉄道ファン必見のイベント。	10月10日予定(中止)	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため令和2年度は中止となった。	コロナ禍で集客イベントが困難なことから集客イベントに頼らない方策も検討する必要性が生じた。恒常的な「鉄道のまちにいつ」の広報など	×	10月中旬ごろ	令和3年度の新津車両製作所の一般開放はコロナの状況や態勢を整えて実施を検討中。一方、新津駅前周辺で開催される駅前ステージイベントは集客イベントであるため実施は困難とみている。	秋葉区	産業振興課
(再)			212	白根大凧合戦	中ノ口川の両岸から量24枚分ほどもある大凧を揚げ、空中で絡ませて川に落とし、相手の凧網が切れるまで引き合う世界最大スケールの大凧合戦。	6月4日～6月8日(中止)	R2年度は中止。次年度開催に向けた整備 ・凧絵柄支柱マンホール整備 ・会場設営資材整備 ・凧合戦協会補助金 ほか	新型コロナウイルス対策 ・次世代の担い手確保	△	6月2日～6月4日	白根大凧合戦(関連イベント中止)	南区	産業振興課
質の高い舞台芸術や独自性の高いコンテンツの海外公演や国内外への発信を支援します。													
(再)			213	舞踊事業新潟発創造事業(りゅーとぴあ)	Noism1は日本初の劇場専属のプロフェッショナル・ダンス・カンパニーであり、日本のコンテンポラリーダンス界のリーディングカンパニーとして概ね年2作品を国内外で公演している。また、地域の舞踊普及や若手ダンサー育成を目的とした研修生カンパニーNoism2も活動している。	通年	・「春の祭典」プレビュー公演 ・Duplex Noism0/Noism1 ・オープンクラスの開催 ほか 劇場専属舞踊団として、広く市民に舞踊の素晴らしさを伝える活動を行う	地域貢献、国内他館との連携、Noism以外の舞踊作品の提供等。活動シーズンごとの評価で課題対応状況を確認。	○	通年	・Noism夏公演「春の祭典」 ・Noism冬公演「ダブルビル」 ・Noism2定期公演 ・オープンクラスの開催 ほか 劇場専属舞踊団として、広く市民に舞踊の素晴らしさを伝える活動を行う。	文化スポーツ部	文化政策課
本市のアイデンティティの一つである「水と土」の文化を市民と協働で掘り起し、磨き上げ、国内外へ発信します。													
(再)			214	水と土の宝物活用事業(市民プロジェクト)	市民自らが企画・運営する、アート制作や文化イベントなどの取り組みに対し補助金を交付する。	7月1日～12月27日	引き続き、市民プロジェクトを実施すると共に、アーツカウンシル新潟への移行に向けた作業を行う。	引き続き、市民プロジェクトを実施すると共に、アーツカウンシル新潟への移行に向けた作業を行う。	○	7月1日～11月30日	市民プロジェクトの実施	文化スポーツ部	文化政策課
(再)			215	水と土の宝物活用事業(子どもプロジェクト)	アーティストを招へいたワークショップ等を通じて子どもたちの創造性を育む企画を実施。	8月～2月	公民館及び子ども創造センターと連携し、子どもたちの創造性を育むとともに、新潟市の独自の魅力を伝える事業を市内広域で実施	他部署の子ども向け事業との棲み分けや差別化が課題のため、他事業との連携、統合など、今後の事業の方向性に関する検討が必要。	○	8月～2月	公民館やアーティスト・イン・レジデンス事業などと連携し、子どもたちの創造性を育むための取り組みを実施。	文化スポーツ部	文化政策課

基本方針	柱立て	施策の方向性	通番	施策・事業名	概要(実施内容・目的等)	令和2年度実施分				令和3年度実施分		部・区	担当課
						実施期間	取組事項(実績)	課題と今後の対応	取組結果	実施期間	取組事項(予定)		
本市の個性ある文化資源と他都市の文化資源がもつ共通のコンセプトにより「点」から「線」、「線」から「面」へとつなぐ、文化による広域連携を推進します。													
			216	日本遺産を通じた地域活性化	文化庁認定の日本遺産「信濃川流域の火焰型土器と雪国の文化」にかかる構成文化財等を活用し、交流人口の拡大をとおした地域活性化を図る。	通年	「当初」縄文フェスの開催(新潟市は1回、本市以外は加盟市町各自開催。計5回開催予定。新潟市は開催協力) 「実績」 ・コロナ対策のため中止:新潟市・三条市・十日町市・津南町 ・規模縮小実施:長岡市 ・予定通り実施:魚沼市	【R2実施状況】 ①コロナ対策のため中止:新潟市・三条市・十日町市・津南町 ②規模縮小実施:長岡市 ③予定通り実施:魚沼市 ※今後もコロナの状況を踏まえながら関連団体と連携する。	△	通年	①縄文フェスの開催(新潟市1回。本市以外での5回分については開催協力) ②予算増は繰越金を利用し、数年以内に実施予定の縄文フォーラム開催に向けた準備金としている。	文化スポーツ部	歴史文化課
			217	新潟市歴史博物館と西安博物院との交流	中国西安市の西安博物院との提携で、相互の学術研究・調査交流や相互の広報、文化的交流と親善への協力を図る。	中止	新型コロナウイルス流行の影響により令和2年度は中止	感染症が収束、または収束が見込まれるまでは具体的な方針が立てられない。	×	-	感染症が収束、または収束が見込まれるまでは具体的な方針が立てられない。	文化スポーツ部	歴史文化課
			218	新津鉄道資料館と四国鉄道文化館との交流	四国鉄道文化館(愛媛県西条市)との間で職員の派遣(講演講師等)、イベント時の観光PR・物販ブースの開設等を実施する。	通年	展示面での交流に向けた打ち合わせ及び調査	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、遠隔地の出張が制限される。感染の収束を待つ。	×	なし	新型コロナウイルス感染拡大防止の各種取り組みのなかで、R3年度は出張見送りされ、予算もカット。	文化スポーツ部	歴史文化課
			219	レストランバスなどを活用したコンテンツ開発	レストランバスを活用し、美しい自然、歴史的景観、伝統芸能などの地域資源と農業体験、酒蔵見学などのさまざまな体験メニューを組合せ、本市の食文化を一体的に体験できる新しい観光コンテンツを開発する。	4月~7月	新型コロナウイルスの影響により、令和2年度は運行を中止した。 ※レストランバスを活用したガストロミーツーリズムの効果検証や、にいがた食文化ナビゲーター養成基礎講座による人材育成やコースプランニングを行った。	ウイズコロナ・アフターコロナに対応するガストロミーツーリズムの推進を、食文化創造都市推進プロジェクトや民間の力を活用しながらすすめる。	△	-	ウイズコロナ・アフターコロナに対応するガストロミーツーリズムの推進を、食文化創造都市推進プロジェクトや民間の力を活用しながらすすめる。	農林水産部	食と花の推進課
(2)国内外の創造都市との交流を深める													
東アジア文化都市のネットワークや「創造都市ネットワーク日本(CCNJ)」など、本市の有する国内外の都市間ネットワークを結びつけることにより、北東アジアにおける文化交流拠点としての役割を果たしていきます。													
			220	東アジア文化都市交流事業	2015年の「東アジア文化都市」として1年間交流を重ねてきた中国・青島市、韓国・清州市との文化交流事業について、3都市共同宣言に基づき継続・発展させる。これにより、都市・市民レベルでの平和・共生の関係づくりをはじめ、本市の文化及び都市イメージの発信や国際的知名度の向上につなげる。	通年	<青少年交流> ・オンライン青少年交流 <文化イベント交流> ・芸能動画の交換、上映 <その他> ・パネル展 ・青少年交流過去参加者アンケート	相互派遣交流の再開時期、各都市における財源確保が課題。今後は相互派遣交流の再開時期を検討しながらも、コロナ禍におけるより効果的な交流方法を模索していく。	○	通年	コロナ禍により、引き続きオンラインを活用した交流を実施するほか、事業PRのためのパネル展も継続実施する。	文化スポーツ部	文化政策課
			221	創造都市ネットワーク関連事業	創造都市を目指す国内都市との連携・交流を深め、情報・知見・経験などを交換して本市の成長にいかすとともに、創造都市に向けた本市の取り組みを国内外にアピールする。	通年	・創造都市政策セミナー及び幹事団体会議等への参加	引き続き幹事団体として参画し、他都市との連携、交流を深め、情報・知見等を交換しながら本市の成長にいかしていく。	○	通年	・創造都市政策セミナー及び幹事団体会議等への参加	文化スポーツ部	文化政策課
姉妹・友好都市や国内外の交流協定都市、東アジア文化都市選定都市との、市民団体や文化施設が主体の文化交流を支援するとともに、都市間での文化交流を推進します。													
			222	東アジア文化都市交流事業	2015年の「東アジア文化都市」として1年間交流を重ねてきた中国・青島市、韓国・清州市との文化交流事業について、3都市共同宣言に基づき継続・発展させる。これにより、都市・市民レベルでの平和・共生の関係づくりをはじめ、本市の文化及び都市イメージの発信や国際的知名度の向上につなげる。	通年	<青少年交流> ・オンライン青少年交流 <文化イベント交流> ・芸能動画の交換、上映 <その他> ・パネル展 ・青少年交流過去参加者アンケート	相互派遣交流の再開時期、各都市における財源確保が課題。今後は相互派遣交流の再開時期を検討しながらも、コロナ禍におけるより効果的な交流方法を模索していく。	○	通年	コロナ禍により、引き続きオンラインを活用した交流を実施するほか、事業PRのためのパネル展も継続実施する。	文化スポーツ部	文化政策課
			223	日仏文化交流事業(ナント市との文化交流等)	姉妹都市であるナント市との文化交流を推進するとともに、日仏の諸都市間における文化創造に関する多角的な交流を推進し、文化芸術による新しい価値と魅力を高め、文化創造都市としての持続的発展を目指す。事業例:総踊りによる日仏青少年交流等	通年	「日仏自治体交流会議」への出席及び必要に応じて民間交流の支援を行う予定とされていたが、コロナ禍により中止。	行政交流から、民間交流を行政が支援する形にシフトしていく。	×	未定	現時点で予定なし	文化スポーツ部	文化政策課

基本方針	柱立て	施策の方向性	通番	施策・事業名	概要(実施内容・目的等)	令和2年度実施分				令和3年度実施分		部・区	担当課
						実施期間	取組事項(実績)	課題と今後の対応	取組結果	実施期間	取組事項(予定)		
(再)			224	京都・奈良文化交流事業	「京都市と新潟市の観光・文化交流宣言」(H25.3月)及び「奈良県と新潟市の歴史・文化交流に関する協定」に基づき、両市・県との文化交流を行うことで、総合理解を深め、歴史や観光、文化による交流の絆を強めるとともに、新しい価値を創造し、本市の魅力を高め、誇りにしていく。	中止	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止		×	未定	現時点で予定なし	文化スポーツ部	文化政策課
			225	姉妹・友好都市等との交流の推進	姉妹・友好都市等をはじめとする海外諸都市との間で、様々な機会をとらえた文化交流団の派遣受入などを通じて、文化交流の進展と相互理解の深化を図る。	通年	ハバロフスク市・ウラジオストク市への文化団派遣等を予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大のため、予定していた事業を実施できなかった。	コロナ禍でも実施できる文化交流として、オンラインワークショップや動画の公開などの手法を検討していきたい。	×	通年	・新潟・ウラジオストク姉妹都市提携30周年記念事業の一環として、いけばなオンライン交流及び学校間等で伝統芸能を体験し合うリモート交流を予定。	観光・国際交流部	国際課
			226	月形町児童交流事業	友好姉妹町村であった旧月潟村と北海道月形町の児童を対象に、交流会や体験活動を通じて子供たちの成長を図る。	8月	・コロナウイルス感染拡大防止のため、交流会を中止。特産品交換のみ実施。	令和3年度に月形町の児童を受け入れ交流会・記念式典を開催する。	△	8月	・児童交流会の実施 ・記念式典の実施	南区	月潟地区公民館

基本方針3 文化の力を活用して都市の活力創出と成長を目指します

(1)文化創造の力を活かした交流人口拡大と地域経済活性化

本市の個性ある文化資源と他都市の文化資源がもつ共通のコンセプトにより「点」から「線」、「線」から「面」へとつなぐ、文化による広域連携を推進します。【再掲2(1)】

(再)			227	にいがたアニメ・マンガフェスティバル(がたふえす)の開催	身近にマンガ・アニメに触れる機会を創出し、その魅力と情報を新潟から発信するため、関連イベントを中心市街地で開催する。	10月24日・25日	新型コロナウイルス感染症の影響を受け、イベント開催の方針がこれまでと大きく変わり、会場規模、企画内容ともに大幅縮小となってしまった。しかしながら、新たに公式YouTubeチャンネルを開設し、会場に来れなくてもイベントを楽しめるようオンライン配信企画も取り入れながら、リアルイベントとの併用型による新たなスタイルを確立できた。	実施企画の独立採算化も含めた、民間や協力団体へのアウトソーシング化の模索。事業資金にかかる新たな財源の確保。	○	10月16日・17日	令和2年度のスタイルをベースに、引き続き会場規模の最適化、感染症対策の徹底を図りつつ、新型コロナウイルス感染症終息後を見据えて、公式YouTubeチャンネルや特設サイトおよびSNSを活用したオンラインとリアルイベントの併用型で開催する。	文化スポーツ部	文化政策課
(再)			228	マンガ・アニメ情報館及びマンガの家」の管理運営	「新潟市マンガ・アニメ情報館」及び「新潟市マンガの家」両施設にかかる管理運営費。	通年	集客力のあるコンテンツや、新潟にゆかりのある作家を扱った企画展を開催するとともに、施設の取組みについてSNSやHP等で周知し新規来館者割合の増につなげる。	・コロナ禍における感染症対策の徹底と誘客促進の両立。	○	通年	感染症対策を徹底しながら開館し、多くの集客が見込まれる企画展については、日時指定制も導入する。また、HPやSNSを活用した情報発信をすることで、来館者の増加につなげる。	文化スポーツ部	文化政策課
(再)			229	日本遺産を通じた地域活性化	文化庁認定の日本遺産「信濃川流域の火焰型土器と雪国の文化」にかかる構成文化財等を活用し、交流人口の拡大をとおした地域活性化を図る。	通年	「当初」縄文フェスの開催(新潟市は1回、本市以外は加盟市町各自開催。計5回開催予定。新潟市は開催協力) 「実績」 ・コロナ対策のため中止:新潟市・三条市・十日町市・津南町 ・規模縮小実施:長岡市 ・予定通り実施:魚沼市	【R2実施状況】 ①コロナ対策のため中止:新潟市・三条市・十日町市・津南町 ②規模縮小実施:長岡市 ③予定通り実施:魚沼市 ※今後もコロナの状況を踏まえながら関連団体と連携する。	△	通年	①縄文フェスの開催(新潟市1回。本市以外での5回分については開催協力) ②予算増は繰越金を利用し、数年以内に実施予定の縄文フォーラム開催に向けた準備金としている。	文化スポーツ部	歴史文化課
(再)			230	新潟市歴史博物館と西安博物院との交流	中国西安市の西安博物院との提携で、相互の学術研究・調査交流や相互の広報、文化的交流と親善への協力を図る。	中止	新型コロナウイルス流行の影響により令和2年度は中止	感染症が収束、または収束が見込まれるまでは具体的な方針が立てられない。	×	-	感染症が収束、または収束が見込まれるまでは具体的な方針が立てられない。	文化スポーツ部	歴史文化課
(再)			231	新津鉄道資料館と四国鉄道文化館との交流	四国鉄道文化館(愛媛県西条市)との間で職員の派遣(講演講師等)、イベント時の観光PR・物販ブースの開設等を実施する。	通年	展示面での交流に向けた打ち合わせ及び調査	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、遠隔地の出張が制限される。感染の収束を待つ。	×	なし	新型コロナウイルス感染拡大防止の各種取り組みのなかで、R3年度は出張見送りされ、予算もカット。	文化スポーツ部	歴史文化課
(再)			232	レストランバスなどを活用したコンテンツ開発	レストランバスを活用し、美しい自然、歴史的景観、伝統芸能などの地域資源と農業体験、酒蔵見学などのさまざまな体験メニューを組合せ、本市の食文化を一体的に体験できる新しい観光コンテンツを開発する。	4月～7月	新型コロナウイルスの影響により、令和2年度は運行を中止した。 ※レストランバスを活用したガストロノミーツアーの効果を検証や、にいがた食文化ナビゲーター養成基礎講座による人材育成やコースプランニングを行った。	ウィズコロナ・アフターコロナに対応するガストロノミーツアーの推進を、食文化創造都市推進プロジェクトや民間の力を活用しながらすすめる。	△	-	ウィズコロナ・アフターコロナに対応するガストロノミーツアーの推進を、食文化創造都市推進プロジェクトや民間の力を活用しながらすすめる。	農林水産部	食と花の推進課

基本方針	柱立て	施策の方向性	通番	施策・事業名	概要(実施内容・目的等)	令和2年度実施分				令和3年度実施分		部・区	担当課	
						実施期間	取組事項(実績)	課題と今後の対応	取組結果	実施期間	取組事項(予定)			
					本市の拠点性や文化資源を活かしたMICEの誘致を推進します。									
			233	文化関連イベント等誘致受入支援事業	新潟市へ文化関連イベント等を誘致し、受入支援を行うことで交流人口の拡大を通じた地域経済の活性化を図る。	通年	地域の文化・スポーツ関連団体等と連携し、文化・スポーツイベント等の誘致受入支援を行う。	感染症下において多くの文化的イベント等が中止や延期となっているためその繋ぎ止めを行う。また感染症収束後のイベント等を見据え、地元文化団体への働きかけや、マンガ・アニメ情報館などと連携し誘致活動を行う。	○	通年	感染症の状況を見ながら、地域の文化・スポーツ関連団体等と連携し、文化・スポーツイベント等の誘致受入支援を行う。	観光・国際交流部	観光推進課	
					新潟市民芸術文化会館(りゅーとぴあ)を国際文化交流の拠点と位置付け、国内外への発信力の高い国際的な文化交流事業を推進します。									
			234	舞踊事業新潟発創造事業(りゅーとぴあ)	Noism1は日本初の劇場専属のプロフェッショナル・ダンス・カンパニーであり、日本のコンテンポラリーダンス界のリーディングカンパニーとして概ね年2作品を国内外で公演している。また、地域の舞踊普及や若手ダンサー育成を目的とした研修生カンパニーNoism2も活動している。	通年	・「春の祭典」プレビュー公演 ・Duplex Noism0/Noism1 ・オープンプラスの開催 ほか 劇場専属舞踊団として、広く市民に舞踊の素晴らしさを伝える活動を行う	地域貢献、国内他館との連携、Noism以外の舞踊作品の提供等。活動シーズンごとの評価で課題対応状況を確認。	○	通年	・Noism夏公演「春の祭典」 ・Noism冬公演「ダブルビル」 ・Noism2定期公演 ・オープンプラスの開催 ほか  劇場専属舞踊団として、広く市民に舞踊の素晴らしさを伝える活動を行う。	文化スポーツ部	文化政策課	
					文化芸術の創造性を活かした新たな産業と雇用の創出を促進します。									
			235	マンガ家志望者支援事業	東京の出版社と直接やりとりする機会が少ない地方在住のプロマンガ家志望者のプロデビューを支援するため、地方にいながらマンガ原稿を持ち込みできるよう、マンガ雑誌編集部による添削会の場を設定する。	通年	新型コロナウイルスの感染状況をふまえ、出版社マンガ雑誌編集部によるオンラインによる添削会を実施した。事業の共催の専門学校の会場には、端末を用意し、Zoomで編集部と接続した(新潟会場の端末は本市が設置して対応)。 ※10月についてはオンラインにて添削会を実施したが、2月に予定していた2・3回目について、感染症拡大の影響で新潟会場側の都合がつかなくなり中止したが、代わりに原稿を編集部に送りコメントを送付してもらった。	・コロナ禍でも対応可能な実施手法(会場等)の検討。 ・コロナ禍でも編集部が受け取りやすい原稿提出方法の検討。 ・一般層の参加割合を高めるための周知方法を検討。	△	通年	新型コロナウイルスの感染状況をふまえ、出版社マンガ雑誌編集部によるオンラインによる添削会を実施する。新潟サイドの会場には端末を本市で設置して対応。	文化スポーツ部	文化政策課	
			236	次世代店舗支援事業(商店街空き店舗活用事業)	商店街の空き店舗を活用し、地域課題の解決を図る店舗を出店する場合にかかる費用を支援。	通年	商店街の空き店舗を活用して地域課題の解決を図る事業に対し、店舗賃借料や改装費、備品購入費、クラウドファンディング組成手数料を補助。	事業者の出店スケジュールに合わないことで申請に繋がらないケースもあるが、より事業を利用しやすいするため、申請要件を見直し広く募集を受け付ける。 【R2年度で事業終了】	○	-	R2年度で事業終了	経済部	商業振興課	
			237	情報通信関連産業立地促進事業補助金	情報通信関連産業の立地を促進することにより、雇用機会の拡大・産業の活性化を図る。	通年	新規に立地した事業所の賃借料や雇用促進に係る補助を行うことにより、本市の情報通信関連産業の高度化・活性化を推進するとともに、県と連携しながらIT関連企業等の誘致を促進する。	令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により企業視察等に一部制約はあったものの、計8件の企業誘致を行った。今後は、情報通信関連産業をはじめ、企業の地方進出への機運が高まる中、県や関係機関との連携を密に図りながら、企業誘致を促進していきたい。	○	通年	新規に立地した事業所の賃借料や雇用促進に係る補助を行うことにより、本市の情報通信関連産業の高度化・活性化を推進するとともに、県と連携しながらIT関連企業等の誘致を促進する。	経済部	企業誘致課	
			238	イノベーション共創の場創出支援事業(H29まで:がたまるプログラミングキャンプ)	ICTの専門人材の積極的な育成を行い、全産業におけるイノベーションの機会を創出することで都市の活性化に資することを目的に、若年層に対し先端技術を学ぶ場を提供し、また、オープンイノベーションのプラットフォームを整備し新たなビジネスの創出に向けた場を運営する。	通年	コロナ禍で開催中止を余儀なくされたケースもあったが、定員数を抑制し、受講者間の距離を確保するなど感染対策を取ったうえで、教室運営を実施。本市ICT産業の未来の担い手の育成のため、若年層に対して先端技術やプログラミングを学ぶ場を提供することで、不足するIT人材の育成支援に取り組むことができた。	令和2年度から小学校でのプログラミング教育が必修化され、保護者の関心の高まりが感じられたが、継続的な受講者の獲得はなお容易でなかった。オンライン受講を可能とするなど、コロナ禍でも参加しやすい環境を作り、引き続き受講者定着を目指す。令和2年度で本市の補助は終了し、今後は事業者による自走となる。	○	-	-	経済部	成長産業支援課	

(再)

(再)

基本方針	柱立て	施策の方向性	通番	施策・事業名	概要(実施内容・目的等)	令和2年度実施分				令和3年度実施分		部・区	担当課
						実施期間	取組事項(実績)	課題と今後の対応	取組結果	実施期間	取組事項(予定)		
(再)			239	食文化創造都市推進事業	新潟市の魅力である「食文化」をさらに磨きあげ、市内外に広く発信し、交流人口の増加や地域産業の活性化を図ることを目的に、産学官民が連携して立ち上げた「新潟市食文化創造都市推進会議」を運営する。会議の趣旨に賛同する企業・団体・個人を会員とし、食文化に関するセミナーの開催や会員が異業種連携して実施する取り組み(食文化創造都市推進プロジェクト)への支援などを実施。	通年	・食関連事業者が異業種で連携して行うプロジェクトに対し、助成金を支払う。 ・食による地域活性化を目的にしたセミナーを開催する。	新型コロナウイルス感染症の影響により、食品関連事業者の経営状況が悪化していることから、新規事業創設を支援する本事業を継続する必要がある。	○	通年	・食関連事業者が異業種で連携して行うプロジェクトに対し、助成金を支払う。 ・食による地域活性化を目的にしたセミナーを開催する。	農林水産部	食と花の推進課
			240	12次産業化推進事業	本市の田園資源を生活に密着する分野にも活かし、産業や雇用の創出を図るとともに、安心・安全に暮らせるまちづくりを目指す。	通年	・「12次産業化推進計画(更新版)」を策定 ・市内関連事業のとりまとめ、新規事業の掘り起し ・セミナー等でのPR、リーフレット、ホームページ等による広報	・市内事業において、分野毎の連携数の偏りが生じている。 ・予算要求時等に合わせ、市内事業課へ農業(田園資源)の活用に関する積極的活用について周知を図り、新規事業の掘り起しに努める。また、民間事業者が実施する12次産業化に関連する取り組みを広く情報発信することで、新たな事業創出に向けた機運醸成や、既存事業の発展となるきっかけ作りを提供するとともに、事業者間の橋渡し役としての役割を目指していく。	○	通年	・市内関連事業のとりまとめ、新規事業の掘り起し ・セミナー等でのPR、リーフレット、ホームページ等による広報	農林水産部	食と花の推進課
(2) 社会や地域の課題解決に文化芸術を活用													
本市全体の施策をより効率的・効果的に推進することを目指し、市民の生活に密着するあらゆる分野の施策においても文化芸術を多面的に活用します。													
(再)			241	(財)新潟市芸術文化振興財団運営費補助金(アーツカウンシル新潟)	・アーツカウンシル新潟による市民の文化芸術活動の活性化や文化と他分野との連携を推進し、本市の持続的な文化創造都市の推進体制を構築するほか、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた文化プログラムの推進に取り組む。	通年	・市民・行政等の相談対応 ・市民の文化芸術団体等への助成事業 ・市以外の助成制度等外部資金のマッチング ・beyond2020プログラム認証事務 ・市の文化政策及び文化芸術活動に関する現状調査 ・市の文化施策の向上に資する調査・研究等 ・ホームページ、SNS等による情報発信 ・「アーツカウンシル新潟」の活動PR ・市文化芸術関連事業への支援 ・組織の自律化に向けた取り組み	新型コロナウイルス関連の支援を通して、アーツカウンシル新潟への認知は広まったが、引き続き認知拡大に向けた取り組みは必要。 今年度はコロナ禍の影響もあり、助成事業の実施件数は伸びなかったが、助成事業の申請数増加に向けた取り組みや自主財源の安定的な確保も課題。 新たなアプローチも取り入れながら継続的に取り組み、市民主体の文化芸術活動の活性化につなげる。	○	通年	・市民・行政等の相談対応 ・市民の文化芸術団体等への助成事業 ・市以外の助成制度等外部資金のマッチング ・beyond2020プログラム認証事務 ・市の文化政策及び文化芸術活動に関する現状調査 ・市の文化施策の向上に資する調査・研究等 ・ホームページ、SNS等による情報発信 ・「アーツカウンシル新潟」の活動PR ・市文化芸術関連事業への支援 ・組織の自律化に向けた取り組み	文化スポーツ部	文化政策課
			242	創造都市ネットワーク関連事業	創造都市を目指す国内都市との連携・交流を深め、情報・知見・経験などを交換して本市の成長にいかすとともに、創造都市に向けた本市の取り組みを国内外にアピールする。	通年	・創造都市政策セミナー及び幹事団体会議等への参加	引き続き幹事団体として企画し、他都市との連携、交流を深め、情報・知見等を交換しながら本市の成長にいかしていく。	○	通年	・創造都市政策セミナー及び幹事団体会議等への参加	文化スポーツ部	文化政策課
			243	文化創造交流都市ビジョンの推進	「新潟市文化創造交流都市ビジョン」に基づき、文化芸術が有する創造性を活かしてまちづくりを進め、市民がいまいきいきと暮らし、将来にわたってまちが活性化する新潟市をめざす。 ・「新潟市文化創造都市ビジョン」の見直し(集中改革の取り組みにより、計画期間を2年延長し2023年までとする)	通年	・7月27日、文化創造推進本部会議開催 ・7月～10月にヒアリングを実施→ヒアリングの効果がみだせなかったため中止 ・文化創造推進委員会は開催せず。 ・2月～次期ビジョン策定に向けた基礎調査を実施。	現行ビジョンの成果検証と合わせて、次期ビジョンの策定準備に取り掛かる。文化創造推進委員の再選定が必要。	○	通年	・文化創造推進本部会議の開催 ・文化創造推進委員の再選定 ・文化創造推進委員会の開催 ・現行ビジョンの成果検証 ・次期ビジョンの策定作業	文化スポーツ部	文化政策課
			244	文化プログラム推進事業	本市独自の文化芸術の取り組みや都市間ネットワークをいかにしながら、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた「文化プログラム」を推進する。	通年	・文化プログラムの推進 東京2020大会に向けたオリンピック文化プログラムの認証制度のPRを含む認証申請等に向けた取り組み ・beyond2020プログラム認証事務	コロナ禍において、イベントの開催自粛が多く見られた影響もあり、認証事業数が大幅に減少した。文化プログラム認証制度に関する認知度はまだ低いため、引き続き、アーツカウンシル新潟と連携しながら過去の認証団体への声かけや、新規申請者の獲得につながるよう機会をとらえたPRを実施する。	○	通年	・文化プログラムの推進 東京2020大会に向けたオリンピック文化プログラムの認証制度のPRを含む認証申請等に向けた取り組み ・beyond2020プログラム認証事務	文化スポーツ部	文化政策課

基本方針	柱立て	施策の方向性	通番	施策・事業名	概要(実施内容・目的等)	令和2年度実施分				令和3年度実施分		部・区	担当課
						実施期間	取組事項(実績)	課題と今後の対応	取組結果	実施期間	取組事項(予定)		
(再)			245	文化芸術による共生社会推進事業	多様な立場の方が、それぞれの立場で参加できるワークショップや作品展示の開催など、障がいの有無に関わらず文化芸術活動に参加できる機会を創出する。	通年	・障がい者アート作品とその作品の制作過程の映像を展示 ・多様な方達が関わるうた作りワークショップの実施	文化芸術活動への取り組みが、共生社会実現に向けもたらす効果などを広く知ってもらう必要があるほか、持続的な取り組みにつなげるために福祉施設等のニーズを探る必要がある。	○	通年	・表現活動調査及びアート展 ・手話狂言公演 ・事業の普及啓発 ・福祉施設等のニーズ調査	文化スポーツ部	文化政策課
			246	新潟シティマラソン	新潟シティマラソンを開催	10月4日～31日	令和2年10月11日(日)、デンカビッグスワンスタジアム発～市陸上競技場着で、榎谷小路や萬代橋など本市の中心市街地や信濃川、日本海など水辺を望む日本陸連公認コースにおいて、マラソン(42.195km)・ファンラン(11.0km)の2種目を開催。 【新型コロナウイルス感染症の影響により開催延期】 代替イベント「リモートチャレンジ」「10000mタイムトライアル」及び「ユニバーサルラン」を実施	これまでの新潟シティマラソンは、市民はもとより全国から12,000人を超えるランニング愛好者が参加していたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、現時点においては開催が難しい状況である。	△	10月2日・10日	現在の日本を取り巻く新型コロナウイルスの感染状況を鑑み、代替イベント(「にいがた2km」でのランニングイベント、デンカビッグスワンスタジアムでの10kmタイムトライアル)を開催する。	文化スポーツ部	スポーツ振興課
			247	新潟シティライド	市内を自転車で巡るシティライドを開催	6月7日(中止)	市サイクリング協会など自転車関係団体と連携してサイクリングイベントを実施し、市民の健康維持・増進、サイクルスポーツの振興及び本市の魅力再発見に寄与する。 ※新型コロナウイルス感染症の影響により「中止」	新型コロナウイルス感染症の拡大状況に収束が見えない状況下において、感染対策を講じた適正な規模での開催を模索する。	△	6月6日	市サイクリング協会など自転車関係団体と連携してサイクリングイベントを実施し、市民の健康維持・増進、サイクルスポーツの振興及び本市の魅力再発見に寄与する。 また、参加者居住地の県民限定や開会式の取りやめなど、感染症対策を講じ、開催する。	文化スポーツ部	スポーツ振興課
			248	新潟ヒルクライム	岩室温泉をスタートし、弥彦山スカイラインを山頂まで駆け上がるヒルクライムを開催	令和2年9月6日(日)	県自転車競技連盟など自転車関係団体と連携して自転車競技大会を実施し、サイクルスポーツの振興、本市の魅力発信、地域活性化の推進に寄与する。 ※本年は会場施設の都合上、1マイルタイムトライアルは実施しない。	新型コロナウイルス感染症の拡大状況に収束が見えない状況下において、感染対策を講じた適正な規模での開催を模索する。	○	9月5日	県自転車競技連盟など自転車関係団体と連携して自転車競技大会を実施し、サイクルスポーツの振興、本市の魅力発信、地域活性化の推進に寄与する。 また、参加者居住地の県民限定や開会式の取りやめなど、感染症対策を講じ、開催する。	文化スポーツ部	スポーツ振興課
			249	シニアはつらつにいがた総おどり事業	「総おどり体操」の活用を通じて、高齢者が介護予防や健康づくり、生きがいがづくりに取り組むことを促進し、健康寿命の延伸を図るとともに、多世代に渡る交流の機会を提供し、社会や地域における人々の信頼関係や結びつきを醸成する。	通年	・事業実施ガイドラインの範囲内において、総おどり体操講習会を各区で実施するとともに、高齢者の自主グループ等の活動場所に指導スタッフを派遣。 ・体操のポイントや効果などを詳しく説明し、地域において講師役となれる方に対して養成講座を開催。 ・オンライン講習会の取り組み開始。  ※感染症拡大のためアートミックスジャパン、にいがた総おどりへの参加は中止。講習会の定員を半数で実施。	総おどり体操の認知拡大、オンライン講習会の普及	△	通年	・事業実施ガイドラインの範囲内において、総おどり体操講習会を各区で実施するとともに、高齢者の自主グループ等の活動場所に指導スタッフを派遣。 ・体操のポイントや効果などを詳しく説明し、地域において講師役となれる方に対して養成講座を開催。 ・オンライン講習会を実施。	福祉部	高齢者支援課
			250	アキハスムプロジェクト Vol.2	秋葉区への移住・定住の獲得を目指し、秋葉区のブランド構築・発信や移住・定住のための仕組みづくりを行う。	通年	秋葉区の多彩な魅力の特設ウェブサイトを中心に、SNSやバナー・フラッグ等を用いて発信するとともに、移住モデル地区の地域主体による移住者の受入体制づくりへの支援を行う。 また、Akihaきらきらプロジェクトの活動を支援し、市民活動に取り組む新たな人材の発掘・育成を図る。	「アキハスム」のブランド発信や移住促進の啓発等、様々な媒体や手法により、広く行う必要がある。また、移住体験ツアーは、新型コロナウイルス感染症の状況を見極め、実施する際には十分な対策を講じる必要がある。	○	通年	秋葉区の多彩な魅力の特設ウェブサイトを中心に、SNSも活用して発信するとともに、移住体験ツアーの実施と地域主体による移住者の受入体制づくりへの支援を行う。 また、Akihaきらきらプロジェクトの活動を支援し、市民活動に取り組む新たな人材の発掘・育成を図る。	秋葉区	地域総務課

基本方針	柱立て	施策の方向性	通番	施策・事業名	概要(実施内容・目的等)	令和2年度実施分				令和3年度実施分		部・区	担当課
						実施期間	取組事項(実績)	課題と今後の対応	取組結果	実施期間	取組事項(予定)		
			251	若者の文化活動推進交流会「カルチャーMIXフェスタ」	あらゆる若者の自立及び社会参加、社会参画のため、若者自身が企画、運営する「若者の文化活動推進交流会」	12月4～6日	・若者支援センター「オール」登録団体がダンスや演劇団体で活動している若者たちが、実行委員会形式で企画・運営しながら作り上げるイベントで、今年13回目を迎えたが、今年は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、6階のホールイベントは中止としたことで、来場者は減少。 ・合同作品展では、新型コロナウイルス感染拡大防止のために発表の機会が失われた、新潟市の市立高校にも、出展を依頼した。 ・ジャンルや形態にとらわれることなく絵画やイラスト、写真などを18組が展示した。 ・オールを利用している若者が受付のお手伝いスタッフとして5名(延べ14名)が参加した。	・今回は作品展示会のみで開催だったので、どれだけの来場者が見込めるのか不安があったが、新潟市立万代高等学校並びに新潟市立高志中等教育学校の作品展示もあってか、生徒及び保護者並びに地域の方や会館の利用者さんなど、昨年度(190名)と同じくらいの来場者があった。 ・5階のオープンスペースをすべて展示会場にしたことで、会場全体の人の流れを促し、三密対策を実施した。 ・受付での体温チェック、名簿記入も徹底して、Withコロナの時代のイベントの在り方のひとつのモデルを作ることができたが、次年度6階ホールの天井改修工事が予定されており、ホールイベントの実施は見込めない為、開催内容の再検討が必要である。	○	12月頃(未定)	・若者支援センター「オール」登録団体がダンスや演劇団体で活動している若者たちが、実行委員会形式で企画・運営。令和2年度と同じく合同作品展を中心としたイベントを企画予定。	教育委員会	地域教育推進課
社会や地域の課題解決に向けて、教育、保健、福祉、環境、地域コミュニティ活性化など様々な分野で、市民、NPO、企業、大学など多様な主体が取り組む文化芸術を活用した活動を積極的に支援し													
(再)			252	地域活動補助金	地域による自主的・主体的なまちづくり活動の取り組みの促進を図り、豊かな地域社会を実現するために、地域課題の解決を図る活動などに補助金を交付する。	通年	地域コミュニティ協議会、自治会・町内会、その他NPO等が行う地域課題の解決を図る活動に対し補助金を交付する。	・新型コロナウイルスの影響で事業の中止等により地域活動が停滞したことから、活動再開への支援が必要である。 ・持続可能な効果的な制度となるよう必要に応じて、適宜見直しを図っていく必要がある。	○	通年	地域コミュニティ協議会、自治会・町内会、その他NPO等が行う地域課題の解決を図る活動に対し補助金を交付する。	市民生活部	市民協働課
(再)			253	水と土の宝物活用事業(市民プロジェクト)	市民自らが企画・運営する、アート制作や文化イベントなどの取り組みに対し補助金を交付する。	7月1日～12月27日	引き続き、市民プロジェクトを実施すると共に、アーツカウンシル新潟への移行に向けた作業を行う。	引き続き、市民プロジェクトを実施すると共に、アーツカウンシル新潟への移行に向けた作業を行う。	○	7月1日～11月30日	市民プロジェクトの実施	文化スポーツ部	文化政策課
(再)			254	(財)新潟市芸術文化振興財団運営費補助金(アーツカウンシル新潟)	・アーツカウンシル新潟による市民の文化芸術活動の活性化や文化と他分野との連携を推進し、本市の持続的な文化創造都市の推進体制を構築するほか、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた文化プログラムの推進に取り組む。	通年	・市民・行政等の相談対応 ・市民の文化芸術団体等への助成事業 ・市以外の助成制度等外部資金のマッチング ・beyond2020プログラム認証事務 ・市の文化政策及び文化芸術活動に関する現状調査 ・市の文化施策の向上に資する調査・研究等 ・ホームページ、SNS等による情報発信 ・「アーツカウンシル新潟」の活動PR ・市文化芸術関連事業への支援 ・組織の自律化に向けた取組み	新型コロナウイルス関連の支援を通して、アーツカウンシル新潟への認知は広まったが、引き続き認知拡大に向けた取り組みは必要。 今年度はコロナ禍の影響もあり、助成事業の実施件数は伸びなかったが、助成事業の申請数増加に向けた取り組みや自主財源の安定的な確保も課題。 新たなアプローチも取り入れながら継続的に取り組み、市民主体の文化芸術活動の活性化につなげる。	○	通年	・市民・行政等の相談対応 ・市民の文化芸術団体等への助成事業 ・市以外の助成制度等外部資金のマッチング ・beyond2020プログラム認証事務 ・市の文化政策及び文化芸術活動に関する現状調査 ・市の文化施策の向上に資する調査・研究等 ・ホームページ、SNS等による情報発信 ・「アーツカウンシル新潟」の活動PR ・市文化芸術関連事業への支援 ・組織の自律化に向けた取組み	文化スポーツ部	文化政策課
(再)			255	共生のまちづくり条例関連事業	条例周知に係る研修会・講習会等を積極的に開催するとともに、障がいや障がいのある人への理解を促進し、共生社会の実現を推進する「ともにプロジェクト」を行う。	通年	障がい者アート関連事業の実施(事業名)・ともにEntrance・イオンモール新潟南での広報活動	条例の認知度、特に若年層への周知・啓発が必要なことから、小・中学校での交流機会の創出や商業施設での啓発イベントを実施する。	○	通年	障がい者アート関連事業の実施(事業名)・ともにEntrance・商業施設等での広報活動	福祉部	障がい福祉課
(再)			256	次世代店舗支援事業(商店街空き店舗活用事業)	商店街の空き店舗を活用し、地域課題の解決を図る店舗を出店する場合にかかる費用を支援。	通年	商店街の空き店舗を活用して地域課題の解決を図る事業に対し、店舗賃借料や改装費、備品購入費、クラウドファンディング組成手数料を補助。	事業者の出店スケジュールに合わないことで申請に繋がらないケースもあるが、より事業を利用しやすいするため、申請要件を見直し広く募集を受け付ける。 【R2年度で事業終了】	○	-	R2年度で事業終了	経済部	商業振興課
			257	新潟薬科大学との連携による持続可能なまちづくり	産学官、地域及び住民と連携し、新潟薬科大学が持つ知的資産と学生の感性やパワーを生かし、まちなかの活性化や健康づくり、里山の魅力発信、人材育成等、持続可能なまちづくりを推進する。	通年	【まちなかの賑わいと交流】キャリア形成実践演習等 【健康づくり】健康・自立フォーラム Akiha健康レストランプロジェクト等 【里山の魅力発信】Akihaマウンテンパークの開催 里山魅力体験等	産学官及び地域等が方向性を共有しながら、区の魅力づくりや課題解決に向けて、より主体的な活動となるよう支援する。	○	通年	【まちなかの賑わいと交流】キャリア形成実践演習等 【健康づくり】健康・自立フォーラム、Akiha健康レストランプロジェクト等 【里山の魅力発信】Akihaマウンテンパークの開催、里山魅力体験等	秋葉区	地域総務課

基本方針	柱立て	施策の方向性	通番	施策・事業名	概要(実施内容・目的等)	令和2年度実施分				令和3年度実施分		部・区	担当課	
						実施期間	取組事項(実績)	課題と今後の対応	取組結果	実施期間	取組事項(予定)			
					超高齢社会における心豊かな生活の質の向上と健康寿命の延伸に文化芸術活動を活用する可能性を探り、取り組みを推進します。									
(再)			258	シニアはつらつにいがた総おどり事業	「総おどり体操」の活用を通じて、高齢者が介護予防や健康づくり、生きがいつくりに取り組むことを促進し、健康寿命の延伸を図るとともに、多世代に渡る交流の機会を提供し、社会や地域における人々の信頼関係や結びつきを醸成する。	通年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業実施ガイドラインの範囲内において、総おどり体操講習会を各区で実施するとともに、高齢者の自主グループ等の活動場所に指導スタッフを派遣。</li> <li>・体操のポイントや効果などを詳しく説明し、地域において講師役となれる方に対して養成講座を開催。</li> <li>・オンライン講習会の取り組み開始。</li> </ul> ※感染症拡大のためアトムックスジャパン、にいがた総おどりへの参加は中止。講習会の定員を半数で実施。	総おどり体操の認知拡大、オンライン講習会の普及	△	通年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業実施ガイドラインの範囲内において、総おどり体操講習会を各区で実施するとともに、高齢者の自主グループ等の活動場所に指導スタッフを派遣。</li> <li>・体操のポイントや効果などを詳しく説明し、地域において講師役となれる方に対して養成講座を開催。</li> <li>・オンライン講習会を実施。</li> </ul>	福祉部	高齢者支援課	
					文化芸術のもつ創造性を活用し、市民の文化芸術活動を発展させ、地域の課題解決に取り組む人材を育成します。									
(再)			259	水と土の宝物活用事業(市民プロジェクト)	市民自らが企画・運営する、アート制作や文化イベントなどの取り組みに対し補助金を交付する。	7月1日～12月27日	引き続き、市民プロジェクトを実施すると共に、アーツカウンシル新潟への移行に向けた作業を行う。	引き続き、市民プロジェクトを実施すると共に、アーツカウンシル新潟への移行に向けた作業を行う。	○	7月1日～11月30日	市民プロジェクトの実施	文化スポーツ部	文化政策課	
(再)			260	(財)新潟市芸術文化振興財団運営費補助金(アーツカウンシル新潟)	・アーツカウンシル新潟による市民の文化芸術活動の活性化や文化と他分野との連携を推進し、本市の持続的な文化創造都市の推進体制を構築するほか、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた文化プログラムの推進に取り組む。	通年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民・行政等の相談対応</li> <li>・市民の文化芸術団体等への助成事業</li> <li>・市以外の助成制度等外部資金のマッチング</li> <li>・beyond2020プログラム認証事務</li> <li>・市の文化政策及び文化芸術活動に関する現状調査</li> <li>・市の文化施策の向上に資する調査・研究等</li> <li>・ホームページ、SNS等による情報発信</li> <li>・「アーツカウンシル新潟」の活動PR</li> <li>・市文化芸術関連事業への支援</li> <li>・組織の自律化に向けた取り組み</li> </ul>	新型コロナウイルス関連の支援を通して、アーツカウンシル新潟への認知は広まったが、引き続き認知拡大に向けた取り組みは必要。 今年度はコロナ禍の影響もあり、助成事業の実施件数は伸びなかったが、助成事業の申請数増加に向けた取り組みや自主財源の安定的な確保も課題。 新たなアプローチも取り入れながら継続的に取り組み、市民主体の文化芸術活動の活性化につなげる。	○	通年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民・行政等の相談対応</li> <li>・市民の文化芸術団体等への助成事業</li> <li>・市以外の助成制度等外部資金のマッチング</li> <li>・beyond2020プログラム認証事務</li> <li>・市の文化政策及び文化芸術活動に関する現状調査</li> <li>・市の文化施策の向上に資する調査・研究等</li> <li>・ホームページ、SNS等による情報発信</li> <li>・「アーツカウンシル新潟」の活動PR</li> <li>・市文化芸術関連事業への支援</li> <li>・組織の自律化に向けた取り組み</li> </ul>	文化スポーツ部	文化政策課	